



FUDDAY BENTAX MX-1

使用説明書





カメラの正しい操作のため、ご使用前に必ずこの使用説明書を ご覧ください。

<u>はじめに</u>

このたびは、PENTAX MX-1をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を十分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、 権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人と して楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意く ださい。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内 で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

商標について

SDXCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。

HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国々における、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

「Eye-Fi」「Eye-Fi *connected*」および Eye-FiロゴはEye-Fi, Inc. の登録商標です。 SILKYPIXは、株式会社市川ソフトラボラトリーの登録商標です。

この製品はAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の許可のもと、 DNG技術を取り入れています。

DNGロゴは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vistaは米国Microsoft Corporationの米国および その他の国における登録商標です。

Macintosh、Mac OS、QuickTimeは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

Intel、Intel Core、PentiumはIntel Corporationの米国およびその他の国における 商標または登録商標です。

本製品は、お客様が個人使用または報酬を受けないその他の利用で次の行為を 行うために使用される場合に限り、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライ センスされているものです。

(i) AVC規格に従い動画をエンコードすること(以下、エンコードしたものを AVCビデオといいます)

(ii) 個人利用かつ非営利目的の消費者によりエンコードされたAVCビデオ、またはAVCビデオを供給することについてライセンスを受けている供給者から入手したAVCビデオをデコードすること

上記以外の使用については、黙示のライセンスを含め、いかなるライセンスも 許諾されていません。

詳細情報につきましては、MPEG LA, LLCから取得することができます。

http://www.mpegla.comをご参照ください。

その他、記載されている全ての商標は、その所有者に帰属します。

本製品はPRINT Image Matching IIIに対応しています。PRINT Image Matching 対応プリンターでの出力および対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影 時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。なお、PRINT Image Matching IIIより前の対応プリンターでは、一部機能が反映されません。 PRINT Image Matching、PRINT Image Matching II、PRINT Image Matching III に関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

本機を使用するにあたって

- テレビ塔など強い電波や磁気を発生する施設の周囲や、強い静電気が発生する 場所では、記録データが消滅したり、撮影画像へのノイズ混入等、カメラが誤 作動を起こす場合があります。
- ・画像モニターに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。
 99.99%以上の有効画素数がありますが、
 0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。
 なお、記録される画像には影響ありません。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づく クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的と していますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用される と、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って、正しい取り 扱いをしてください。

本文中のイラストおよび画像モニターの表示画面は、実際の製品と異なる場合 があります。

本書ではSDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカードの ことをSDメモリーカードと表現しています。

ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記マー クの内容については特に注意をしてお使いください。

- 注意 このマークの内容を守らなかった場合、人が軽傷または 中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があること を示すマークです。

本体について

- カメラの分解・改造などをしないでください。カメラ内部に高電圧部が あり、感電の危険があります。
- 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手を ふれないでください。感電の危険があります。
- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- 使用中に煙が出ている、変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、バッテリーまたはACアダプターを取り外したうえ、サービス窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

- ストロボの発光部に手を密着させたまま発光させないでください。やけどの恐れがあります。
- ストロボの発光部を衣服などに密着させたまま発光させないでください。変色などの恐れがあります。
- このカメラには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を 長時間持ち続けると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意く ださい。
- 万一液晶が破損した場合、ガラスの破片には十分ご注意ください。中の 液晶が皮膚や目に付いたり、ロに入らないよう十分にご注意ください。
- お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異常が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診察を受けてください。

バッテリー充電器とACアダプターについて

▲ 警告

- バッテリー充電器とACアダプターは、必ず専用品を指定の電源・電圧でご使用ください。専用品以外をご使用になったり、指定以外の電源・電圧でご使用になると、火災・感電・故障の原因になります。AC指定電圧は、100-240Vです。
- 分解したり、改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。

- 使用中に煙が出ている・変なにおいがするなどの異常が発生した場合、すぐに使用を中止し、当社お客様相談センター、またはお客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、内部に水などが入った場合は、当社お客様相談センター、または お客様窓口にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因 となります。
- 使用中に雷が鳴り出したら、電源プラグを外し、使用を中止してください。機器の破損、火災・感電の原因となります。
- ・電源プラグにほこりが付着している場合は、よく拭いてください。火災の原因となります。

⚠ 注意

- AC コードの上に重いものを載せたり、落としたり、無理に曲げたりして コードを傷めないでください。もしACコードが傷んだら、当社お客様相 談センター、またはお客様窓口にご相談ください。
- コンセントに差し込んだまま、AC コードの接続部をショートさせたり、 触ったりしないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- ・強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。故障の原因となります。
- バッテリー充電器で充電式リチウムイオンバッテリー D-LI106以外の バッテリーは充電しないでください。他のバッテリーを充電しようとす ると、発熱や爆発、充電器の故障の原因となります。

バッテリーについて

- バッテリーは乳幼児の手の届かない所に保管してください。特に、ロに 含むと感電の恐れがありますのでご注意ください。
- バッテリーの液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 注意

- このカメラでは、決められたバッテリー以外は使用しないでください。
 バッテリーの爆発、発火の原因となることがあります。
- バッテリーは分解しないでください。無理に分解をすると、爆発や液漏 れの原因となります。

- 万一、カメラ内のバッテリーが発熱・発煙を起こしたときは、速やかに バッテリーを取り出してください。その際は、やけどに十分注意してく ださい。
- バッテリーの「+」と「-」の接点に、針金やヘアピンなどの金属類が 触れないようにご注意ください。
- バッテリーをショートさせたり、火の中へ入れないでください。爆発や 発火の原因となります。
- バッテリーの液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- 発熱・発火・破裂の恐れがありますので、バッテリー使用の際は、下記 注意事項を必ずお守りください。
 - 1. 専用充電器以外では絶対に充電しないこと。
 - 2. 火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしないこと。
 - 3. 変形や、ショートさせたり分解・改造をしないこと。

カメラや付属品は乳幼児の手の届かない場所に

- カメラや付属品を、乳幼児の手の届く場所には置かないでください。
 - 1. 製品の落下や不意の動作により、傷害を受ける恐れがあります。
 - 2. ストラップを首に巻き付け、窒息する恐れがあります。
 - バッテリーや SD メモリーカードなどの小さな付属品を飲み込む恐れ があります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相 談ください。

取り扱い上の注意

お使いになる前に

- 海外旅行にお出かけの際は、国際保証書をお持ちください。また、旅行 先での問い合わせの際に役立ちますので、製品に同梱しておりますワー ルドワイド・サービス・ネットワークも一緒にお持ちください。
- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影(結婚式、旅行など)の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能しているかを確認してください。万一、カメラや記録媒体(SDメモリーカード)などの不具合により、撮影や再生、パソコン等への転送がされなかった場合、画像の記録内容の保証はご容赦ください。
- このカメラはレンズ交換式ではありません。レンズの取り外しはできません。

バッテリー・充電器について

- バッテリーをフル充電して保管すると、性能低下の原因になることがあります。特に高温下での保管は避けてください。
- バッテリーを長期間カメラに入れたままにしておくと、微小の電流が流れて過放電になり、電池寿命を縮める原因となります。
- 充電は使用する当日か前日にすることをおすすめします。
- 本製品に付属している AC コードは、バッテリー充電器 D-BC106 専用です。他の機器に接続してお使いにならないでください。

持ち運びとご使用の際のご注意

- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでカメ ラを車内に放置しないでください。
- ・ 強い振動、ショック、圧力などを加えないでください。オートバイ、車、 船などの振動からは、クッションなどでくるんで保護してください。万 が一、強い振動・ショック・圧力などが加わってしまったら、当社のサー ビス窓口に点検にお出しください。
- ・カメラの使用温度範囲は0~40℃です。
- 高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもありますが、これは 液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 急激な温度変化を与えると、カメラの内外に結露し水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥、砂、ほこり、水、有害ガス、塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。
- ・ 破損や故障の原因になりますので、画像モニターの表面を強く押さないでください。
- 三脚使用時は、ねじの締め過ぎに十分ご注意ください。

お手入れについて

- 汚れ落としに、シンナーやアルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- レンズのほこりは、きれいなレンズブラシで取り去ってください。スプレー式のブロアーは、レンズを破損させる恐れがありますので、使用しないでください。

保管について

- 防腐剤や有害薬品のある場所では保管しないでください。また高温多湿の場所での保管は、カビの原因となりますので、乾燥した風通しのよい場所に、カメラケースから出して保管してください。
- 静電気や電気ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
- 急激な温度変化や、結露が発生する場所、直射日光があたる場所での使用・保管は避けてください。
- 高性能を保つため、1~2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。

その他

- SDメモリーカードには、ライトプロテクトスイッチが付いています。スイッチをLOCK側に切り替えると、新たにデータを記録できなくなり、カメラやパソコンでライトプロテクトー剤除やフォーマットができなくなります。
 アのエートレートアーナーとレナー
 - 画像モニターには留と表示されます。
- カメラを使用した直後にSDメモリーカードを取り出すと、カードが熱くなっている場合があります。
- SDメモリーカードへのアクセス中は、カードを取り出したり電源を切ったりしないでください。データやカードの破損の原因となります。
- SDメモリーカードは、曲げたり強い衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり、高温になる場所に放置しないでください。
- SDメモリーカードのフォーマット中は絶対にカードを取り出さないでく ださい。カードが破損して使用できなくなることがあります。
- SDメモリーカードに保存したデータは、以下の条件で失われる場合がありますのでご注意ください。消去されたデータについては、当社では一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
 - (1) 使用者がSDメモリーカードの取り扱いを誤ったとき
 - (2) SDメモリーカードを静電気や電気ノイズのある場所に置いたとき
 - (3) 長期間SDメモリーカードを使用しなかったとき
 - (4) SDメモリーカードのアクセス中にカードを取り出したり、バッテ リーを抜いたとき
- 長期間使用しない場合は、保存したデータが読めなくなることがあります。必要なデータは、パソコンなどへ定期的にバックアップを取るようにしてください。

- SDメモリーカードをご購入の際は、あらかじめ動作確認済みのものであるかを当社ホームページでご確認いただくか、お客様相談センターにお問い合わせください。
- 未使用品や他のカメラで使用したSDメモリーカードは、必ずフォーマットしてからご使用ください。
- フォーマットしたカードでも、市販の修復ソフトを使用すると、データ を再び取り出せることがあります。廃棄にはSDメモリーカード本体を物 理的に破壊し、譲渡の際は市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってSD メモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
- SDメモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

目次

ご注意ください	
取り扱い上の注意	4
目次	8
本書の構成	
主な同梱品の確認	14
各部の名称と機能	15
撮影時の機能	
再生時の機能	
画像モニターの表示	20
機能の設定方法	
ダイレクトキーで設定する	
メニューで設定する	
コントロールパネルで設定する	

準備

レンズキャップとストラップを取り付ける	
電源を準備する	
バッテリーを充電する	
バッテリーをセットする	
ACアダプターを使用する	40
SDメモリーカードをセットする	42
電源をON/OFFする	44
	45
初期設定をする	46
言語を設定する	46
日時を設定する	
	•••••

撮影

51

35

静止画を撮影する	51
画像モニターの位置を調節する	51
標準的な撮影のしかた(オートピクチャーモード)	
簡単撮影モードで撮影する (グリーンモード)	56
ズームを使って撮影する	
撮影関連機能の操作	61
ダイレクトキーの設定項目	61
撮影メニューの設定項目	61
動画メニューの設定項目	64
カスタムファンクションメニューの設定項目	65
モードダイヤルで選ぶ撮影モード	66
シーンに合わせて撮影する(シーンモード)	

露出を変えて撮影する(P/Tv/Av/M モード)	69
ダイナミックレンジの広い画像を撮影する(HDR モード).	72
USER (ユーザー)モードを利用する	73
さまざまな撮影方法	76
デジタルワイドを使って撮影する(デジタルワイドモード)	76
パノラマ撮影をする (パノラマモード)	78
ペットを撮影する(ペットモード)	79
撮影のための機能を設定する	82
ストロボの発光方法を選ぶ	82
ドライブモードを選ぶ	84
ピントの合わせ方を選ぶ (フォーカスモード)	
オートフォーカス条件を設定する	
露出を設定する	
小ワイトハフノスを設定9 る UDD 提覧エードも選択まて	
ПDN 御影モートを選択する 明るさた述正する (D Dango 設定)	101
	107
レンズの歪曲収差を補正する(ディストーション補正)	102
手ぶれ補正を設定する(Shake Reduction)	103
育検出機能を切り替える	
まばたき検出を設定する	105
クイックビューを設定する	106
画像仕上を設定する(カスタムイメージ)	106
日付写し込みを設定する	108
動画を撮影する	110
動画モードを選択する	110
動画を撮影する	112
動画ボタンで簡単に動画を撮影する	113
動画の設定を変更する	114
設定を保存する(モードメモリ)	118
)再生と消去	120
再生する	
静止面を再生する	120
い エロミハエク @ 動画を再生する	

画像0

選択して消去する	
まとめて消去する	
消去できないようにする (プロテクト)	131
AV機器と接続する	134
ビデオ端子に接続する	135
HDMI端子に接続する	136

画像の編集と印刷

138

画像のサイズを変更する	
画像のサイズを変更する(リサイズ)	
画像をトリミングする	
画像の一部を左右に伸ばす(のび~るフィルター)	140
顔が小さく見えるように加工する(小顔フィルター)	141
画像を加工・補正する	143
デジタルフィルターで加工する	
HDRフィルターで加工する	
コラージュ画像を作成する	
赤目を補正する	
オリジナルフレームを合成する	150
RAW 展開する	154
動画を編集する	157
画像をコピーする	
DPOFを設定する	162
1画像ずつ設定する	
全画像を設定する	

設定

165

カメラを設定する	
設定メニューの設定項目	
フォーマットする	167
サウンドの設定を変更する	168
日時を変更する	
ワールドタイムを設定する	170
メニューの文字サイズを設定する	172
表示言語を変更する	173
フォルダー名の付け方を変更する	174
ファイル名の付け方を変更する	176
著作権情報を設定する	
ビデオ出力方式を選択する	179
HDMI出力形式を選択する	180
Eye-Fiを設定する	
画像モニターの明るさと色味を設定する	181
節電機能を使う(エコモード)	

オートパワーオフを設定する	
撮影モードの表示を設定する(画面設定)	
最初に表示するメニューを設定する	184
起動画面を変更する	184
センサー画素の欠けを補完する(ピクセルマッピング)	185
ダイレクト起動を設定する	186
スタイルウォッチを使う	
設定をリセットする	187

パソコンと接続する

188

パソコンと接続する	
カメラのUSB接続モードを設定する	
カメラとパソコンを接続する	
付属ソフトウェアを使用する	
ソフトウェアのインストール	
SILKYPIX Developer Studioの画面	
Eve-Fiカードを使って画像を転送する	

付録

198

各撮影モードの機能対応	
メッセージー覧	
こんなときは?	
初期設定一覧	
都市名一覧	
アフターサービスについて	229

メモ

本書の構成

本書は、次の章で構成されています。

1 準備 ----

お買い上げ後、写真を撮るまでの準備操作を説明しています。撮影をはじ める前に必ずお読みになり、操作をしてください。 また、各ボタンの機能やメニューの設定方法など、各機能に共通する操作 もこの章で説明しています。

2 撮影 ----

さまざまな撮影方法や、撮影に関する機能の設定方法を説明しています。

3 画像の再生と消去 -----

静止画や動画をカメラやテレビで再生する方法と、カメラから消去する方 法を説明しています。

4 画像の編集と印刷 —

撮影した静止画をカメラで編集する方法や、印刷するときの設定方法を説 明しています。

5 設定 -----

カメラの機能の設定方法を説明しています。

6 パソコンと接続する-----

カメラとパソコンのつなぎ方や、付属ソフトウェアのインストール方法と 概要を説明しています。

7 付録 -----

困ったときの対処のしかたや各種資料を掲載しています。

操作説明中で使用されている表記の意味は次のとおりです。

	関連する操作の説明が記述されているページを記載しています。
XE	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。

1

2

3

4

5

6

7

主な同梱品の確認



本体 PENTAX MX-1

 \circ

S-SW130



ストラップ O-ST130 (※)



ソフトウェア(CD-ROM) 充電式リチウムイオン バッテリー充電器 バッテリー D-LI106(※)



レンズキャップ O-LC130 (※)



D-BC106 (※)

(JA) PENTAX MX-1

PENTAX



ACコード D-CO24J (※)





USBケーブル I-USB7 (※)





(本書)

簡単ガイド

(※)の製品は、別売アクセサリーとしてもご用意しております。

各部の名称と機能







撮影時の機能



- 電源ボタン 電源を切ります (p.44)。
- モードダイヤル 撮影モードを切り替えます (p.66)。
- ③ **4 (ストロボポップアップ) レバー** ストロボをポップアップします (p.83)。
- ④ ズームレバー 撮影する範囲を変えます (p.58)。
- ⑤ シャッターボタン 画像を撮影します (p.60)。
- ⑥ 動画ボタン モードダイヤルが 増以外に設定されているときに押すと、動画の撮影が始まります (p.113)。
- ⑦ 露出補正ダイヤル 露出補正値を設定します (p.93)。
- 8 電子ダイヤル ISO感度 (p.92) やシャッタースピード/絞り値 (p.70) を変更します。

また、一部のメニューや設定項目を選択するときにも使います。

 AV/AE-L ボタン 撮影モードのとき押すと、その時点の露光量をカメラに記憶します (AEロック) (p.94)。 撮影モードがM(マニュアル)のときは、電子ダイヤルでシャッター スピードと絞りのどちらを設定するかを選択します (p.70)。

●/面 (グリーン/消去)ボタン 画像の消去(p.120)や設定値のリセットなどを行います。 撮影モードがM(マニュアル)のときに押すと、プログラム線に従っ て適正露出になるようにシャッタースピードと/絞り、感度を設定し

ます。 ① **十字キー**

- ▲ ドライブモードを切り替えます (p.84)。
- ▼ ISO感度を切り替えます (p.92)。
- ◀ ストロボモードを切り替えます(p.82)。
- ▶ フォーカスモードを切り替えます(p.87)。

コントロールパネルやメニュー画面が表示されているときは、カーソ ルの位置や項目を変更します。

12 OK ボタン

コントロールパネルやメニュー画面が表示されているときに、選択し た項目を決定します。

また、画像モニターの表示を切り替えます(p.20)。

13 MENUボタン

静止画撮影モードのときは、「●撮影」メニューを表示します (p.61)。 動画モードのときは、「曾動画」メニューを表示します (p.64)。

14 トボタン

▶ モードに切り替えます (p.19)。

15 INFOボタン

コントロールパネルを表示します(p.33)。

再生時の機能



- 電源ボタン 電源を切ります (p.44)。
- ② ズームレバー

再生画像を拡大表示したり (p.128)、マルチ画面表示 (p.122) した りします。

動画再生中は、音量を調節します(p.121)。

③ シャッターボタン ロモードに切り替えます (p.19)。

電子ダイヤル 再生画像を拡大表示したり(p.128)、マルチ画面表示(p.122)した
 りします。
 動画再生中は、音量を調節します(p.121)。

- ⑤ ●/面 (グリーン/消去)ボタン 画像の消去(p.120)や設定値のリセット(p.181)などを行います 画像を拡大表示しているときに押すと、画像の中央を表示します (p.128)。
- (6) 十字キー メニュー画面や再生画面でカーソルの位置や項目を変更します。

+字キー(▼)を押すと再生モードパレットを表示します(p.124)。

- ⑦ OK ボタン
 メニュー画面や再生画面で選択した項目を決定します。
- (8) MENUボタン
 1画面表示時は、「
 1) 設定」メニューを表示します (p.165)。
 再生モードパレット表示時は、1画面表示に戻ります。

● ボタン
 ●モードに切り替えます (p.19)。

十字キーの表記について

本書では、十字キーを次のように表記します。



撮影モードと再生モードの切り替え

本書では、静止画と動画の撮影を行うモードを「〇モード」または「撮 影モード」と表記します。(静止画を撮影するモードは「静止画撮影 モード」、動画を撮影するモードは「動画モード」と表記します。)ま た、撮影して記録した画像を画像モニターに表示するなど再生を行う モードを「○モード」または「再生モード」と表記します。○モード では、撮影した画像に簡単な画像処理を加えることもできます。 〇モードと○モードの切り替えは、次のように行います。

▲モードから▶モードへ切り替えるには

ドランを押します。

Eモードからロモードへ切り替えるには

ボタンを押すか、またはシャッターボタンを押します。

内蔵メモリー内のデータの表示について

SDメモリーカードがセットされているときは、SDメモリーカード内の画像/動画が表示されます。

内蔵メモリー内の画像/動画を表示する場合は、カメラの電源を切り、SDメモリーカードを取り出してから操作してください。



SDメモリーカードは、必ずカメラの電源が切れた状態で取り出して ください。

画像モニターの表示

画像モニターには、カメラの状態によって様々な情報が表示されます。

×Ŧ

• 画像モニターの明るさと色味を調整することができます。(p.181)

撮影モードの表示

撮影時には、撮影条件などが表示されます。**OK**ボタンを押すと、画像 モニターの表示が切り替わります。



情報表示なし



標準表示

説明のため、静止画撮影のときに表示される全項目を表示しています。 実際に表示される画面とは異なります。



1 撮影モード(p.66) ストロボモード (p.82) ドライブモード (p.84) ホワイトバランス (p.98) カスタムイメージ (p.106) Eve-Fi通信状態(p.195) 6 フォーカスモード (p.87) 測光方式 (p.95) バッテリー残量 (p.39) 10 デジタルズーム/インテリ ジェントズーム表示 (p.58) 11 顔検出モード (p.56) **12** AFエリア (p.89)

2

3

4

5

7

8

9



- 13 グリッド (p.183)
- 14 手ぶれ補正アイコン (p.103)
- 15 日付写し込み設定中(p.108)
- **16** NDフィルター (p.102)
- 17 電子水準器 (p.29)
- 18 ヒストグラム (p.25)
- **19** AEロック (p.94)
- **20** シャッタースピード (p.69)
- 21 絞り値 (p.69)
- 22 露出補正値 (p.93)
- 23 ISO感度 (p.92)
- 24 メモリー状態表示 (p.45)
- 25 撮影可能枚数
- ※「情報表示なし」では、「12 AFエリア」と「18ヒストグラム」のみ が表示されます。
- ※動画撮影中は、「17電子水準器」と「18ヒストグラム」は表示され ません。

撮影画面表示の縦横切り替えについて 本機は静止画撮影時、カメラを縦に構えると画像モニターの表示が自 動的に縦表示に切り替わります。 動画撮影時や再生時は縦表示に切り替わりません。

コントロールパネルの表示

撮影モードでINFOボタンを押すとコントロールパネルが表示されます。コントロールパネルからも設定を変更することができます。

□ (静止画撮影)モード





- 機能名称
- 2 設定
- 3 カスタムイメージ (p.106)/ シーンモード (p.67) ホワイトバランス (p.98) 4 5 測光方式(p.95) ハイライト補正(p.101) 6 7 シャドー補正 (p.101) NDフィルター (p.102) 8 AFエリア (p.89) 9 **10** AFモード (p.90)
- **11** グリッド表示 (p.183)
- 12 ヒストグラム (p.183)
- 13 アスペクト比 (p.96)
- 14 JPEG記録サイズ (p.97)
- 15 記録形式 (p.96)
- 16 JPEG画質 (p.98)
- 17 Shake Reduction (p.103)
- 18 現在の日時 (p.49)
- 19 メモリー状態表示 (p.45)
- 20 撮影可能枚数



			1 2			
	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	
	13	14				
15 16 17			7			

- 1 機能名称
- 2 設定
- **3** カスタムイメージ (p.115)
- 4 動画モード (p.110)
- 5 記録サイズ (p.115)
- 6 ホワイトバランス (p.98)
- 7 AFエリア (p.89)
- 8 ハイライト補正(p.101)
- 9 シャドー補正 (p.101)

- 10 NDフィルター (p.102)
- **11** グリッド表示 (p.183)
- 12 ヒストグラム (p.183)
- 13 風切音軽減 (p.116)
- **14** 撮影中のAF (p.116)
- 15 現在の日時 (p.49)
- 16 メモリー状態表示 (p.45)
- 17 撮影可能枚数
- ↓ ・カメラの設定状況により変更できない項目は、選択できません。
 - コントロールパネルは何も操作しないと、1分で標準表示に戻ります。
 - ・撮影モードの表示についての設定は、「撮影モードの表示を設定する (画面設定)」(p.183)を参照してください。

再生モードの表示

画像再生時にOKボタンを押すと、表示される情報が切り替わります。



情報表示なし

詳細情報表示

標準表示	撮影画像と記録形式、操作ガイドを表示します。
ヒストグラム表示	画像とヒストグラム (標準/RGB) を表示します (p.25)。 動画のときは、表示されません。
詳細情報表示	撮影時の詳細情報(p.26) /著作権情報(p.27) を表示し ます。 詳細情報表示と著作権情報表示は、十字キー(▲▼)で切 り替えます。
情報表示なし	撮影画像のみを表示します。



再生時に最初に表示される情報は、前回最後に表示した情報です。「 撮影3」メニューの「モードメモリ」(p.118) で「DISPLAY」を□(オ フ)に設定すると、電源を入れるたびに標準表示から表示されます。

ヒストグラム表示

7 8

6

静止画の再生時に、画像の明るさの分布を表した「標準ヒストグラム」 と、色の強度の分布を表した「RGBヒストグラム」の2種類のヒストグ ラムが表示できます。標準ヒストグラム/RGBヒストグラムの表示は 十字キー(▲▼)で切り替えます。

標準ヒストグラム



RGBヒストグラム



1	ヒストグラム(標準)	7	記録形式
2	プロテクト	8	シャッタースピード
3	メモリー状態表示	9	絞り値
4	フォルダー NoファイルNo.	10	ISO感度
5	バッテリー残量	11	ヒストグラム(R)
6	RGBヒストグラム/	12	ヒストグラム(G)
	標準ヒストグラム切り替え	13	ヒストグラム(B)
		N 1 .	the last

※2は設定されている画像のみ表示されます。



詳細情報表示

静止画



動画



撮影画像 1 2 撮影モード (p.66) プロテクト (p.131) 3 4 メモリー状態表示 (p.45) フォルダー No.-ファイルNo. 5 (p.174) 6 バッテリー残量(p.39) ドライブモード (p.84) 7 8 フォーカスモード (p.87) 測光方式 (p.95) 9 10 ストロボモード (p.82) ストロボ光量補正(p.84) 11 12 シャッタースピード(p.69) 13 絞り値 (p.69) 14 ISO感度(p.92) 15 露出補正値(p.93) 16 ホワイトバランス (p.98) 17 ホワイトバランス微調整 (p.100)

	2	3 4	5
1	7	8 9	6
	10	11	26
12 13	14	15	
16 17	18 19	9 20 21	27
22 23 24		25	
28			



- 18 ハイライト補正 (p.101)
- **19** シャドー補正 (p.101)
- 20 ディストーション補正 (p.103)
- 21 Shake Reduction (p.103)/ Movie SR (p.116)
- 22 記録形式 (p.96)
- **23** JPEG 記録サイズ (p.97)/ 動画記録サイズ (p.115)
- 24 JPEG画質 (p.98)
- **25** レンズ焦点距離
- 26 カスタムイメージモード (p.106)
- 27 カスタムイメージパラメー ター(p.106)
- 28 撮影日時
- 29 動画記録時間

※10、11はストロボが発光した画像のみ表示されます。
 ※17、18、19、20は、設定されている画像のみ表示されます。
 ※RAW画像は、23、24は表示されません。

著作権情報表示



5

- 1 撮影画像
- **2** プロテクト (p.131)
- 3 メモリー状態表示 (p.45)
- 4 フォルダー No.-ファイルNo. (p.174)
- バッテリー残量(p.39)
- 6 撮影者アイコン
- 7 撮影者名 (p.177)
- 8 著作権者アイコン
- 9 著作権者名 (p.177)

ヒストグラムの見かた

ヒストグラムとは、画像の明るさの 分布を表したグラフです。横軸は明 るさ(左端は黒、右端は白)を、縦 軸は各明るさの画素数を積み上げて 表示します。

撮影の前後にヒストグラムの形状や 分布を見ることで、露出レベルと明 暗差が適正かどうかを確認し、露出 補正や撮り直しの判断に利用できま す。



露出を補正する ☞p.93 明るさを補正する(D-Range設定)☞p.101

画像の明るさを見る

極端な明暗部がない適正な明るさの画像の場合、グラフは中間域に分 布します。暗い画像ではグラフの山は左側に偏り、明るい画像では右 側に偏ります。



暗い画像



明部暗部の少ない画像



明るい画像

また、画像の中で、暗すぎてヒストグラムの左端よりも左になる部分 は真っ黒になり(黒つぶれ)、明るすぎてヒストグラムの右端よりも右 になる部分は真っ白になってしまいます(白とび)。

このカメラでは、撮影時と再生時に白とび部分を赤の点滅で警告表示 させることができます。

撮影モードの表示を設定する(画面設定)☞p.183 クイックビューを設定する☞p.106

色のバランスを見る

「RGBヒストグラム」では各色の強度分布を表示します。ホワイトバランスがうまく調整されている画像は、各色のグラフ右部分が似た形になります。1色のみ左に偏っている場合などは、色がかぶっているといえます。

ホワイトバランスを設定する IIP.98

電子水準器表示

このカメラには、カメラの傾きを検知する電子水準器が搭載されています。

「□撮影3」メニューの「画面設定」で、「電子水準器」を (オン)に設定しておくと、画像モニターが「標準表示」の場合、電子水準器が表示され、カメラの傾き具合が確認できます。横のバーグラフが左右の傾き(水平に対する傾き)、縦のバーグラフが上下の傾き(垂直に対する傾き)を表します。バーグラフの目盛の数と表示色で傾きの度合いを示します。

表示例



左右・上下の傾きなし(緑)



上へ5°傾き(赤)



右へ1[°]傾き(黄) 上下の傾きなし(緑)



↓ 電子水準器の表示は目安です。精密な水平を保証するものではありません。

ガイド表示

操作中は、画像モニターにボタン操作のガイドが次のように表示され ます。

	十字キー(▲)
▼	+字キー (▼)
•	+字キー (◀)
►	+字キー (▶)
MENU	MENUボタン

OK	OKボタン
SHUTTER	シャッターボタン
INFO	INFOボタン
◉∕ ో	グリーン/消去ボタン
•	電子ダイヤル

機能の設定方法

カメラの機能は、ダイレクトキー/メニュー/コントロールパネルの いずれかで設定します。

ここでは、基本的な機能の設定方法を説明します。

ダイレクトキーで設定する

撮影モードで十字キー(▲▼◀▶)を押すと、フォーカスモード/ドラ イブモード/ISO感度/ストロボモードが設定できます。(p.61) ここでは「フォーカスモード」を設定する場合を例に説明します。



2 +字キー(◀▶)でフォーカスモー ドを選ぶ



3 OK ボタンを押す

撮影できる状態になります。



メニューで設定する

「□撮影」/「■動画」/「、設定」/「Cカスタム」メニューの操作 方法を説明します。

ここでは「●撮影2」メニューの「Shake Reduction」を設定する場合 を例に説明します。

1 撮影モードでMENUボタンを押す 画像モニターに「□撮影1」メニューが表 示されます。 次のときは、それぞれ以下のメニューが表 示されます。



モードダイヤル 🛱	「曾動画1」メニュー
モードダイヤル ● (グリーンモード)	「��設定1」メニュー
再生モード	「��設定1」メニュー

2 +字キー (▶)を押す

1回押すごとに「□撮影2」→「□撮影3」 →「■動画1」・・・と順に切り替わります。 電子ダイヤルを回してメニューを切り替え ることもできます。 また、ズームレバーを回すと「□撮影」、 「■動画」、「、設定」、「Cカスタム」と、タ ブが切り替わります。



3 +字キー(▲▼)で項目を選ぶ



MENU終了

4 +字キー(▶)を押す ポップアップまたはサブメニューに設定で きる項目が表示されます。 (○123) HDR撮影 標準 D-Range設定 ディストーション補正 Ø Shake Reduction → モンガージフト 顔検出 オン まはたき検出 ダ



6 OK ボタンを押す

設定が決定されます。 サブメニューが表示されていたときは、 **MENU**ボタンを押します。 続けて他の項目が設定できます。

5 +字キー(▲▼)で設定を選ぶ

MENUボタンを押すと、ポップアップの取

り消し、または1つ前の画面に戻ります。



7 MENUボタンを押す メニュー選択前の画面に戻ります。



MENUボタンを押してメニュー画面を閉じても、電源を入れたまま バッテリーを取り出したりするなど誤った操作で電源を切ると、設定は 保存されません。



- ・次にメニューを表示したときに、最後に選択したメニューのページから表示するか、常に「□撮影1」から表示するかを設定することができます。(p.184)
- 各メニューの設定内容については、以下を参照してください。
 - ・「**△**撮影」メニュー IISP.61
 - •「聞動画」メニュー ☞p.64
 - ・「▲設定」メニュー ☞p.165
 - •「**C**カスタム」メニュー №p.65

コントロールパネルで設定する

撮影時に画像モニターで設定を確認し、コントロールパネルに切り替 えて設定を変更することができます。 ここでは「AFエリア」を設定する場合を例に説明します。

1 撮影モードでINFOボタンを押す コントロールパネルが表示されます。



2 +字キー(▲▼◀▶)で変更する項目を選ぶ

変更できない項目は選択できません。

カスタムイメージ 鮮やか				
	AWB	\odot	()ON	<u>~</u>
	83	AES	ICHE	-ôfi
4:3	12 M	JPEG	Normal	6 <u>49</u>
2/2 SAT 10:30 AM 🖺 37				

3 OK ボタンを押す 選択した項目の設定画面が表示されます。 4 十字キー(◀▶)または電子ダイヤ ルで設定値を選ぶ



5 OKボタンを押す コントロールパネルに戻ります。

6 INFOボタンを押す 撮影できる状態になります。 手順2で変更する項目が選択されている状態で、電子ダイヤルを回して 設定を変更することもできます。パラメーターなどの詳細設定は、**OK** ボタンを押してから変更します。

XE
レンズキャップとストラップを取り付ける

付属のレンズキャップとストラップを取り付けます。

1 レンズキャップに付属のひもを取り 付ける



1

準備



レンズキャップのひもを図のように通しておくと紛失防止になります。



3 もう一方も同様に取り付ける



電源を準備する

1 準備

バッテリーを充電する

はじめてご使用になるときや長時間使用しなかったとき、「電池容量が なくなりました」というメッセージが表示されたときは、付属のバッ テリー充電器(D-BC106)で充電式リチウムイオンバッテリー(D-LI106)を充電してください。



1 バッテリー充電器にACコードを接続する

2 ACコードをコンセントに差し込む

3 PENTAXロゴ面を上にしてバッテリーをセットする 充電中はインジケーターランプが点灯します。 充電が完了すると、インジケーターランプが消灯します。

4 充電終了後、バッテリー充電器からバッテリーを取り出す

- ・ 付属のバッテリー充電器D-BC106では、充電式リチウムイオンバッテ リー D-LI106以外のバッテリーを充電しないでください。充電器の破 損や発熱の原因となります。
 - ・正しく充電しても使用できる時間が短くなったらバッテリーの寿命です。新しいバッテリーと交換してください。
 - バッテリーを正しい向きにセットしてもインジケーターランプが点 灯しない場合は、バッテリーの異常です。新しいバッテリーと交換し てください。



充電時間は、最大で約140分です(周囲の温度や充電状態によって異なります)。周囲の温度が0~40℃の範囲で充電してください。

バッテリーをセットする

付属の充電式リチウムイオンバッテリー(D-LI106)をセットします。 はじめてご使用になるときは、バッテリーを充電してからセットして ください。



1 バッテリー/カードカバーを開ける バッテリー/カードカバーロックレバーを①の方向にスライドさせ

ると、②の方向に開きます。

1

2 バッテリーロックレバーを矢印③の方向に押しながら、バッ テリーのPENTAXロゴ面をカメラの画像モニター側に向け て挿入する

カメラの電池室内とバッテリーのマークの向きを合わせ、ロックされるまでバッテリーを挿入してください。(逆向きには挿入できません。)

3 バッテリー/カードカバーを閉じる

バッテリー/カードカバーを閉じてからカバーロックレバーを①と 反対方向にスライドさせ、カチッと音がしてロックされたことを確認 します。

バッテリーを取り出す

1 バッテリー/カードカバーを開ける

2 バッテリーロックレバーを矢印③の方向に押す

バッテリーが少し飛び出します。落とさないように気をつけて引き抜いてください。

- ・充電式リチウムイオンバッテリー D-LI106が、このカメラの専用バッ テリーです。他のバッテリーを使用すると、カメラが破損し作動しな くなることがあります。
 - 電源がONのときはバッテリーを取り出さないでください。
 - バッテリーを半年以上長期保存する場合は、バッテリー充電器で30分 程度充電し、本体から外した状態で保管してください。
 その後、半年から1年ごとに再充電してください。また、高温になる 場所は避け、できるだけ室温以下を保持できるような場所に保管して ください。
 - 長期間本体にバッテリーをセットしないと、日時の設定がリセットされることがあります。
 - カメラを長時間連続で使用した場合、本体やバッテリーが熱くなっていることがありますのでご注意ください。

1

・静止画撮影可能枚数と動画撮影、再生時間の目安 (23℃・画像モニター点灯・専用バッテリーフル充電時)

静止画撮影可能枚数 ^{※1} (ストロボ使用率50%)	動画撮影時間 ^{※2}	再生時間 ^{※2}	
約290枚	約90分	約280分	

※1 撮影可能枚数はCIPA規格に準じた測定条件による目安であり、使用条件により変わります。(CIPA規格抜粋:画像モニターON、ストロボ使用率50%、23℃)

※2 時間は当社の測定条件による目安であり、使用条件により変わります。

- ・使用環境の温度が下がると、バッテリーの性能が低下することがあります。
 - 海外旅行など長期のお出かけ、寒冷地で撮影する場合や、大量に撮影 する場合は、予備のバッテリーをご用意ください。
- ・バッテリーの残量表示

画像モニターの表示で、バッテリーの残量が確認できます。

画像モニターの表示	バッテリーの状態
【 (緑)	バッテリーがまだ十分に残っています。
(緑)	少し減っています。
└┛ (黄)	だいぶ減っています。
└□ (赤)	残量がほとんどありません。
「電池容量がなくなりました」	メッセージ表示後、電源が切れます。

リサイクルについて



このマークは小型充電式電池のリサイクルマークです。 ご使用済みの小型充電式電池を廃棄するときは、端子部に絶 縁テープを貼って、小型充電式電池リサイクル協力店へお持 ちください。

ACアダプターを使用する

長時間ご使用になるときや、パソコンと接続するときは、別売のACア ダプターキット(K-AC130J)のご使用をお勧めします。



- 1 カメラの電源が切れていることを確認してから、バッテ リー/カードカバーを開ける
- 2 バッテリーを取り出す バッテリー/カードカバーの開け方/閉じ方と、バッテリーの取り出 し方は、p.37~38を参照してください。

3 DCカプラーを挿入する

バッテリーロックレバーを押しながら挿入し、DCカプラーがロック されたことを確認してください。

4 DCカプラーのコードを引き出す

バッテリー/カードカバーとカメラの接続部分にあるDCカプラー引出しロカバーを引き上げて、DCカプラーのコードを外に引き出します。

5 バッテリー/カードカバーを閉じる

6 DCカプラーとACアダプターのDC端子を接続する

7 ACコードをACアダプターに接続する

8 電源プラグをコンセントに差し込む

- 注意
- ACアダプターの接続/取り外しは、必ずカメラの電源を切った状態 で行ってください。
 - 電源と接続ケーブルはしっかりと差し込んでください。SDメモリー カードまたは内蔵メモリーにデータを記録中にケーブルが外れると、 データが壊れることがあります。
 - ACアダプターを使用する場合は、火災や感電に十分ご注意ください。
 ご使用の前に、必ず「バッテリー充電器とACアダプターについて」
 (p.2)をお読みください。
 - ACアダプターをご使用になるときは、ACアダプターキットK-AC130Jの使用説明書をあわせてご覧ください。

1

SDメモリーカードをセットする

このカメラでは、市販のSDメモリーカード、SDHCメモリーカード、 SDXCメモリーカードが使用できます。撮影した画像は、カメラにセットしたSDメモリーカードに記録されます。SDメモリーカードをセット していないときは、内蔵メモリーに記録されます(p.45)。

- ・未使用または他のカメラやデジタル機器で使用した SDメモリーカー ドは、必ずこのカメラでフォーマット(初期化)してからご使用くだ さい。フォーマットについては「フォーマットする」(p.167)をご覧 ください。
 - 新しいEye-Fiカードをはじめて使用するときは、カードをフォーマットする前にカード内のEye-Fi Managerのインストールファイルをパソコンにコピーしてからフォーマットしてください。
 - SDメモリーカードのセット/取り出しは、必ずカメラの電源を切った状態で行ってください。
 - 撮影できる静止画の枚数や動画の記録時間は、使用するSDメモリーカードの容量と画像の記録サイズや画質、フレームレート(動画の場合)によって異なります。
 - ・静止画の記録サイズの設定は、「□撮影1」メニューで行います。
 詳しくは「画像の記録形式を設定する」(p.95)をご覧ください。
 - 動画の記録サイズとフレームレートの設定は「増動画1」メニューで行います。詳しくは「動画の記録サイズを選択する」(p.115)をご覧ください。
 - SDメモリーカードや内蔵メモリーに記録できる撮影可能枚数/時間の目安については、「主な仕様」(p.217)をご覧ください。
 - SDメモリーカードにアクセス中(データの記録や読み出し中)は、電源ランプが点滅します。

データバックアップのお勧め

SDメモリーカードや内蔵メモリーに記録されたデータは、故障などの原因で まれに読み出しができなくなることがあります。大切なデータは、パソコンな どを利用して内蔵メモリーとは別の場所に保存しておくことをお勧めします。

(1)

準備

XE



1 カメラの電源が切れていることを確認してから、バッテ リー/カードカバーを開ける

①バッテリー/カードカバーロックレバーを矢印の方向にスライド させ、②バッテリー/カードカバーを開きます。

2 SDメモリーカードのラベル面をカメラの画像モニター側 に向け、カメラのSDメモリーカードソケットに挿入する

カードはカチッと音がするまでしっかり押し込んでください。カード がしっかり入っていないと、データが正常に記録されないことがあり ます。

取り出すときは、SDメモリーカードを押し込み、SDメモリーカード が少し飛び出したら、引き抜きます。

3 バッテリー/カードカバーを閉じる

バッテリー/カードカバーを閉じたら、バッテリー/カードカバー ロックレバーを①と反対方向にスライドさせて、ロックします。 電源をON/OFFする



1 レンズキャップを外す

2 電源ボタンを押す

電源が入り、画像モニターが点灯します。 電源を入れると、レンズが前に繰り出します(初期設定を行っていない場合は繰り出しません)。

カメラの電源を入れたときに、「言語設定」あるいは「日時設定」の 画面が表示された場合は、p.46の手順に従って設定してください。

もうー度電源ボタンを押す

画像モニターが消灯してレンズが収納された後、電源が切れます。

静止画を撮影する ☞p.51

3

カードチェック

電源を入れると、カードチェックが行われ、メモリーの状態が表示されます。

1	SD メモリーカードがセットされていま す。画像は、SDメモリーカードに記録さ れます。
Ø	SDメモリーカードがセットされていません。画像は、内蔵メモリーに記録されます。
££]	SDメモリーカードのライトプロテクトス イッチがLOCKになっています(p.6)。画 像の記録はできません。



メモリー状態表示

1

準備

再生起動モード

再生起動モードは、撮影をしないで、すぐに画像を再生したいときに 使用します。



1 シボタンを長押しする

レンズが収納されたまま画像モニターが点灯し、再生モードで起動し ます。



- 再生モードで起動後に撮影モードへ切り替えるときは、必ずレンズ キャップを外して、 デボタンを押すかシャッターボタンを半押しし てください。
 - ・再生起動モードをオフにしたいときは「▲設定4」メニューの「ダイレクト起動」の「再生起動」を□(オフ)に設定します(p.186)。

静止画を再生する ☞p.120

初期設定をする

1 準備 カメラの電源を入れて(p.44)「Language/言語」画面が表示されたら、 下記の「言語を設定する」の手順で言語を「日本語」に、「日時を設定 する」(p.49)の手順で現在の日時を設定してください。

設定した言語と日時はあとから変更することもできます。操作方法は下記の ページをご覧ください。

• 言語を変更したいとき:「表示言語を変更する」(™p.173)

• 日時を変更したいとき:「日時を変更する」(☞p.169)

言語を設定する



1 十字キー(▲▼◀▶)で「日本語」を選ぶ

2 OK ボタンを押す

日本語の「初期設定」画面が表示されます。 「現在地」が「東京」、「夏時間」が I G に設定 されていたら、手順9に進みます。 それ以外の設定になっていたら、手順3に進 んでください。



夏時間

もし誤って日本語以外の言語を選んで次に進んでしまったら、あわてず下記の 操作で、日本語の表示に設定し直してください。

- ●「Language/言語」画面で、日本語以外の言語を選んで OK ボタンを押して しまった!
- 1 十字キー (▶)を押す
- 2 十字キー (▲▼ ◀ ▶)で「日本語」を選んで、OK ボタンを 押す

日本語の「初期設定」画面が表示されます。

- 手順2で言語設定を間違えたまま次の画面を表示させてしまった!
- 1 MENUボタンを押す

設定画面を終了させて、いったん撮影できる状態にします。

- MENUボタンを押す
 「ロ撮影1」メニューが表示されます。
- 3 十字キー(▶)を4回押す 「、3 (↓) メニューが表示されます。
- **4** 十字キー (▲▼) で「Language/言語」を選ぶ
- 5 +字キー(▶)を押す

「Language/言語」画面が表示されます。

- **6** 十字キー(▲▼ ◀ ▶)で「日本語」を選ぶ
- 7 OK ボタンを押す

日本語の「、設定1」メニューが表示されます。

現在地と日時を設定し直す必要がある場合は、下記のページを参照してください。

- 現在地を変更したいとき:「ワールドタイムを設定する」(☞p.170)
- ・日時を変更したいとき:「日時を変更する」(☞p.169)

1







MENU取消

ĥ +字キー (▼)を押す 選択枠が「夏時間」に移動します。 7 十字キー(◀▶)で□(オフ)に設定する

8 OK ボタンを押す 「初期設定」画面に戻ります。

9 +字キー(▼)で「設定完了」を選ぶ

11 OK ボタンを押す

4

1

準備

「日時設定」画面が表示されます。引き続き、日付と時刻を設定します。

初期設定で「現在地」を変更すると、ビデオ出力方式(NTSC/PAL)が選ん だ都市の方式に自動的に設定されます。設定されるビデオ出力方式と、初期設 定後の変更のしかたについては下記のページを参照してください。

- 初期設定で設定されるビデオ出力方式:「都市名一覧」(☞p.216)
- ビデオ出力方式を変更したいとき:「ビデオ出力方式を選択する」(☞p.179)

日時を設定する

ら選択します。

日付の表示スタイルと現在の日付・時刻を設定します。

- 1 十字キー(▶)を押す 選択枠が「年/月/日」に移動します。
- 2 +字キー(▲▼)で日付の表示スタイ ルを選ぶ 「年/月/日」/「月/日/年」/「日/月/年」か

日時設定 表示スタイル 日付 2013/01/01 時刻 00:00 設定完了 WEND取消 1

準備

3 十字キー(▶)を押す

選択枠が「24h」に移動します。

- 4 十字キー(▲▼)で「24h」(24 時間表示) / 「12h」(12 時間表示)を選ぶ
- 5 十字キー(▶)を押す 選択枠が「表示スタイル」に戻ります。
- 6 十字キー(▼)を押す 選択枠が「日付」に移動します。
- 7 十字キー(▶)を押す 選択枠が西暦年に移動します。
- 8 十字キー(▲▼)で西暦年を設定する 同様に「月」「日」を設定します。 続いて時刻を設定します。 手順4で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM/PMが 切り替わります。
- 9 十字キー(▶)を押してから、十字キー(▼)で「設定完 了」を選ぶ
- **10** OK ボタンを押す

日時が確定します。

49

手順10で**OK**ボタンを押すと、0秒にセットされます。時報に合わせて **OK**ボタンを押すと、秒単位まで正確に日時が設定できます。



1

準備

初期設定の途中でMENUボタンを押すと、それまで設定した内容が キャンセルされて、撮影できる状態になります。この場合は、次回電源 を入れたときに再度、初期設定を行う画面が表示されます。

設定した言語/日時/現在地/夏時間はあとから変更することができます。操 作方法は下記のページを参照してください。

- ・ 言語を変更したいとき:「表示言語を変更する」(IIP.173)
- 日時を変更したいとき:「日時を変更する」(™p.169)
- ・現在地、夏時間のオン/オフを変更したいとき:「ワールドタイムを設定する」(☞p.170)



画像モニターの位置を調節する

画像モニターは、下向きに約45度、上向きに約90度まで動かせます。 低い位置での撮影や、頭上での撮影などが楽に行えます。

- ・ 画像モニターを動かすときは、無理な力をかけないようご注意ください。
 - ・ 画像モニターは、左右方向には動かせません。

• 通常は画像モニターを元の位置に戻してお使いください。





2

標準的な撮影のしかた(オートピクチャーモード)

このカメラには、撮影者の意図に的確に応じる様々な撮影モードや フォーカスモード、ドライブモードが備わっています。ここでは、基 本的にシャッターボタンを押すだけの 聞(オートピクチャー)モード の撮影方法を説明します。

晋 モードでは、カメラが被写体やシーンを自動的に判別して最適な撮影モードで撮影できます。

1 レンズキャップを外す

2 電源ボタンを押す

電源が入り、「撮影モード」になります。

3 モードダイヤルをAUTO PICT に合わせる

被写体に最適な撮影モードをカメラが選択します。



画像モニターを確認する

画像モニター中央のフォーカスフレームの 中が、自動でピントが合う範囲です。



4

2



顏検出枠

ズームレバーを回すと、被写体の写る 範囲が変わります (p.58)。

検出枠が表示されます(p.56)。

右(T) 被写体を拡大して写す 左(₩) 被写体を広い範囲で写す



2

撮影

5	⁷ シャッターボタンを半押しする			
	判別された撮影モードが画像モニター左 上に表示されます。	(



•	標準	<u>ا</u>	夜景	ţ	夜景ポートレート
	風景	210	花	2	ポートレート
5	スポーツ		キャンドルライト	١,	青空
	人物×青空	10	人物×逆光	ł	夕焼け
	人物×夕焼け		集合写真	A	テキスト

ピントが合った位置で、フォーカスフレーム(または顔検出枠)が緑 色に変わります。

ストロボを使用する場合は、
キレバーをスライドさせて、ストロボを ポップアップします (p.83)。

6 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

ストロボは、明るさに応じて自動的に発光します。 撮影した画像は画像モニターに表示(クイックビュー ☞p.55)された 後、SDメモリーカードまたは内蔵メモリーに保存されます。

XE

2

撮影

- 器モードでは以下の制限があります。
 - ・ 顔検出機能は「オフ」にできません。
 - AFエリアは[](オート)固定になります。
 - デジタルズーム/インテリジェントズームを使用しているときは、
 「花」は判別されません。
 - ストロボモードが4⁴(オート)または4⁶(オート+赤目)のとき ((夜景)が判別された場合は、ストロボは⁶(発光禁止)に固定されます。
 - ・ドライブモードを
 ○ (連続撮影) / □ (連写L) / □ (連写H) に 設定している場合は、最初に判別された撮影モードのまま連続して 撮影されます。
 - 露出補正は±0EVに固定されます。
 - ・ 登録されているペットを見つけた場合は、[®](ペット)モードになります。

シャッターボタンの押しかた

シャッターボタンは「半押し」と「全押し」の2段階になっています。

半押し

シャッターボタンを1段目まで軽く押した状態です。ピント位置と露出 がロックされます。半押しのときにピントが合うと、画像モニターに 緑色の枠が表示されます。ピントが合っていないときは、白い枠が表 示されます。

全押し

シャッターボタンを2段目まで押しきった状態です。撮影が行われま す。



ピント合わせの苦手な条件

写したいものが下の例のような条件にある場合は、ピントが合わないことがあ ります。その場合はいったん撮りたいものと同じ距離にあるものにピントを固 定(シャッターボタン半押し)し、その後撮りたい位置に構図を戻してシャッ ターを切ります。

- 青空や白壁など極端にコントラストが低いもの
- ・暗い場所、あるいは真っ暗なものなど、光の反射しにくい条件
- 細かい模様の場合
- 非常に速い速度で移動しているもの
- ・ 遠近のものが同時に存在する場合
- 反射の強い光、強い逆光(周辺が特に明るい場合)

クイックビューとまばたき検出

撮影直後には、撮影した画像が画像モニターに表示(クイックビュー) されます。顔検出機能が働いているときに、被写体が目を閉じたとカ メラが検出すると、「目を閉じていました」というメッセージが3秒間 表示されます(まばたき検出)。

- ・ 顔検出が行われなかったときは、まばたき検出も行われません。また 顔検出した場合でも、検出した顔の条件によってまばたき検出ができ ないことがあります。
 - クイックビューを表示しないように設定することもできます (p.106)。
 - ・まばたきを検出しないように設定することもできます(p.105)。

2

顔検出機能を利用する

このカメラでは、すべての撮影モードで、「顔検 出」機能が利用できます。

顔検出機能は、カメラが人物の顔を検出すると、 画像モニター上の顔の位置に黄色の顔検出枠を 表示し、ピント合わせ(顔検出AF)と露出補正 (顔検出AE)を行います。

顔検出枠は、被写体の人物が動くと、顔を追尾 して位置や大きさが変化します。

人物の顔は最大32人まで検出できます。複数の 顔を検出した場合は、メインの顔に黄色の枠が 表示され、他の顔には白い枠が表示されます。 枠は、メイン枠・白い枠を合わせて最大31個ま で表示できます。

初期状態では、顔検出機能が「オン」に設定されています。被写体が笑顔になると自動で撮影 することもできます。詳しくは「顔検出機能を 切り替える」(p.104)を参照してください。



顏検出枠

複数の顔を検出した場合



簡単撮影モードで撮影する(グリーンモード)

●(グリーン)モードでは、「□撮影」メニューの設定に関係なく、標準設定で手軽に撮影を楽しめます。

● (グリーン) モードの設定値は、以下のとおりです。

感度		AUTO
感度AUTO調整範囲		ISO100 - 1600
露出補正		±0.0
ストロボ光量補正		±0.0
カスタムイメージ		鮮やか
	彩度	±0
色相		±0
	コントラスト	±0
	シャープネス	±0

	アスペクト比	4:3
司母凯古	記録形式	JPEG
記述改進	JPEG記録サイズ	12M
	JPEG画質	Fine
ホワイトバランス		AWB (オート)
	AWB微調整AB	±0
	AWB微調整GM	±0
	AFエリア	[](オート)
AF	AFモード	AF.S
	AF補助光	
測光方式		◙(分割測光)
NDフィルター		オート
HDR撮影		標準
D Banga 設宁	ハイライト補正	オート
D-Range設定	シャドー補正	□ (オフ)
ディストーション補正		
Shake Reduction		センサーシフト
顏検出		オン
まばたき検出		
デジタルズーム		
	表示時間	1秒
カイックビュー	拡大表示	
919961-	ヒストグラム	□ (オフ)
	白とび警告	□ (オフ)
モードメモロ	ズーム位置	□ (オフ)
	ズーム位置以外	
	グリッド表示	龗(オフ)
画面設定	ヒストグラム	□ (オフ)
凹凹以た	白とび警告	□ (オフ)
	電子水準器	□ (オフ)
日付写し込み		オフ

1 モードダイヤルを● (グリーン) に 合わせる

●モードに切り替わります。 カメラが人物の顔を検出すると、顔検出機能が働き、顔検出枠が表示されます(p.56)。 ストロボを使用する場合は、↓レバーをス ライドさせてストロボをポップアップします(p.83)。



2 シャッターボタンを半押しする

ピントが合った位置で、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に 変わります。

3 シャッターボタンを全押しする

撮影されます。

- ●モードでは、OKボタンを押して情報表示を切り替えることはできません。
 - ●モードでMENUボタンを押すと、「、設定1」メニューが表示されます。「、設定1/2/3/4」以外のメニューは表示できません。

ズームを使って撮影する

ズーム機能を使って、写す範囲を変えて撮影できます。

1 撮影モードでズームレバーを回す

右(T) 望遠 被写体を拡大して写す

左(W) 広角 被写体を広い範囲で写す



2



- *1 光学4.0倍までズームできます(6.0~24.0mm(35mm換算:約28~112mm))。
- *2 記録サイズによってインテリジェントズーム域は変化します。次の表をご覧 ください。

記録サイズと最大ズーム倍率

記録サイズ	インテリジェントズーム	デジタルズーム
12м/ <u>9м</u> (139)/10м (139)/ (13	使用不可(光学4.0倍のみ)	約7.8倍
7м / <u>5м</u> (139) / 6 м ⁽³⁹²⁾ / 5м (191)	約5.2倍	約7.8倍
<u>5м/Зм</u> Зм <mark>іні</mark>	約6.2倍	約7.8倍
<u>3м / 2м (159) / 2м (59) / 2m (59) </u>	約7.8倍	使用不可

- ・高倍率の撮影では、手ぶれを防止するため三脚などのご使用をお勧めします。
 - フォーカスモードが 温(1cmマクロ)のときは、ズーム位置が固定されます。
 - デジタルズーム領域で撮影すると、光学ズーム領域で撮影したときよりも画像があらくなります。
 - 記録サイズが「12m/<u>9m^{IBB}</u>/10m^{IBB}/9m^{IBD}のときは、インテリジェントズームは使えません(光学4.0倍ズームとデジタルズームは使用可)。
 - インテリジェントズームで高倍率に拡大すると、画像モニターの画像 があらく見えることがあります。撮影した静止画の画質には、影響は ありません。

デジタルズーム機能を設定する

初期設定では、デジタルズームは ☑ (オン)に設定されています。光 学ズームとインテリジェントズーム領域だけを使って撮影したい場合 は、□(オフ)に設定します。

- 1 静止画撮影モードでMENUボタンを押す 「□撮影1」メニューが表示されます。
- 2 +字キー(◀▶)で「□撮影3」メニューを選び、+字キー (▲▼)で「デジタルズーム」を選ぶ
- 3 +字キー(◀▶)で☑ /□を切り替える
 - ✓ デジタルズームを使用する
 - 光学ズームとインテリジェントズームだけを使用する



設定が保存されます。

4 MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。

デジタルズーム機能の設定を保存する ISP.118

撮影関連機能の操作

撮影に関する機能は、ダイレクトキー/コントロールパネル/「□撮影」メニュー/「■動画」メニュー/「Cカスタム」メニューで指定します。

メニューの操作方法については、「メニューで設定する」(p.31)を参照 してください。

ダイレクトキーの設定項目

撮影モードで十字キー(▲▼**▲**▶)を押すと、 以下の項目が設定できます。



+-	項目	機能	参照
•	ドライブモード	連続撮影/セルフタイマー/リモコン/ オートブラケットを選択します。	p.84
▼	ISO感度	ISO感度を設定します。	p.92
•	ストロボモード	ストロボの発光方式を設定します。	p.82
•	フォーカスモード	ピントの合わせ方を選択します。	p.87

撮影メニューの設定項目

「□撮影1~3」メニューでは、以下の設定を行います。

撮影モードでMENUボタンを押すと、「□撮影 1」メニューが表示されます。



2

メニュー	項目		機能	参照
	カスタムイメージ ^{*1} / シーンモード ^{*2}		色味やコントラストなどの画像の 仕上がり具合を設定します。	p.106
		アスペクト比 ^{*1}	画像の横:縦の比率を設定します。	
		記録形式 ^{*1}	ファイルフォーマットを設定しま す。	
	記録設定	JPEG記録サイズ ^{*1}	JPEGで記録した場合の記録サイズ を設定します。	p.95
		JPEG画質 ^{*1}	JPEGで記録した場合の画質を設定 します。	
	ホワイトハ	バランス ^{*1}	ホワイトバランスを選択します。	p.98
D 1		AFエリア ^{*1}	オートフォーカスの対象となる範 囲を設定します。	p.89
	AF	AFモード ^{*1}	オートフォーカスの方法を選択し ます。	p.90
		AF補助光	被写体が暗くてオートフォーカス が正確に作動しないときにAF補助 光を発光します。	p.90
	測光方式 ^{*1}		センサーのどの部分で明るさを測 り、露出を決めるのかを設定しま す。	p.95
	NDフィル	·ター ^{*1}	レンズに装着されたNDフィルター を使用するかどうか設定します。	p.102
	HDR撮影		ハイダイナミックレンジ撮影を行 います。	p.101
	D-Range	ハイライト補正 ^{*1}	明るすぎる部分を補正し、白とびを 防ぎます。	n 101
D 2	設定	シャドー補正 ^{*1}	暗すぎる部分を補正し、黒つぶれを 防ぎます。	p.101
	ディストーション補正		レンズの特性によって生じる歪曲 収差を軽減します。	p.103
	Shake Reduction *1		手ぶれ補正機能を設定します。	p.103
	顔検出		人物の顔を検出してピントや露出 を合わせます。	p.104
	まばたき検出		顔検出したときに、まばたき検出を 行うかどうか設定します。	p.105

メニュー	項目	機能	参照
	デジタルズーム	デジタルズームを使うかどうかを 設定します。	p.60
	クイックビュー	クイックビューの表示を設定しま す。	p.106
D 3	モードメモリ	電源を切ったときに設定を保存し ておく項目を選択します。	p.118
	画面設定	撮影モードでの画像モニターの表 示を設定します。	p.183
	日付写し込み	静止画撮影時に日付と時刻の写し 込みをするかどうかを設定します。	p.108

*1 コントロールパネルで設定することもできます。

*2 モードダイヤルで SCN を選択しているときは、「シーンモード」が表示され ます。

「□撮影1」メニュー

□ 1 2 3 カスタムイメージ 記録設定 ホワイトバランス	<u>क्षा रा टो</u> 12. मः АМВ
測光方式 NDフィルター	の オート
MENU 於 J	





「口撮影2」メニュー



動画メニューの設定項目

「常動画1」メニューでは、以下の設定を行います。 モードダイヤルが常のときにMENUボタンを押すと、「常動画1」メ ニューが表示されます。

メニュー	項目機能		参照
	カスタムイメージ ^{*1}	色味やコントラストなどの画像の仕 上がり具合を設定します。	p.115
	記録サイズ ^{*1}	動画の記録サイズを設定します。	p.115
	Movie SR	手ぶれ補正機能を設定します。	p.116
習1	風切音低減 *1	風の音を低減して録音します。	p.116
	撮影中のAF ^{*1}	動画撮影中にオートフォーカスを行 うかどうかを設定します。	p.116
	撮影中の光学ズーム	動画撮影中に光学ズームを許可する かどうかを設定します。	p.117

*1 コントロールパネルで設定することもできます。

「曾動画1」メニュー

<u>r</u> 1		ষাল
カスタムイメージ		
記録サイズ	HDD	
Movie SR	\mathbf{Z}	
風切音低減		
撮影中のAF		
撮影中の光学ズーム		
MENU 終了		

カスタムファンクションメニューの設定項目

「**C**カスタム1~2」メニューでは、本機の機能を生かして撮影するための設定を行います。

メニュー	項目	機能	参照
C1	1. AFロック時のAE-L	フォーカスロック時に露出値も固定 するかどうかを設定します。	p.94
	2. ブラケット撮影順	オートブラケット撮影時の撮影順を 設定します。	p.85
	3. ストロボ発光時のWB	ストロボ発光時のホワイトバランス の設定を行います。	p.99
	4. 白熱灯下のAWB	ホワイトバランスがAWBのときに、 白熱灯の色味を残すか補正するかを 設定します。	p.99
	5. リモコン時のAF	リモコン撮影するときに、オート フォーカスするかどうかを設定しま す。	p.87
	6. メニュー選択の記憶	直前に操作したメニューを記憶し、 次にMENUボタンを押したときも同 じ画面を表示するかどうかを設定し ます。	p.183
	7. 電子シャッターの併用	電子シャッターの併用を許可するか 禁止するかを設定します。	—
	8. ISO感度ステップ	ISO感度ステップを切り替えます。	p.92
C 2	9. 回転情報の記録	撮影時に回転情報を記録するかどう かを設定します。	p.127
	10. 画像の自動回転	再生時に画像の自動回転を行うかど うかを設定します。	p.127
	カスタムのリセット	「Cカスタム1~2」メニューの各項 目の設定内容を初期状態に戻しま す。	_

「Cカスタム1」メニュー



「Cカスタム2」メニュー



モードダイヤルで選ぶ撮影モード

本機には多彩な撮影モードがあります。用途に合わせて、モードダイ ヤルで撮影モードを選択してください。 本書では撮影モードを以下のように呼びます。

撮影モード	種類	参照
AUTO PICT (オートピ クチャー)モード	カメラが自動的に最適な撮影モードを選択します。	p.52
SCN (シーン) モード	様々な撮影シーンから撮影モードを選択します。	p.67
HDR モード	露出が異なる3枚の画像を撮影して重ね、ダイナ ミックレンジの広い1枚の画像として保存します。	p.72
USER (ユーザー) モー ド	任意に登録した設定で撮影します。	p.73
露出モード (P/Tv/Av/M)	シャッタースピードと絞り値を設定して撮影しま す。	p.69
염 (動画) モード	動画を撮影します。	p.110
● (グリーン)モード	あらかじめ登録されている標準設定で手軽に撮影 します。	p.56

モードダイヤルを回して、アイコン をダイヤル指標に合わせる

ダイヤル指標・



画像モニターに選択した撮影モード が表示されます。(ガイド表示)



シーンに合わせて撮影する(シーンモード)

モードダイヤルを**SCN**(シーン)に合わせると、次の撮影シーンから 選択して撮影できます。

	撮影シーン	内容
٩	ポートレート	人物の撮影に適しています。肌色を健康的に仕上げます。
*	花	花の撮影に適しています。花の輪郭を柔らかめに表現しま す。
	風景	風景の撮影に適しています。木々の緑と空の青をより鮮や かに写します。
	青空	青空の彩度を強調してより鮮やかに写します。
<u>.</u>	夕焼け	夕焼けの雰囲気を残して撮影します。
	夜景	夜景の撮影に適しています。ぶれに注意し、三脚などで固 定して撮影してください。
1	手持ち夜景	手ぶれの少ない夜景を撮影します。
64	夜景ポートレート	夜景での人物撮影に適しています。ぶれに注意し、三脚な どで固定して撮影してください。 ストロボモードを 4 ^ヘ (オート)に設定しているときに顔 検出された場合は、自動的に 4 _● (強制+赤目)で撮影さ れます。
揝	キャンドルライト	キャンドルライトの雰囲気を生かして撮影します。
*	花火	花火の撮影に適しています。ぶれに注意し、三脚などで固 定して撮影してください。 シャッタースピードは4秒、感度は最低感度に固定されま す。
۳ſ	料理	料理の撮影に適しています。より鮮やかに仕上げます。
¢9	サーフ&スノー	砂浜や雪山など、明るい場所での撮影に適しています。
0 5	ペット	動き回るペットの撮影に適しています。登録したペットの 検出もできます。 (🖙 p.79)
Ŷ	キッズ	動きの多い子供を撮影するのに適しています。肌色を健康 的に仕上げます。
Se .	スポーツ	動きの速い被写体の撮影に適しています。撮影するまでピ ントを合わせ続けます。
≪≗»	高感度	ぶれを軽減して撮影するために、より高い感度を使用しま す。感度は「AUTO」に固定されます。
A	テキスト	文字の撮影に適しています。白黒や反転などの効果が選択 できます。
ц×	マナー撮影	ストロボ、AF補助光、撮影時の電子音をオフにします。
WIDE	デジタルワイド	撮影した2枚の画像をカメラ内でつなぎ合わせて、より広 い範囲の画像を作成します。(☞p.76)

撮影シーン	内容
▶■■ パノラマ	撮影した画像をカメラ内でつなぎ合わせてパノラマ写真 を作成します。(☞p.78)
₲₲ ミニチュア	画像の上下をぼかしてミニチュア風の写真を撮影します。



★モ 撮影モードによっては、一部の機能が設定できなかったり、制限がある 場合があります。詳しくは、「各撮影モードの機能対応」(p.198)をご 確認ください。

撮影シーンを選ぶ





2 INFOボタンを押す コントロールパネルが表示されます。



3 十字キー(▲▼◀▶)で「シーンモード」を選択し、OK ボタンを押す

シーンモードパレットが表示されます。

4 十字キー(▲▼ ◀ ▶) で撮影シーンを 選択する

> シーンモードパレットでアイコンを選択す ると、選んだ撮影シーンの説明が表示されま す。



5 OK ボタンを押す

コントロールパネルに戻ります。

6 INFOボタンを押す

撮影できる状態になります。 ストロボを使用する場合は、**4**レバーをスラ イドさせてストロボをポップアップします (p.83)。

モードダイヤルをSCNに合わせてMENUボ タンを押すと、「□撮影1」メニューに「シー ンモード」が表示されます。十字キー(▶) を押すと、シーンモードパレットが表示さ れ、撮影シーンが選択できます。



2

撮影

🚱 🕄 – 🗆 – LIMI:

MENU終了

│露出を変えて撮影する(P/Tv/Av/Mモード)

シャッタースピード・絞り値を任意に変更し、撮影者の意図に合った 画像を撮影したいときに使用します。

	撮影モード	内容
Р	プログラム	プログラムラインに従ってシャッタースピードと絞り値 が自動的に設定され、適正露出で撮影できます。
Τv	シャッター優先	シャッタースピードを任意の値に設定して、被写体の動き を表現したいときに使用します。
Av	絞り優先	絞り値を任意の値に設定して撮影します。
м	マニュアル	任意に設定したシャッタースピードと絞り値を組み合わ せて、より撮影意図に合った画作りをしたいときに使いま す。

露出モードを選ぶ

本機には、4つの露出モードが用意されています。 各露出モードで設定できる項目は以下のとおりです。

	露出モード	露出補正	シャッター スピード変更	絞り値 変更	ISO感度 変更
Р	プログラム	0	\bigtriangleup	Δ	0
Τv	シャッター優先	0	0	×	0
Av	絞り優先	0	×	0	0
М	マニュアル	×	0	0	AUTO 以外

2 撮影

1





2 電子ダイヤルを回して設定を変更す る



画像モニターには、変更できる数値の前 に▶が表示されます。 選択した露出モードによって、以下の設 定が調整できます。

Ρ	露光量を保持するようにシャッタース ピードと絞り値を変更する (プログラ ムシフト)
Τv	シャッタースピード
Av	絞り値
М	シャッタースピードと絞り値


Mモードの場合は、AV/AE-Lボタンを押し て電子ダイヤルで変更できる設定(シャッ タースピードまたは絞り値)を選んでから 電子ダイヤルを回して変更します。



2

撮影

- ・ Mモードでは、露出補正は使用できません。
 - ・感度でAUTOは選択できません。
 - ・ストロボモードの4[▲](オート) /4[●](オート+赤目)は選択できません。
 - - 現在の露出と適正露出との差が大きい場合は、警告を表示します。±
 2.0EVを超える場合には露出警告アイコンのみ、±2.0EV以下の場合には露出警告アイコンと現在の露出と適正露出との差を1/3EV単位で表示します。
 - シャッタースピードが1秒より遅い値になった場合には、画像のざら つきやムラを減らす処理(ノイズリダクション)が行われます。
 - ズーム倍率を変更したときも、絞り値を保持します。ただし、選択したズーム倍率で現在の絞り値が使用できない場合には、最も近い絞り値に設定します。この場合、再度ズーム倍率を変更して元の絞り値が使用できるようになったら、元の絞り値に戻ります。

バルブ撮影を利用する

XE

花火や夜景などの撮影で、長時間シャッターを開きたいときに利用し ます。

- **1** モードダイヤルをMに合わせる
- 2 電子ダイヤルを左(図)に回して シャッタースピードをBulbにする Bulbは、シャッタースピードの最も遅い 側にあります。



シャッターボタンを押す

シャッターボタンを押している間、シャッターが開きます。



• 露出補正

3

2

撮影

- ・オートブラケット
- AEロック
- •連続撮影/連写(L)/連写(H)
- HDR撮影
- · Shake Reduction
- ・露光時間が30秒を超えると、撮影は強制的に終了します。
- ・バルブ撮影をするときは、ぶれ防止のためしっかりした三脚を使用してください。
 - ・バルブ撮影のISO感度の上限は、ISO 1600です。
 - バルブ撮影ではバッテリーを消費しますので、長時間露光の際には ACアダプターキットK-AC130J(別売)のご使用をお勧めします。 (p.40)

ダイナミックレンジの広い画像を撮影する(HDR モード)

露出が異なる3枚の画像を自動的に撮影し、合成して1枚の画像として 保存します。ダイナミックレンジの広い画像が撮影できます。

1 モードダイヤルをHDR に合わせる



2 シャッターボタンを半押ししてから、全押しする

露出±0EV、-2.0EV、+2.0EVの画像が連続して撮影されます。 画面に「処理中です」と表示され、3枚の画像が合成されます。 合成された画像が画像モニターに表示され(クイックビュー)、SDメ モリーカードまたは内蔵メモリーに保存されます。

XE

露出は、絞り値を一定としてシャッタースピードで調整されます。

- ・保存されるのは、合成後の画像のみです。
- ・記録形式RAWは選択できません。
- ドライブモードの連続撮影/連写(L)/連写(H)/オートブラケットは選択できません。
- ・ HDR モードが選択されている場合、ストロボモードは③(発光禁止)、 D-Range設定のハイライト補正とシャドー補正はオフ、まばたき検出 はオフに固定されます。

合成する画像にHDRフィルター効果をかけて保存する № p.101

USER(ユーザー)モードを利用する

USERモードを登録する

現在のカメラの設定を登録し、モードダイヤルをUSERに合わせるだけ で簡単に呼び出すことができます。 登録できる設定は以下の通りです。

- 撮影モードP(初期設定)/Tv/Av/M
- 絞り値(Av / Mモードのときのみ)
- ・ シャッタースピード (Tv / Mモードのときのみ)
- ・「□撮影」メニューの設定
- ストロボモード
- ドライブモード
- フォーカスモード
- MF位置
- オートブラケットの露出補正値幅
- 測距点位置
- 感度
- 画像モニターの情報表示

1 モードダイヤルをP. Tv. AvまたはMに合わせる

2

モードダイヤルが上記以外に設定されているときは、USERモード登録 はできません。

2 登録する機能を設定する

- 3 「、設定1」メニューから、十字キー(▲▼)で「USERモー ド登録」を選び、十字キー(▶)を押す 「USERモード登録」画面が表示されます。
- 4 十字キー(▲)で「登録」を選ぶ

5 OK ボタンを押す

登録処理が開始されます。 登録が終わると、撮影モードまたは再生モードに戻ります。

USERモードで撮影する

1 モードダイヤルをUSERに合わせる 登録されている設定が呼び出されます。 0



現在の撮影設定を Rモードに登録しる 登録

OK 決定

2 必要に応じて設定を変更する

3 ストロボを使用する場合は \$ レバーをスライドさせる ストロボがポップアップします (p.83)。

4 撮影する

2

USERモードで変更した設定は、モードダイヤルがUSERのときだけ有 効です。他の撮影モードに変更したり、電源を切ると「USER モード 登録」で登録した設定に戻ります。USERモードの登録内容を変更する 場合は、再度「USER モード登録」で登録してください。 さまざまな撮影方法



デジタルワイドを使って撮影する(デジタルワイド モード)

▶ 「デジタルワイド)モードでは、縦位置の2枚の撮影画像をカメラ 内で合成することで、最大で約17mm相当(35mmフィルム換算)の広 角撮影ができます。



1 p.68の手順で、シーンモードパレットから十字キー (▲▼◀▶)で 四回(デジタルワイド)を選ぶ

2 OK ボタンを押してから、INFO ボタンを押 す

> ■■ モードになります。 カメラを縦位置に構え、1枚目(左半分)の構図を 決めます。

カメラが人物の顔を検出すると、顔検出機能が働き、顔検出枠が表示されます(p.56)。





2 撮影

Δ 2枚日を撮影する

XE

示されます。

3 シャッターボタンを押して撮影する

画面左の位置合わせガイドに画像を重ねて、2枚目(右半分)の構図 を決めます。手順3と同じ操作で2枚目の撮影をすると、1枚目と2枚 目の撮影画面が合成されます。

合成された画像は画像モニターに表示(クイックビュー)された後、 保存されます。

- 2枚目を撮影するときは、位置合わせガイドの右端を軸にしてカメラ を旋回させるようにすると、ひずみの少ない写真ができます。
 - ・1枚目と2枚目の重ね合わせ部分に、動くものや繰り返しパターンの像 があったり、逆に何もない場合は、うまく合成できないことがありま す。
 - 顔検出機能(p.104)が「オン」の場合は、1枚目の撮影時のみ顔検出 機能が働きます。
 - ・合成された画像は、
 「M で保存されます。

1枚目で撮影をやめるとき

1 p.77の手順4で2枚目の撮影画面が表示されているときに、 OK ボタンまたは十字キー (▼)を押す

確認の画面が表示されます。

2 +字キー(▲▼)で処理を選び、OK ボタンを押す

保存	1枚目の画像を保存し、新たに1枚目から撮影します。1枚目の 画像は3MIで保存されます。
破棄	1枚目の画像を保存しないで、新たに1枚目から撮影します。
キャンセル	2枚目の撮影画面に戻ります。

パノラマ撮影をする(パノラマモード)

■■ (パノラマ) モードでは、2枚または3枚の撮影画像をカメラ内で合成してパノラマ写真を作成します。

1 p.68の手順で、シーンモードパレットから十字キー (▲▼◀▶)で■■■●(パノラマ)を選ぶ

OK ボタンを押してから、INFO ボタンを押す ■■■モードになり、「移動する方向を指定してください」とメッセージ が表示されます。

3 十字キー(◀▶)で画像をつなげる方向を選ぶ

1枚目を撮影する画面が表示されます。 カメラが人物の顔を検出すると、顔検出機能 が働き、顔検出枠が表示されます(p.56)。

診動する方向を 指定してください

4 シャッターボタンを押して撮影する

1枚目の画像が撮影され、2枚目を撮影する画面が表示されます。

手順3で▶を選んでいる場合

画面の左端に、1枚目に撮った画像の右端部分が透過表示されます。

手順3で ◀を選んでいる場合

画面の右端に、1枚目に撮った画像の左端部分が透過表示されます。

5 2枚目の画像を撮影する

実画像が1枚目の画像の透過表示に重なるようにカメラを移動し、シャッターを切ります。



6 3枚目の画像を撮影する

3枚目も手順4~5を繰り返して撮影します。 画像がパノラマ合成され、合成結果が表示されます。 クイックビュー(p.106)が「オフ」の場合は、合成結果は表示され ません。

2

撮影

2

- ・1枚目と2枚目、または2枚目と3枚目の重ね合わせ部分に、動くもの や繰り返しパターンの像があったり、逆に何もない場合は、うまく合 成できないことがあります。
 - 顔検出機能(p.104)が「オン」の場合は、1枚目の撮影時のみ顔検出 機能が働きます。

1枚目または2枚目で撮影をやめるとき

1 p.78の手順4で1枚目の画像を撮影後、または手順5で2枚目の画像を撮影後に、OKボタンまたは十字キー(▼)を押す 確認の画面が表示されます。

2 +字キー(▲▼)で処理を選び、OK ボタンを押す

保存	撮影済みの画像を保存し、新たに1枚目から撮影します。2枚目 の画像撮影後に選択すると、1枚目と2枚目の撮影画像がパノラ マ合成され、合成結果が表示されます。
破棄	撮影済みの画像を保存しないで、新たに1枚目から撮影します。
キャンセル	直前の撮影画面に戻ります。



▶■■モードで撮影した合成前の画像は、3Mで保存されます。

ペットを撮影する(ペットモード)

[®] (ペット)モードでは、ペットを検出すると、自動的にシャッターが切れます。また、ペットをカメラに登録することもできます。

- 1 p.68の手順で、シーンモードパレットから十字キー (▲▼◀▶)で[®]。(ペット)を選ぶ
- 2 OK ボタンを押してから、INFO ボタンを押す

[®]モードになり、撮影できる状態になりま す。

カメラがペットを検出すると、ペット検出枠 を表示し、自動で撮影されます。



2

ペットを登録する

押す



ペットの顔をた 向ける。

INFOボタンを押す

ペット選択画面が表示されます。

ペットを登録する画面が表示されます。ペッ トの顔が正面を向くようカメラを構えると、 自動で撮影され、登録確認画面が表示されま す。

+字キー (▲▼) で「登録」を選択し、**OK** ボタンを押すと、登録したペットの写真が 画像モニター左上に表示され、撮影できる 状態になります。

カメラがペットの顔を検出すると、ペット検 出枠を表示し、自動的にシャッターが切れま す。

シャッターボタンを押して撮影することも 可能です。



撮影画面でOKボタンを押すと、ペットを登 録する画面が表示され、他のペットを登録す ることができます。ペットは合計3匹まで登 録可能です。



1

2

- ペットを登録する画面でMENUボタンを押すと、登録が中止され、撮影できる状態になります。
- ・ ・ そードで登録できる動物は、犬と猫のみです。他の動物や人物の 顔は登録できません。またペットの顔が小さすぎるなど、条件によっ ては登録できないことがあります。
- ・登録されたペットでも、顔が小さすぎるなど、条件によっては検出できないことがあります。
- ・AFエリアは-弐(3)(追尾)に、ストロボは③(発光禁止)に設定されます。変更も可能です。
- AF補助光は□(オフ)に設定されます。変更も可能です。

XE

2

ストロボの発光方法を選ぶ

4 ^	オート	暗いときや逆光のときにストロボが自動的に発光します。顔検 出した場合は、自動的に 4 ⊚になります
٤	発光禁止	暗いときや逆光のときでも発光しません。ストロボが使えない 場所での撮影にご利用ください。
4	強制発光	明るさにかかわらず、常にストロボを発光します。
4 ≙	オート+赤目	ストロボの光が目に反射して赤く写るのを軽減します。自動的 にストロボを発光します。本発光の前に予備発光を行います。
4 ®	強制+赤目	ストロボの光が目に反射して赤く写るのを軽減します。常にス トロボを発光します。本発光の前に予備発光を行います。
slow	スローシンクロ	夜の屋内や屋外で、人物と背景を両方とも明るく撮りたいとき などに使います。自動的にストロボを発光します。
slow	スローシンクロ +赤目	スローシンクロで発光する前に、赤目軽減のための予備発光を 行います。
slow ⋫7	後幕シンクロ	シャッターの後幕が閉じる直前にストロボを発光します。乗り 物など動く被写体の光跡を、後ろに流れるように写し込むこと ができます。

・以下のときは、⑤固定になります。

- 撮影モードが翻(手持ち夜景)/
 (花火)/
 (早送り動画)/
 (前)/
 (ハイスピードカメラ)/
 HDRのとき
- ・ドライブモードが

 ・ドライブモードが
 ・ (連続撮影) / □
 ・ (連写L) / □
 ・ (連写H) のとき
- フォーカスモードが▲ (無限遠)のとき
- (グリーン) モードでは、4^A/③のみ選択できます。
- ・ 圖 (夜景) モードでは、 4 / 4 ℃ は選択できません。

近距離撮影時にストロボを発光させると、ストロボの配光にムラができ る場合があります。極端な近距離になると、レンズ枠の影が写り込む場 合がありますのでご注意ください。

2 撮影

XE

1 ↓ レバーを矢印の方向にスライドさせる

ストロボがポップアップし、ストロボの充 電が始まります。



2

撮影

2 静止画撮影モードで十字キー(◀)を 押す

ストロボモード画面が表示されます。



3 十字キー(◀▶)でストロボモードを選択する

4 OK ボタンを押す

設定が保存され、撮影できる状態になります。

ストロボ撮影の赤目現象について

ストロボ撮影で人物の目が赤く写ることがあります。これは、目の網膜にストロボの光が反射して発生する現象です。赤目現象は、人物の周りを明るくしたり、撮影距離を近くして広角側で撮影すると、発生しにくくなります。また、ストロボの発光方法を♀▲/♀ω/ 📽 にするのも有効です。 それでも赤目になってしまった画像は、赤目補正機能(p.150)を使って修正できます。

ストロボ発光方法の設定を保存する IIP.118

ストロボを使って撮影する

1 撮影モードを選ぶ

2 シレバーをスライドさせる

ストロボがポップアップし、ストロボの充電が始まります。 充電中は画像モニターに **5** (赤)が点滅表示されます。 充電が終わると、画像モニターに選択されているストロボモードのアイコンが表示されます(**4** 時は表示が消えます)。

3 シャッターボタンを半押しする

ピントが合った状態で、画像モニターのフォーカスフレームが緑色に 変わります。

4 シャッターボタンを全押しする

ストロボが発光し、撮影されます。

5 ストロボを押し下げ、収納する

ストロボ光量を補正する

ストロボの光量を1/3EV単位で-2.0~+1.0の範囲で変えることができます。

1 p.83の手順2の画面で十字キー(▼)を押す

2 +字キー(◀▶)を押すか電子ダイ ヤルを回す

> 光量補正値が表示されます。 ●/ 毎ボタンを押すと0.0 にリセットされます。 す。



- ・+側に補正しても、ストロボの最大発光量以上になると効果はありません。
 - ・被写体に近すぎる場合、絞り値が小さい場合、ISO感度を高く設定している場合などは、--側に補正をしても効果がないことがあります。

ドライブモードを選ぶ

このカメラのドライブモードには、連続撮影、セルフタイマー、リモ コン、オートブラケットがあります。これらのモードを選択して撮影 できます。

XE

2

連続撮影/連写(L)/連写(H)

ī	連続撮影	1枚撮影するごとに、画像をメモリーに書き込み、続いて 次の静止画を撮影します。高画質の画像ほど、撮影間隔が 長くなります。 一度に撮影できるのは、最大37コマまでです。
ī	連写(L)	連続撮影より短い間隔で連続して撮影します。撮影間隔は
밐	連写(H)	⊒→ 雪の順に速くなります。

セルフタイマー撮影

セルフタイマー撮影には次の3種類があります。

\mathfrak{D}	セルフタイマー	シャッターボタンを押してから約10 秒後に撮影されま す。撮影者も含めて集合写真を撮る場合などに利用できま す。
€2S	2sセルフタイマー	シャッターボタンを押してから約2秒後に撮影されます。 手ぶれを避けるために利用できます。
ণ্টে	セルフタイマー (3 枚)	シャッターボタンを押した10秒後に静止画を3枚撮影します。

リモコン撮影

別売のリモコンを使うと、カメラから離れたところから撮影すること ができます。リモコン撮影には次の2種類があります。

∎̃3S	リモコン	リモコンのシャッターボタンを押すと、約3秒後にシャッ ターが切れます。
	0sリモコン	リモコンのシャッターボタンを押すと、すぐにシャッター が切れます。

露出を自動的に変化させて撮影する(ペオートブラケット)

シャッターボタンを押したときに、露出が異なる画像を連続して3枚 撮影します。撮影した後に、写りのいい画像を選ぶことができます。 適正露出→マイナス補正→プラス補正の順に撮影されます。



「Cカスタム1」メニューの「2. ブラケット撮影順」(p.65) で、3枚の 撮影順を変えることもできます。 2

ドライブモードを選ぶ

1 撮影モードで十字キー(▲)を押す ドライブモード画面が表示されます。

2 +字キー(◀▶)または電子ダイヤ ルでドライブモードを選択し、OK ボタンを押す

□(連続撮影)/□(連写(L))/□(連写(H))、③(セルフタイマー)/③(2sセルフタイマー)/③(セルフタイマー(3枚))、
 □(リモコン)/□(0sリモコン)を選ぶときは、現在選ばれているモードを選択して+字キー(▼)を押してから、+字キー(<)でモードを選択します。
 選んだドライブモードを使って撮影できる状態になります。



- ・静止画撮影の場合、セルフタイマーランプの点滅中に構図を変える
 と、ピントが合わなくなります。

87

2

撮影

・動画のセルフタイマー撮影のときは、シャッターボタンまたは動画ボ タンを押してから10秒後または2秒後に録画が開始されます。

XE

- セルフタイマーのカウントダウン中にシャッターボタンを半押しす るとカウントダウンを中止し、全押しするとカウントダウンをやり直 します。
- ・ \(\vee d\)は● (グリーン)モードの初期設定では選択できません。ただし、
 他の撮影モードで\(\vee c\)を選んでから、撮影モードを● (グリーン)モードに切り替えると、選択できます。
- ・□/□/□/ご連続して撮影できる枚数と撮影コマ速度は、撮影条件により変わります。
- ・ □/ □/ □/ □ / □ / □ / □ / □ / □
 たるので、
- ・□/□/□/□(ご (p.104) が「オン」の場合は、1枚目の撮影時のみ顔検出機能が働きます。
- は、クイックビューが (オン)に設定されている場合 (p.106) は、撮影後に3枚目に撮影された画像がクイックビュー表示されます (p.55)。
- 「Cカスタム1」メニューの「5. リモコン時のAF」(p.65)を「オン」 にすると、リモコン撮影時はオートフォーカスに設定されます。

| ピントの合わせ方を選ぶ(フォーカスモード)

AF	標準	被写体までの距離が40cm以上のときに使用します。 シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにある ものにピントを合わせます。(初期設定)
★ マクロ 被写体 シャッ ものに		被写体までの距離が約5~50cmのときに使用します。 シャッターボタンを半押ししたときに、AFエリアにある ものにピントを合わせます。
1cm	1cmマクロ	被写体に1~20cmまで近寄って撮影できます。
PF	パンフォーカス	近距離から遠距離までの広い範囲にピントを合わせま す。
	無限遠	遠くにあるものを撮影するときに使用します。ストロボ は④(発光禁止)になります。
MF	マニュアル フォーカス	手動でピントを合わせます。



MENU 頂y 泪

OK 決定

2 十字キー(◀▶)または電子ダイヤルでフォーカスモード を選択し、OKボタンを押す

設定が保存され、撮影できる状態になります。

- ・● (グリーン) モードでは、AF / ●のみ選択できます。
 - ・ ※(花火)モードは▲に固定されます。
 - ●を選択して撮影する場合、被写体までの距離が50cmより遠いと、自動的に∞(無限遠)までのピント合わせが行われます。AFを選んで撮影する場合、被写体までの距離が50 cmより近いと、自動的に●(マクロ)領域までのピント合わせが行われます。AF、●、▲では、ピントが合っていなくても、シャッターを全押しすると撮影できます。

フォーカスモードの設定を保存する IIP.118

手動でピントを合わせる(マニュアルフォーカス)

1 撮影モードで十字キー(▶)を押す

2 +字キー(▶)でMFを選び、OK ボタンを押す

画面中央部が画像モニターいっぱいに拡大して表示されます。

- 3 十字キー(▲▼)でピントを合わせる 画像モニターにMFバーが表示され、おおよ その距離が表示されます。これを目安にピン トを合わせます。
 - ▲ 遠くにピントが合う
 - ▼ 近くにピントが合う



MFバー

4 OK ボタンを押す

2

フォーカス位置が決定し、撮影できる状態になります。 フォーカス位置を決定させた後、もう一度十字キー(▶)を押すと**MF** バーが表示され、ピントを合わせ直すことができます。





MFから他のフォーカスモードに切り替えるときは、MFバーが表示されている間に十字キー(▶)を押します。

オートフォーカス条件を設定する

- オートフォーカスの範囲や方式を設定します。
- 1 「□撮影1」メニューから、十字キー (▲▼) で「AF」を選ぶ
- 2 +字キー(▶)を押す

「AF」画面が表示されます。

オートフォーカス範囲を設定する(AFエリア)

オートフォーカスの対象となる範囲(AFエリア)を設定します。

[]	オート	9点のAFエリア枠内で一番近いものにピントを合わせます。
53	スポット	画面中央の1点のAFエリア内の被写体にピントを合わせます。ピ ントを合わせる範囲を絞込み、特定の被写体にピントを合わせや すくします。
≣()	追尾	シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きを追ってピ ントを合わせ続けます。
¢	セレクト	25のAFエリアからピントを合わせたい位置を選ぶことができます (p.91)。

3 十字キー(▲▼)で「AFエリア」を選び、OKボタンを押す

4 十字キー(▲▼)でAFエリアのいずれかを選び、OKボタンを押す

設定が保存されます。

2

- ・ 曽(動画) / 場(早送り動画) / 場(ハイスピードカメラ) モードでは、
 では、
 (3)は選択できません。
 - ・ ●(グリーン)/ ※(花火)モードでは、[]に固定されます。
 - AFエリアは、コントロールパネルで変更することもできます。

オートフォーカスモードを選択する(AFモード)

オートフォーカスを行うタイミングを設定します。

 AF.S
 シャッターを半押ししたときにオートフォーカスを行います。

 AF.C
 シャッターを半押ししている間、断続的にオートフォーカスを行い、被写体にピントを合わせ続けます。

3 十字キー (▲▼) で「AFモード」を選び、OK ボタンを押す

4 十字キー(▲▼)で「AF.S」または「AF.C」を選び、OK ボタンを押す



2

撮影

AFモードは、コントロールパネルで変更することもできます。
 「AF.C」を選択すると、「AFエリア」は[]に固定されます。

AF補助光を設定する

補助光を発光させて、被写体が暗くオートフォーカスが正確に作動し ない環境でピントを合わせやすくします。セルフタイマーランプ部分 が発光します。

3 十字キー (▲▼) で「AF補助光」を選ぶ

4 十字キー(◀▶)で☑(オン)/□(オフ)を切り替える 設定が保存されます。

- ・AF 補助光を直接見ても安全上の問題はありませんが、多少まぶしく 感じます。発光部を至近距離から直接のぞきこまないでください。
 - ・次の場合、AF補助光は発光しません。
 - 撮影モードが、(早送り動画)/増(動画)/増(ハイスピードカメラ)のとき
 - フォーカスモードが▲/PF/MFのとき
 - ・ ⁽(ペット) モード、 ((マナー撮影) モード時の初期設定は□(オフ) です。

ピントを合わせる位置を選ぶ(セレクト)

「AFエリア」で「セレクト」を選んだとき、25か所のAFエリアからピ ントを合わせる位置を選びます。

1 撮影モード時、十字キー(▶)を押す AFエリア選択画面が表示されます。

2 十字キー (▲▼ ◀▶) でピントを合わせる AFエリアを選ぶ

3 OK ボタンを押す

設定が保存され、撮影画面に戻ります。 OKボタンの代わりにMENUボタンを押すと、フォーカスモード画面 が表示されます。

MENU 🗲

- ・AFエリア選択ができるのは、フォーカスモードがAF(標準)または
 ☆ (マクロ)、 為(1cmマクロ)の場合だけです。
 - ・AFエリアの設定は、AF(標準)、²(マクロ)、²(1cmマクロ)に 共通です。

2

撮影

OK)決定

露出を設定する

ISO感度を設定する

撮影する場所の明るさに応じて、ISO感度を設定します。 ISO感度は、「AUTO(自動調整)」か、ISO 100~12800相当の間で1EV または1/3 EVステップで設定できます。初期設定は「AUTO」です。

撮影モードで十字キー(▼)を押す

ISO感度を設定する画面が表示されます。

2 +字キー(▲▼)でISO AUTO/ISO を選択する

ISO AUTO	自動調整する範囲を設定	
ISO	固定値を設定	



3 十字キー(◀▶)または電子ダイヤルでISO感度を変更し、 OK ボタンを押す

撮影できる状態になります。

- ・撮影モードがHDRに設定されているときは、ISO感度はAUTO固定になり、変更できません。
- モードダイヤルがM(マニュアル)のときは、「ISO AUTO」は表示 されません。また、ISO感度がAUTOの設定でモードダイヤルをMに した場合は、ISO感度は最後に設定した固定値に設定されます。
- 「ハイライト補正」(p.101)を「オン」に設定すると、最低感度が2倍になります。
- ・ISO感度ステップは「Cカスタム2」メニューの「8. ISO感度ステッ プ」(p.65)で1EVまたは1/3EVに切り替えることができます。

2 撮影

1

XT

ダイナミックレンジを拡大する

ダイナミックレンジとは、CMOSセンサーの画素が明部から暗部 でどのくらい階調表現できるかを表した比率のことで、大きいほ ど明るい部分から暗い部分まできれいに表現できます。

ダイナミックレンジを拡大すると、表現できる階調の幅が広がり、 白とびが起こりにくくなります。

ダイナミックレンジを拡大する場合は、「●撮影2」メニューの 「D-Range設定」で設定します。(p.101)

露出を補正する

意図的に露出オーバー(明るい画像)や露出アンダー(暗い画像)で 撮影することができます。

補正値は-2~+2 EVの範囲で設定できます。

1 露出補正ダイヤルを回す 露出が補正されます。



補正すると画像モニターに補正値が一時的に表示されます。



露出補正値



撮影モードがM(マニュアル)のときは、露出補正はできません。
 電源を切ったり、他の撮影モードにしても露出補正は解除されません。

2

露出を記憶させる(AEロック)

AEロックは、撮影前の露出(露光量)を記憶させる機能です。撮りたいものが小さくて適正な露出を得るのが難しいときや、逆光撮影のときなどに利用してください。



- AE ロック時は電子音が鳴ります。電子音を鳴らないように設定する こともできます。(p.168)
 - 次のいずれかの操作を行うと、AEロックは解除されます。
 - 再度AV/AE-L ボタンを押す
 - ・ トボタン/MENUボタン/INFOボタン/電源ボタンのいずれかを押す
 - モードダイヤルを回す
 - ・十字キー(◀▶▲▼)を押してストロボ/フォーカス/ドライブ/ ISO感度設定画面を表示する
 - ・ズームレバーで光学ズームの倍率を変更する
 - ・撮影モードが M (マニュアル) に設定されているときは、AE ロック は利用できません。
 - フォーカスロック時は、AE ロックされます。フォーカスロック時に AEロックさせたくない場合は、「Cカスタム1」メニューの「1. AF ロック時のAE-L」(p.65)を「オフ」に設定します。

XE

測光方式を選択する

センサーのどの部分で明るさを測り、露出を決めるのかを設定します。 次の3つの測光方式が用意されています。

0	分割測光	センサーを分割して明るさを測定します。(初期設定) 逆光などで人物が暗くなるときでも、どの部分にどんな明る さのものがあるかを自動的に判断し、補正します。	
0	中央重点測光	センサー中央部分に重点を置いて測光します。 中央部分ほど感度が高く、逆光の場合でも自動補正は行われ ません。	
•	スポット測光	センサー中央の限られた狭い範囲の明るさだけを測光しま す。 撮影したいものが非常に小さく、適正な露出を得るのが難し いときは、AEロック機能(p.94)と組み合わせて利用すると 便利です。	

「□撮影1」メニューから、十字キー (▲▼)で「測光方式」を選び、十字 キー(▶)を押す



ポップアップが表示されます。

2 十字キー(◀▶)で測光方式を選択し、OKボタンを押す 設定が保存されます。



・測光方式は、コントロールパネルで変更することもできます。

画像の記録形式を設定する

静止画の縦横比/ファイルフォーマット/記録サイズ/画質を設定し ます。

7 「□撮影1」メニューから、十字キー(▲▼)で「記録設定」 を選択し、十字キー(▶)を押す

「記録設定」画面が表示されます。

2



各設定の詳細は、p.96~p.98を参照してく ださい。

十字キー(▲▼)で設定を変更し、OK ボタンを押す

MENUボタンを2回押す

メニュー選択前の画面に戻ります。

- 「アスペクト比」、「記録形式」、「JPEG記録サイズ」、「JPEG画質」は、 XE コントロールパネルで変更することもできます。
 - 「記録形式」、「JPEG記録サイズ」、「JPEG画質」を変更すると、その 設定で撮影できる枚数が画像モニターに表示されます。

アスペクト比

2 3

撮影 4

> 画像の横:縦の比率を、43(初期設定)/169/322/11から選択しま す。このカメラの画像モニターのアスペクト比は332のため、169 / 43 / 個を選択すると、画像モニターもアスペクト比に合った表示になり ます。

記録形式

画像のファイルフォーマットを設定します。

JPEG	JPEG形式で記録します。(初期設定) 画像の記録サイズは「JPEG記録サイズ」、画質は「JPEG画質」の設定 によって変わります。
RAW	CMOS センサーからの出力を加工せずに記録するデータ形式です。 Adobe Systems社が提唱する汎用の公開フォーマットのDNG (Digital Negative) 形式のRAWファイルで記録します。 ホワイトバランス/カスタムイメージの設定は画像に反映されません が、情報として記録されます。RAW展開 (p.154) や、付属ソフトウェ アの「SILKYPIX Developer Studio 3.0 LE」 (p.192) を使用して展開処理 を行う場合には、これらの設定を使ってJPEGの画像データを作成しま す。

RAW+ RAW形式とJPEG形式の両方で記録します。



撮影モードがHDRに設定されているときは、記録形式の設定にかかわ らずJPEGで撮影されます。

JPEG記録サイズ

記録形式がJPEGのときの記録サイズを選択します。「アスペクト比」の 設定によって選択できる記録サイズが異なります。

アスペクト比	記録サイズ	画素数
	12м	4000×3000(初期設定)
4:2	7м	3072×2304
4. 3	5м	2592×1944
	3м	2048×1536
	9м	3968×2232(初期設定)
10:0	5м	3072×1728
10-9	3м	2560×1440
	2м	2048×1152
	10м	3984×2656(初期設定)
2.2	6м	3072×2048
3.2	4м	2592×1728
	2м	2016×1344
	9м	2992×2992(初期設定)
4-4	5м	2304×2304
	3м	1936×1936
	2м	1536×1536



- ・ 画素数が多くなるほど画像の容量が大きくなります。また、「JPEG画 質」の設定によっても容量が異なります。
- 撮影した画像の美しさや鮮明さは、露出制御などの撮影時の設定や使用するプリンターの解像度等によって異なります。
- ・撮影モードが WDE(デジタルワイド) / ■■■(パノラマ)のとき、ア スペクト比は4:3に固定されます。

2

JPEG画質

JPEG画像の画質(圧縮比)を設定します。初期設定は、Fineです。

Fine	画質:鮮明 容量:大
Normal	画質:粗 容量:小

2

ホワイトバランスを設定する

撮影

ホワイトバランスとは、白いものが白く写るように撮影時の光の状態 に応じて画像の色合いを調整する機能です。ホワイトバランス AWB (オート) で撮影した色合いに納得がいかないときや、意図的に効果を 出したいときなどに、ホワイトバランスを設定してください。

	項目	設定	色温度 ^{*1}
AWB	オートホワイト バランス	調整をカメラにまかせます。(初期 設定)	約4000~8000K
渁	太陽光	太陽の下で撮影するときに設定し ます。	約5200K
	日陰	日陰で撮影するときに設定しま す。青みを抑えます。	約8000K
එ	曇天	曇りの日に撮影するときに設定し ます。	約6000K
巡	蛍光灯	 蛍光灯で照明されたものを撮影するときに設定します。 ガび選択できます。 D 昼光色蛍光灯 N 昼白色蛍光灯 W 白色蛍光灯 L 電球色蛍光灯 	約6500K 約5000K 約4200K 約3000K
*	白熱灯	電球など白熱灯で照明されたもの を撮影するときに設定します。赤 みを抑えます。	約2850K
\$ ₩B	ストロボ	内蔵ストロボを使用して撮影する ときに設定します。	約5400K
	マニュアルホワイト バランス	撮影時の光の状態で、手動でホワ イトバランスを調整します。	_

*1 色温度(K)は目安です。正確な色を示すものではありません。

撮影モードがAUTO PICT(オートピクチャー)/SCN(シーン)モー ドのときはAWB固定です。

1 「**□**撮影1」メニューから、十字キー(▲▼)で「ホワイト バランス」を選び、十字キー(▶)を押す

ホワイトバランスを設定する画面が表示されます。

2 十字キー(◀▶)でホワイトバラン スを選択する ※(蛍光灯)の場合は、十字キー(▼)を 押してから十字キー(◀▶)でD/N/W/



2

撮

影

3 OK ボタンを押す

XŦ

Lを選択します。

「□撮影1」メニューに戻ります。

4 MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。

- ストロボを発光すると光源が変化するため、ストロボを発光したときのホワイトバランスを設定できます。「Cカスタム1」メニューの「3. ストロボ発光時のWB」(p.65)で、「AWB」/「変更しない」/「ストロボ」から選択します。
 - 「白熱灯」を選択したとき、色味を補正することができます。「Cカス タム1」メニューの「4. 白熱灯下のAWB」(p.65)で、「弱」/「強」 を選択します。
 - ホワイトバランスは、コントロールパネルで変更することもできます。

マニュアルでホワイトバランスを調整する

撮影時の光源に合わせて任意の場所のホワイトバランスを測定しま す。マニュアルホワイトバランスを使うと、あらかじめカメラに用意 されたホワイトバランスでは調整しきれない微妙な色合いをカメラに 記憶させて、撮影状況に最適なホワイトバランスで撮影できます。 1 p.99の手順2の画面で品を選ぶ



2 ホワイトバランスを測定する照明の下で、ファインダーいっ ぱいに白い紙等を入れるか、白くしたい場所を被写体に選ぶ

3 シャッターボタンを全押しする

ホワイトバランスが自動的に調整されます。

- 4 OK ボタンを押す 「□撮影1」メニューに戻ります。
- 5 MENUボタンを押す 撮影できる状態になります。
 - ホワイトバランス調整でシャッターボタンを押しても、画像は記録されません。
 - 測定がうまくいかなかったときは、「正しく処理できませんでした」
 と表示されます。表示中にOKボタンを押すと、再測定できます。
 - 極端な露出オーバーや露出アンダーの状態では、ホワイトバランス調整ができない場合があります。その場合は、適正露出に調整した上で、ホワイトバランス調整を行ってください。

ホワイトバランスを微調整する

設定したホワイトバランスを細かく微調整できます。

1 p.99の手順2で任意のホワイトバランスを選択する

2
⑦/面ボタンを押す

微調整画面が表示されます。

3 微調整をする



2

撮影

XE

ボタン・ダイヤル等の操作

十字キー(▲▼)	G-M(グリーン-マゼンタ)間
十字キー(◀▶)	B-A(ブルー-アンバー)間
◉/面ボタン	調整値をリセット

4 OK ボタンを押す

ホワイトバランスを設定する画面に戻ります。

5 OK ボタンを押す

「□撮影1」メニューに戻ります。

6 MENUボタンを押す

撮影できる状態になります。

HDR 撮影モードを選択する

HDRモードで撮影した3枚の画像を合成するときに、さらにHDRフィ ルターをかけたような効果を加えることができます。この効果の強度 を選択します。

標準	合成した画像をそのまま保存します。
誇張1	合成した画像にHDRフィルターのような効果をかけて保存します。
誇張2	「誇張1」より強い効果をかけて保存します。

1 「□撮影2」メニューから、十字キー(▲▼)で「HDR撮影」を選び、十字キー(▶)を押す

ポップアップが表示されます。

2 +字キー(▲▼)で「標準」/「誇張1」/「誇張2」を選び、OKボタンを押す

設定が保存されます。

明るさを補正する(D-Range設定)

表現できる階調の幅を広げて白とび・黒つぶれを防ぎます。明るすぎ る部分を補正して白とびを防ぐ「ハイライト補正」と、暗すぎる部分 を補正して黒つぶれを防ぐ「シャドー補正」があります。 2

1 「□撮影2」メニューから、十字キー(▲▼)で「D-Range 設定」を選び、十字キー(▶)を押す

「D-Range設定」画面が表示されます。

2 +字キー(▲▼)で「ハイライト補正」/「シャドー補正」 を選び、十字キー(▶)を押す

3 設定を変更する

2

撮影

「ハイライト補正」の場合

+字キー(▲▼)で「オート」/「オン」/「オフ」を選び、OKボ タンを押す [オート]を選ぶと、カメラが「オン」/「オフ」を判断します。 「シャドー補正」の場合

+字キー (◀▶) で ☑ / □を切り替える

・「ハイライト補正」を「オン」に設定すると、最低感度が2倍になります。
 ・「ハイライト補正」と「シャドー補正」は、コントロールパネルで変

NDフィルターを設定する

更することもできます。

NDフィルターを使用するかどうか設定します。

オート	カメラが必要と判断した場合にNDフィルターが使われます。(初期設定) 撮影モードがM(マニュアル)または 🛱 (動画)の場合は選択できません。
オン	常時、NDフィルターを使用します。
オフ	NDフィルターを使用しません。

- 1 「□撮影1」メニューから、「NDフィルター」を選び、十字 キー()を押す
- 2 十字キー (▲▼) で「オート」/「オン」/「オフ」を切り替え、OK ボタンを押す
- ・「オート」を選択したまま M (マニュアル) または 営 (動画) モード に移行すると自動的に「オフ」になります。
 - ・ 300 (オートピクチャー)モードのときは「オート」、※(花火)モードのときは「オフ」に固定されます。
 - NDフィルターは、コントロールパネルで変更することもできます。

レンズの歪曲収差を補正する(ディストーション補 正)

レンズの特性によって生じる歪曲収差(ディストーション)を軽減し ます。

1 「四撮影2」メニューから、「ディストーション補正」を選ぶ

2 +字キー(◀▶)で☑ /□を切り替える

しま 撮影条件等によっては、補正の効果が感じられない場合があります。

手ぶれ補正を設定する(Shake Reduction)

撮影時の手ぶれを補正します。光学補正のみ(センサーシフト)、もし くは光学補正と電子補正の両方を使って手ぶれを補正できます(デュ アル)。初期設定は、センサーシフトです。

センサーシフト	光学式で手ぶれを補正します。
デュアル	光学式、電子式の両方で手ぶれを補正します。
オフ	光学手ぶれ補正も電子手ぶれ補正も行いません。

 「□撮影2」メニューから、十字キー(▲▼)で「Shake Reduction」を選び、十字キー(▶)を押す。

ポップアップが表示されます。

2 十字キー(▲▼)で手ぶれ補正の種類を選び、OK ボタン を押す

設定が保存されます。

2

- (グリーン)モードに設定されているときは、「センサーシフト」
 固定になります。
 - ・

 [(手持ち夜景)モードに設定されているときは、「デュアル」固定に なります。
 - 次の場合は「デュアル」は設定できません。「デュアル」が選択されていた場合は、「センサーシフト」に切り替わります。
 - ・撮影モードが
 ※(花火) / □□□
 (パノラマ) / HDRモードのとき
 - ・感度が3200以上のとき

XE

2

撮影

- ドライブモードが
 ⁽) (セルフタイマー)/⁽](連続連写)/⁽](連 写L)/⁽](連写H)のとき
- ・ シャッターボタンの半押しを行わずに撮影したとき
- 「デュアル」に設定した場合、光学式で手ぶれを補正できる場合は、 光学式手ぶれ補正が有効になります。
- 「Shake Reduction」は、コントロールパネルで変更することもできます。

顔検出機能を切り替える

人物の顔を検出してピントや露出を合わせます。被写体が笑顔になる と自動で撮影するように設定することもできます。初期設定で「顔検 出」は「オン」です。

オン	カメラが人物の顔を検出します。
スマイル	被写体が笑顔になると自動で撮影します。
オフ	カメラが人物の顔を検出しません。

1 「□ 撮影2」メニューから、十字キー(▲▼)で「顔検出」 を選び、十字キー(▶)を押す

ポップアップが表示されます。

2 +字キー(▲▼) で設定を選ぶ

3 OK ボタンを押す

設定が保存されます。

画像モニターには顔検出設定のアイコンが表示されます。

<u>@</u>]	「顔検出」が「オン」に設定されているとき	
ţ,	「顔検出」が「スマイル」に設定されているとき	



- サングラスなどで被写体の顔の一部がさえぎられている場合や、顔の 向きが正面ではない場合は、顔検出AFと顔検出AEが働かないことが あります。
- ・被写体の顔が検出できない場合は、選択されているAFエリアでピントを合わせます。
- ・ 器(オートピクチャー) / 3(ポートレート) / 目(夜景ポートレート) / え(キッズ) モードでは、顔検出の「オフ」は選択できません。
- (グリーン) / 聞(オートピクチャー) / 3 (ポートレート) /
 (夜景ポートレート) / え (キッズ) モードを選択すると、自動的に顔検出が「オン」になります。これらの撮影モードから他の撮影 モードに移行すると、元の顔検出機能の設定に戻ります。
- % (ペットモード)に設定している場合は、顔検出機能は「オン」に 固定されます。
- 動画のときは、撮影前に顔検出を行います。撮影中は枠が表示されません。

まばたき検出を設定する

顔検出機能が働いたときに、まばたき検出を行うかどうかを設定しま す。

1 「□撮影2」メニューから、十字キー(▲▼)で「まばたき 検出」を選ぶ

2 +字キー (◀▶) で☑ /□を切り替える

✓ まばたき検出する(初期設定)
 □ まばたき検出しない

まばたき検出 ☞p.55

2

- ・撮影時にまばたき検出が行われた場合は、クイックビュー時に「目を 閉じていました」と3秒間表示されます。
 - ・ HDR / 図0 (デジタルワイド) / ■■■ (パノラマ) / ペ (早送り動
 画) / 常 (動画) / ペ (ハイスピードカメラ) モードのときは、「ま
 ばたき検出」は設定できません。

クイックビューを設定する

撮影直後に画像を表示するクイックビューの表示を設定します。

- **1** 「□撮影3」メニューから、十字キー(▲▼)で「クイック ビュー」を選び、十字キー(▶)を押す
- 2 +字キー(▶)を押し、+字キー(▲▼) でクイックビューの表示時間を選択 し、OKボタンを押す



3 +字キー(▲▼)で拡大表示/ヒストグラム/白とび警告 を選び、十字キー(◀▶)で☑/□を切り替える

拡大表示	電子ダイヤルやズームレバーで拡大表示ができます。 (p.128)
ヒストグラム	画像の明るさの分布をヒストグラフで表示します。(p.25)
白とび警告	白とび部分を赤で点滅表示します。(p.27)

4 MENUボタンを2回押す

メニュー選択前の画面に戻ります。

クイックビュー ☞p.55

画像仕上を設定する(カスタムイメージ)

画像の仕上がりイメージ(画像仕上)を設定して撮影することができます。

以下の画像仕上が選択できます。

2
画像仕上	イメージ
鮮やか	彩度・色相・コントラストを高めにし、メリハリのある画像 に仕上げます。 (初期設定)
ナチュラル	実際の色合いに近い自然な仕上がりです。
雅(MIYABI)	色合いを変化させて古風な雰囲気に仕上げます。
リバーサルフィルム	リバーサルフィルムで撮影したような、明暗差を強調した仕 上がりです。
モノトーン	モノクロ用の色フィルターを使用して撮影します。



撮影モードがAUTO PICT (オートピクチャー)、SCN(シーン)モード、 ● (グリーン) モードのときは設定できません。

1 「□撮影1」メニューから、十字キー(▲▼)で「カスタム イメージ」を選び、十字キー(▶)を押す

カスタムイメージ選択画面が表示されます。

2 +字キー(◀▶)または電子ダイヤル で画像仕上を選択し、+字キー(▼) を押す

パラメーターを設定する画面が表示されま す。



3 +字キー(▲▼)で変更したいパラ メーターを選択する



選択した画像仕上によって以下のパラメーターが変更できます。

画像仕上	パラメーター
鮮やか/ナチュラル/ 雅(MIYABI)	彩度:-2~+2
	色相:-2~+2
	コントラスト:-1~+1
	シャープネス:-1~+1

2 撮影

画像仕上	パラメーター
リバーサルフィルム	シャープネス:-1~+1
	フィルター効果:なし/グリーン/レッド/ ブルー/赤外調
モノトーン	調色:ブルー2/ブルー1/標準/セピア1/ セピア2
	コントラスト:-1~+1
	シャープネス:-1~+1

4 十字キー(**∢**▶)または電子ダイヤルで設定を変更する

設定に応じて背景画像も変化します。 彩度/色相/コントラスト/シャープネスは、 レーダーチャートで確 認できます。

5 OK ボタンを押す

手順2の画面に戻ります。



- ●/面ボタンを押すと、選択されているパラメーターの設定値を初期 値に戻します。
- 「カスタムイメージ」はコントロールパネルから変更することもできます。

日付写し込みを設定する

静止画撮影時に日付と時刻を写し込むかどうかを設定します。

- 1 「□撮影3」メニューから、十字キー(▲▼)で「日付写し 込み」を選び、十字キー(►)を押す ポップアップが表示されます。
- 2 十字キー(▲▼)で写し込む内容を選ぶ 「日付」/「日付&時刻」/「時刻」/「オフ」から選びます。
- **3** OK ボタンを押す

設定が保存されます。

2

撮影

- ・「日付写し込み」で画像に写し込んだ日付/時刻は、あとから消去で きません。
 - 日付/時刻を写し込んだ画像を印刷するときに、画像編集ソフトなどで日付を印刷するように設定すると、日付/時刻が重なって印刷されます。
- XE
- •「日付写し込み」を設定すると、静止画撮影モードのときに画像モニ ターに DEME と表示されます。

2

撮影

109

• 日付/時刻は、「日時を設定する」(p.49) で設定した表示スタイルで 写し込まれます。

動画を撮影する

モードダイヤルの

増アイコンをダイヤル指標に合わせて、動画を撮影します。

動画モードを選択する

このカメラには3種類の動画モードがあります。用途に合わせて選択してください。

モード		特徴	
ň s	動画	標準スピードで動画を撮影します。	
¥,	早送り動画	早送りで再生される動画を撮影します。	
,₩ HS	ハイスピードカメラ	スローモーションの動画を撮影します。	

1 モードダイヤルを増に合わせる

前回選択した動画モードになります。初期設定は**営**(動画)です。



2 +字キー (▼)を押す

動画モードパレットが表示されます。

3 十字キー(◀▶)で動画モードを選択する

動画モードパレットでアイコンを選択する と、選んだ動画モードの説明が表示されま す。



2

撮影

2

撮影

4 OK ボタンを押す

XE

動画モードが選択され、撮影できる状態になります。 選択した動画モードは保持され、モードダイヤルを増に合わせると、 選択した動画モードになります。

🕏 (早送り動画) / 🖻 (動画) / 🖏 (ハイスピードカメラ) 共通の注意事項

- ストロボは使用できません。
- 測光方式は
 (分割測光)、ISO感度はISO AUTO(オート)に固定されます。
- ドライブモードは、標準/セルフタイマー/リモコンのみを選択できます。
- ・光学手ぶれ補正は行いません。
- フォーカスモードは撮影開始前に設定してください。撮影中は変更で きません。
- フォーカスモードをMF(マニュアルフォーカス)に設定している場合は、撮影開始前にピントを調整することができます。撮影中は調整できません。
- モードダイヤルを、常に切り替えると、顔検出機能が自動的に「オン」 に設定されます。顔検出機能を「スマイル」または「オフ」に設定したい場合は、動画撮影開始前に「撮影2」メニューで設定を変更して ください(p.104)。
- ・ 顔検出機能を「スマイル」に設定した場合、フォーカスモードが AF (標準)または ♥ (マクロ)のとき、笑顔を検出すると自動的に動画 の撮影を開始します。ただし、検出した顔の条件によってはスマイル 機能が働かず、動画の撮影が開始しないことがあります。その場合 は、シャッターボタンを押して撮影してください。
- ・ ¹(ハイスピードカメラ)撮影中は、「Movie SR」(手ぶれ補正)は□ (オフ)固定になります。

動画を撮影する

動画を撮影します。音声も同時に記録されます。

1 モードダイヤルを増に合わせる、または動画モードパレットで動画モードを選択し(p.110)、OKボタンを押す。

シャッターボタンを半押しする

画像モニターに次の情報が表示されます。

- 1 動画モードアイコン
- 2 フォーカスフレーム(録画中は表示され ません)
- 3 撮影可能時間



ズームレバーを左右に回すと、被写体の写 る範囲が変わります。

- 右(T) 被写体を拡大して写す
- 左(W) 被写体を広い範囲で写す

シャッターを半押しすると、AE調整および AEロックが行われます。また、オート フォーカスおよびフォーカスロックが行わ れます。



3 シャッターボタンを全押しする

録画が開始します。

増(動画)モード、場(早送り動画)モードでは、連続で25分までの録画が可能です。

・幕(ハイスピードカメラ)モードでは、連続で15秒までの録画が可能です。

動画撮影中の静止画保存機能について

動画撮影中にOKボタンを押すと、ボタンを押したときの映像を静止画として記録できます(動画撮影開始時のフォーカス固定、記録)

2

サイズ 12m 固定、1回の動画撮影で静止画3枚まで)。静止画として 切り抜いた画像は、動画撮影終了後に保存されます。

- 動画記録サイズにより、画角が変わる場合があります。
- 撮影条件により、画像がひずむ場合があります。

4 シャッターボタンを全押しする

録画が終了します。

動画を再生する ☞p.121



- 「営動画1」メニューの「撮影中のAF」、「撮影中の光学ズーム」を

 (オン)に設定することで、撮影中のオートフォーカス動作や光学ズームの使用が可能になります。(ただし作動音が動画に記録されます。)
 - ・ 県(早送り動画)と鳴(ハイスピードカメラ)モードでは、記録サイズが640×480に固定されます。
- ・株(早送り動画)モードでは、音声が記録されません。

シャッターボタンを押し続けて撮影する

シャッターボタンを1秒以上押し続けると、シャッターボタンを押し続けている間だけ動画が撮影されます。シャッターボタンから指を離す と撮影が終了します。

動画ボタンで簡単に動画を撮影する

このカメラでは、モードダイヤルを 曾に合わせなくても、動画ボタン を押すだけで簡単に動画撮影を開始/終了することができます。撮り たいものをすぐに撮影したいときに便利です。

- ・動画ボタンは、静止画撮影モードのときのみ有効です。動画モードや 再生モードでは動画ボタンは使用できません。
 - 動画ボタンで撮影しているときは、シャッターボタンは使用できません。

2

撮影



1 静止画撮影モードで動画ボタンを押す

録画が開始します。

2 動画ボタンを押す

録画が終了します。

- ・動画ボタンで撮影した動画は、記録サイズ1920×1080、フレームレート 30fpsで録画されます。
 - ・ Movie SR (動画手ぶれ補正) は ☑ (オン) 固定となります。

動画の記録範囲は、横縦とも撮影開始前の表示画像より狭くなります。

動画の設定を変更する

「
着動画」メニューで動画の設定を行います。

- 1 動画モードでMENUボタンを押す 「増動画1」メニューが表示されます。
- 2 +字キー(▲▼)で設定する項目を選び、設定する



3 設定完了後、MENUボタンを押す

設定が保存され撮影できる状態になります。

2 撮影

XE

「カスタムイメージ」、「記録サイズ」、「風切音低減」、「撮影中のAF」は、 コントロールパネルで変更することもできます。

動画の画像仕上を設定する(カスタムイメージ)

仕上がりイメージ(画像仕上)を設定して動画を撮影することができ ます。

選択できる画像仕上と変更できるパラメーターは、静止画撮影時と同じです。詳しくは「画像仕上を設定する(カスタムイメージ)」(p.106) をご覧ください。

- 「常動画1」メニューから、十字キー(▲▼)で「カスタム イメージ」を選び、十字キー(▶)を押す カスタムイメージ選択画面が表示されます。
- 2 +字キー(◀▶)で画像仕上を選択し、十字キー(▼)を押す パラメーター設定画面が表示されます
- 3 +字キー(▲▼)で変更したいパラメーターを選択し、+ 字キー(◀▶)または電子ダイヤルで設定を変更する

4 OK ボタンを押す

動画の記録サイズを選択する

動画モードでは、動画の記録サイズとフレームレートを選択できます。 「記録サイズ」が大きいほど鮮明な画像になりますが、ファイルサイズ が増えます。また、「フレームレート」が大きい方が滑らかな動きにな りますが、ファイルサイズが増えます。

設定	記録サイズ	フレーム レート	用途
	1920×1080	30fps	フルハイビジョンサイズ (16:9) で記録されます。 動きが滑らかに記録されます。(初期設定)
HDm	1280×720	60fps	ハイビジョンサイズ (16:9) で記録されます。 すば やい動きも滑らかに記録されます。
HDm	1280×720	30fps	ハイビジョンサイズ (16:9) で記録されます。動 きが滑らかに記録されます。

2

撮影

※ フレームレート (fps) は1秒あたりの画面数を表します。

1 「増動画1」メニューから、十字キー(▲▼)で「記録サイズ」を選び、十字キー(▶)を押す

ポップアップが表示されます。

十字キー(▲▼)で記録サイズを選ぶ

3 OK ボタンを押す

2

2

撮影

設定が保存されます。

動画の手ぶれ補正を設定する (Movie SR)

増(動画)/
場(早送り動画)では、Movie SR(動画手ぶれ補正)で 動画撮影中の手ぶれを補正することができます。

1 「増動画1」メニューから、十字キー (▲▼) で「Movie SR」 を選ぶ

2 +字キー (◀▶) で ☑ / □を切り替える ☑ 手ぶれを補正する (初期設定)

□ 手ぶれを補正しない

動画撮影時の風切音を低減する(風切音低減)

風切音を低減して録音します。

1 「曾動画1」メニューから、十字キー(▲▼)で「風切音低減」を選ぶ

2 十字キー(◀▶)で☑ /□を切り替える

☞ 風切音を低減する

□ 風切音低減を設定しない(初期設定)

動画撮影中のオートフォーカスを設定する(撮影中のAF)

動画撮影中にオートフォーカスを実行するかどうかを設定します。

1 「唐動画1」メニューから、十字キー(▲▼)で「撮影中の AF」を選択する

- 2 +字キー(◀▶)で☑ /□を切り替える ☑ 動画撮影中にオートフォーカスを実行する
 - □ オートフォーカスを実行しない(初期設定)

動画撮影中の光学ズームを設定する(撮影中の光学ズーム)

動画撮影中に光学ズームを使用するかどうかを設定します。

1 「曾動画1」メニューから、十字キー(▲▼)で「撮影中の 光学ズーム」を選択する

- 2 +字キー (◀▶) で☑ /□を切り替える
 - ☞ 動画撮影中に光学ズームを使用可能
 - □ 光学ズームを使用できない(初期設定)

2

撮影

設定を保存する(モードメモリ)

カメラの電源を切っても、カメラの設定を記憶しておく機能を「モー ドメモリ」と呼びます。

項目	内容	初期設定	参照
ストロボモード	十字キー(◀)で設定したストロボモード	¥	p.82
ドライブモード	十字キー(▲)で設定したドライブモード	V	p.84
フォーカスモード	十字キー(▶)で設定したフォーカスモード	¥	p.87
ズーム位置	ズームレバーで設定したズーム位置		p.58
MF位置	十字キー(▲▼)で設定したマニュアル フォーカスでのピントの合う距離	¥	p.88
ホワイトバランス	「	N	p.98
感度	十字キー(▼)で設定したISO感度	¥	p.92
測光方式	「✿撮影1」メニューの「測光方式」の設定	Ì	p.95
顏検出	「✿撮影2」メニューの「顔検出」の設定	Ì	p.104
デジタルズーム	「 Δ 撮影3」メニューの「デジタルズーム」 の設定	Ì	p.60
DISPLAY	OK ボタンで選択した画像モニターの情報 表示状態	Ì	p.20
ファイルNo.	☞(オン)にすると、SDメモリーカードを 入れ替えた場合でも連続したファイル番号 を使用	Ľ	_

2

1 「□撮影3」メニューから、十字キー(▲▼)で「モードメ モリ」を選び、十字キー(▶)を押す

「モードメモリ1」画面が表示されます。

2 +字キー (▲ ▼) で項目を選ぶ

3 +字キー (◀▶) で ☑ / □を切り替える

「モードメモリ1」画面と「モードメモリ2」画面を切り替えるには、 十字キー(◀▶)を押すか、電子ダイヤルを回します。



静止画を再生する



1 撮影後に ドボタンを押す 再生モードになり、撮影した画像が画像モニ ターに表示されます(1画面表示)。

ファイル番号



2 +字キー(**∢**▶)を押す

前後の画像が表示されます。

表示した画像を消去する

画像表示中に[●]/⁶ボタンを押すと、表示中の画 像を消去する画面が表示されます。十字キー (▲)を押して「消去」を選び**OK**ボタンを押す と、表示中の画像を消去できます。 RAW+で保存した画像は、どの記録形式の画像 を消去するか選択します。



JPEG消去	JPEG画像のみ消去
RAW消去	RAW画像のみ消去
RAW+JPEG消去	両形式とも消去

3 画像の再生と消去

動画を再生する

動画を再生します。動画再生時には、音声も同時に再生されます。



1 再生モードで十字キー(◀▶)を押し、再生したい動画を 選ぶ

2 +字キー(▲)を押す

再生が開始します。

再生中にできる操作

ズームレバー右(T)/ 電子ダイヤル 右(Q)	音量を大きくする
ズームレバー左(₩)/ 電子ダイヤル 左(醫)	音量を小さくする
十字キー(▲)	一時停止
十字キー(▶)長押し	押している間、早送り再生
十字キー(◀)長押し	押している間、早戻し再生

一時停止中にできる操作

十字キー(▲)	再生を再開
十字キー (▶)	コマ送り
+字キー (◀)	コマ戻し ^{*1}



*1 コマ戻しで戻るコマの位置は、30コマごとの先頭のコマになります。 例えば、1~31コマ目からコマ戻しした場合は1コマ目に、32~61コ マ目からは31コマ目に戻ります。

3 +字キー(▼)を押す

再生が停止します。

複数の画像を表示する

マルチ画面表示

撮影した画像を、画像モニターに複数枚(4/9/25画像)ずつ表示し ます。初期設定は9画像表示です。

1 再生モードでズームレバーを左(W)、または電子ダイヤル を左(国)に回す

マルチ画面表示になります。 画像が小さなコマで一度に9画像ずつ表示 されます。 ◆はその前後の画像が別のフォルダーに格 納されていることを示します。



ボタン・ダイヤル等の操作

十字キー(▲▼◀▶)	選択枠を移動		
INFO ボタン	マルチ画面設定		
	マルチ画面設定 マルチ画面設定 ・ ・ EUDW終了 図決定		
	 +字キー(◀▶)または電子ダイヤルで分割数(4/9/25)を選択します。 (RAW画像の一括展開(p.156)時は、分割数の選択はできません。) 		
●/ ゙	選択消去(p.130)		

2 OK ボタンを押す

選択した画像が1画面表示されます。

フォルダー表示/カレンダー表示

マルチ画面表示でズームレバーを左(W)、または電子ダイヤルを左(E)に回すと、フォルダー表示またはカレンダー表示に切り替わります。フォルダー表示とカレンダー表示は、INFOボタンで切り替えます。

1 再生モードでズームレバーを左(W)、または電子ダイヤル を左(図)に回す

画面がフォルダー表示またはカレンダー表示に切り替わります。

フォルダー表示

画像が記録されているフォルダーが一覧表 示されます。

十字キー(▲▼◀▶)	選択枠を移動
ズームレバー右(T)/ 電子ダイヤル右(Q) / OK ボタン	フォルダー内の画像を マルチ画面表示
MENUボタン	マルチ画面表示に戻る
INFO ボタン	カレンダー表示に切り 替え



カレンダー表示

画像が日付ごとにカレンダー形式で表示されます。

カレンダーには、各日付で撮影された最初の 画像が表示されます。

十字キー(▲▼◀▶)	選択枠を移動
ズームレバー右(T)/ 電子ダイヤル右(Q)	その日付で撮影した画 像をマルチ画面表示
OK ボタン	その日付で最初に撮影 した画像を1画面表示
MENUボタン	マルチ画面表示に戻る
INFO ボタン	フォルダー表示に切り 替え



3 画像の再生と消

岦

再生機能を使う

1 再生モードで十字キー(▼)を押す 再生モードパレットが表示されます。

2 +字キー(▲▼▲▶)でアイコンを選ぶ

選択した機能の説明が下に表示されます。



3 OK ボタンを押す

再生機能が呼び出されます。

再生モードパレット一覧

再生モード		モード	内容	参照
Þ	スライドショウ		撮影した画像を連続で再生します。切り替わり の画面効果や効果音の設定もできます。	p.125
\diamond	画像回転		撮影した画像を回転させます。縦位置写真を TVなどで見る際に便利です。	p.127
	のび~るフィルター		4:3の画像の一部を横に伸ばして16:9の画像 として保存します。	p.140
Q.	小顔フィルター		検出した顔が小さくなるように画像を加工し ます。	p.141
	コラー	-ジュ	撮影した複数の画像を1枚の画像にします。	p.147
0	デジタ	'ルフィルター	撮影した画像にカラーフィルターやソフト フィルターなどをかけて仕上げます。	p.143
HDR	HDRフィルター		ハイダイナミックレンジ画像のような加工を します。	p.146
	オリジナルフレーム		枠の種類や色を選んで作成します。文字も入力 できます。	p.150
RAW ♥	RAW展開		RAW画像をJPEGに変換します。	p.154
	動画 編集	静止画保存	動画の1コマを静止画として保存します。	
20		動画分割	1つの動画を2つに分割します。	p.157
		タイトル画像 追加	動画にタイトル画像を追加します。	
ø	赤目補正		赤目になった画像を修正します。元画像によっ ては正しく補正できない場合があります。	p.150

再生モード	内容	参照
■ リサイズ	撮影した画像の記録サイズと画質を変更して、 ファイルサイズを小さくします。	p.138
ロ トリミング	画像の不要な部分を削除して好みの大きさに 変更します。新規保存されます。	p.139
🏭 画像コピー	内蔵メモリーとSDメモリーカード間で画像の ファイルをコピーします。	p.160
0- プロテクト	消したくない画像を保護します。ただしフォー マットを行うと、消去されます。	p.131
DPOF	撮影した画像の印刷設定をします。お店でプリ ントする際に便利です。	p.162
■ 起動画面設定	撮影した画像をカメラの起動時に表示するよ う設定します。	p.184

スライドショウで連続再生する

保存されている画像を連続して再生します。

- 1 再生モードで十字キー(◀▶)を押し、スライドショウを 開始する画像を選ぶ
- 2 再生モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)で⊡(ス ライドショウ)を選ぶ
- 3 OKボタンを押す スライドショウの設定画面が表示されます。
- 4 十字キー(▲▼)で「スタート」を選ぶ



スライドショウが始まります。 スライドショウの途中で**OK**ボタンを押すと、一時停止します。もう 一度**OK**ボタンを押すと再開します。

スライドショウを 開始します

表示間隔 画面効果 効果音

MENU 숙

OK決定

6 OK ボタン以外のどれかのボタンを押す

スライドショウが終了します。

スライドショウの条件を設定する

再生時の表示間隔と画像切り替え時の画面効果・効果音を設定します。

1 p.125の手順4の画面で十字キー(▲▼)を押し、「表示間 隔」を選ぶ

2 +字キー(▶)を押す

ポップアップが表示されます。

- **十字キー(▲▼)で表示間隔を選び、OKボタンを押す** 「30秒」/「20秒」/「10秒」/「5秒」/「3秒」から選択します。
 - **十字キー(▲▼)で「画面効果」を選び、十字キー(▶)を押す** ポップアップが表示されます。

5 +字キー (▲▼)で画面効果を選び、OK ボタンを押す

ワイプ	左から右へ画面が流れる効果
チェッカー	小さな四角のモザイク状のブロックで画面が切り替わる効果
フェード	現在の画像が徐々に消え、そこに次の画像が浮かび上がって くる効果
ランダム	さまざまな効果をランダムに
オフ	切り替え効果なし

6 +字キー (▲▼) で「効果音」を選ぶ

7 +字キー (◀▶) で ☑ / □を切り替える

画面効果を「オフ」または「ランダム」以外に設定すると、画面が切 り替わるときに流れる音のオン/オフを切り替えることができます。

8 十字キー(▲▼)で「スタート」を選び、OKボタンを押す 設定した表示間隔と画面効果でスライドショウが始まります。

3 画像の再生と消去

4

- スライドショウは、OKボタン以外のどれかのボタンを押して終了するまで何度も繰り返します。
 - 動画は表示間隔の設定にかかわらず、すべて再生されてから次の画像に 移ります。ただし、動画の再生中に十字キー(▶)を押すと、すぐに次 の画像へ移ります。
 - ・ 画面効果を「ランダム」に設定したときには、表示間隔は固定され、 効果音も□(オフ)になります。
 - スライドショウの再生にパノラマ画像が含まれる場合は、パノラマ画像は表示間隔や画面効果の設定にかかわらず、4秒間かけて左から右へスライド表示されます。

画像を回転表示する

1 撮影後に ■ ボタンを押す 撮影した画像が画像モニターに表示されます。

2 再生モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)で◇(画 像回転)を選ぶ

3 OK ボタンを押す

回転方向を4種類(0°/右90°/左90°/180°)から選ぶ画面が 表示されます。

4 十字キー(▲▼ ◀ ▶)で回転方向を選び、OKボタンを押す

画像の回転表示情報が保存され、1画面表示 されます。



- ・パノラマ撮影された画像や動画は、回転表示できません。
 - プロテクトされた画像は、回転表示はできますが、回転された状態は 保存されません。
 - ・「Cカスタム2」メニューの「9. 回転情報の記録」(p.65)を「オン」 にすると、撮影時の回転情報を記録することができます。また、「10. 画像の自動回転」(p.65)を「オン」にすれば、再生時に画像が自動 回転します。

再生画像を拡大する

画像を再生するときに、最大10倍まで拡大表示できます。

1 再生モードで十字キー(◀▶)を押し、拡大表示したい画像を選ぶ

2 電子ダイヤルを右(Q)に回す、またはズームレバーを右 (T)に回す。

画像が大きく(1.1~10倍)表示されます。 電子ダイヤルを右(Q)に回すたびに連続的に大きさが変わります。 ズームレバーは、右(T)に回して保持すると連続的に大きさが変わ ります。

画像のどの部分を拡大しているかを画面左 下のガイド表示の+マークで確認できます。

拡大表示中にできる操作

十字キー(▲▼◀▶)	拡大位置を移動する
電子ダイヤル右 (Q) / ズームレバー右(T)	画像を拡大する (最大10倍まで)
電子ダイヤル左 (☎) / ズームレバー左(₩)	画像を縮小する (最小1.1倍まで)
◉/面ボタン	画像の中央を表示する



ガイド表示

3 OK ボタンまたは MENU ボタンを押す

1画面表示に戻ります。



動画は拡大表示できません。

消去する

失敗したり、不要になった画像を消去します。

1画像ずつ消去する

1画像ずつ消去します。

注意 プロテクトされている画像は消去できません (p.131)。

- 1 再生モードで十字キー(◀▶)を押し、消去したい画像を 選ぶ
- 3 +字キー(▲)で「消去」を選ぶ



4 OK ボタンを押す

消去されます。

選択して消去する

マルチ画面表示で複数の画像を選択し、まとめて削除します。



プロテクトされている画像は消去できません (p.131)。

1 再生モードで電子ダイヤルを左(■)に回す

マルチ画面表示になります。

3

画像の再生と消去





3 十字キー(▲▼ ◀ ▶) で削除する画像 に移動し、OK ボタンを押す

画像が選択され、 ☞ が表示されます。同様 に、削除したい画像をすべて選びます。 電子ダイヤルを右(Q)に回すと、選択した 画像が1画面表示され、削除したい画像かど うかを確認できます(左に回すと、マルチ画 面表示に戻ります)。ただし、プロテクトさ れた画像は選択表示できません。



◉/듒ボタンを押す

消去を確認する画面が表示されます。

5 +字キー(▲)で「選択消去」を選ぶ



6 OK ボタンを押す

選択した画像が消去されます。

まとめて消去する

保存されているすべての画像を消去します。



プロテクトされている画像は消去できません (p.131)。

4

3

1 「、設定3」メニューから、十字キー(▲▼)で「全画像消去」を選び、十字キー(▶)を押す

「全画像消去」画面が表示されます。

2 十字キー(▲)で「全画像消去」を選ぶ

3 OK ボタンを押す

すべての画像が消去されます。

消去できないようにする(プロテクト)

記録した画像を誤って消去しないようにプロテクト(保護)します。

- 1 再生モードで十字キー(◀▶)を押し、プロテクトする画像を選ぶ
- 2 再生モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)でO-(プ ロテクト)を選ぶ
- **3** OK ボタンを押す 1画像/全画像を選択する画面が表示されます。
- **4** +字キー (▲▼) で「1画像」を選ぶ

5 OK ボタンを押す

「この画像にプロテクト設定を行います」とメッセージが表示されま す。 別の画像をプロテクトする場合は、十字キー(◀▶)で画像を選びま す。

1画像 全画像

OK 決定



6 +字キー (▲▼) で「プロテクト」を

選ぶ

100-0017

画像の再生と消去

132



SDメモリーカード/内蔵メモリーをフォーマットすると、プロテクト されている画像も消去されます(p.167)。





ビデオ端子またはHDMI端子を備えたテレビなどと接続し、画像を再生 することができます。

- ・長時間使用するときは、ACアダプターキットK-AC130J(別売)のご 使用をお勧めします(p.40)。
 - 複数の映像入力端子があるAV機器で画像を見る場合は、ご使用のAV 機器の使用説明書をご確認の上、カメラを接続する映像入力端子を選 択してください。
 - ・ビデオ出力とHDMI出力を同時に行うことはできません。
 - AV機器と接続した場合、カメラで音量調節はできません。AV機器側 で音量を調節してください。

ビデオ端子に接続する

別売のAVケーブル(I-AVC7)を使用し、映像入力端子を備えた機器に 接続します。

- 1 AV機器とカメラの電源を切る
- 2 カメラの端子カバーを開き、AVケーブルの矢印をカメラの ▲印の方向に向け、PC/AV端子に接続する



3 AV ケーブルのもう一方の端子を、AV 機器の映像入力端子に接続する

ステレオ音声の機器に接続するときは、音声端子をL(白)に差し込ん でください。

4 AV機器の電源を入れる

カメラを接続した機器と画像を映し出す機器が別の場合は、両方の電 源を入れます。

複数の映像入力端子があるAV機器(テレビなど)で画像を見る場合 は、ご使用のAV機器の使用説明書をご確認の上、カメラを接続して いる映像入力端子を選択してください。

5 カメラの電源を入れる

- ビデオ出力方式は地域によって異なります。「ワールドタイム」 (p.170)をナ(目的地)に切り替えると、その都市の出力方式に切り替わります。日本国内では、NTSC方式です。
 - ・国や地域によってはビデオ出力方式が初期設定(「NTSC」)になっていると画像や音声を再生できない場合があります。その場合は、出力方式を「PAL」に切り替えてください(p.179)。
 - AV 機器に接続している間は、カメラの画像モニターは表示されません。また、カメラのズームレバーで音量調整はできません。

ビデオ出力の場合は、AV機器の対応解像度にかかわらず、通常の解像 度になります。ハイビジョンで出力する場合は、HDMI出力するか (p.136)、パソコンへ転送して再生してください(p.190)。

HDMI端子に接続する

市販のHDMIケーブルを使用し、HDMI端子を備えた機器に接続します。

1 AV機器とカメラの電源を切る

2 カメラの端子カバーを開き、HDMIケーブルをHDMI端子に 接続する



3 HDMIケーブルのもう一方の端子を、AV機器のHDMI入力端 子に接続する

XE

4 AV機器とカメラの電源を入れる

AV機器にカメラの情報が表示されます。



- カメラのHDMI端子はタイプD(Micro)です。ご使用の機器に合った 市販のHDMIケーブルをご用意ください。
- ・HDMI出力中は、カメラの画像モニターは表示されません。
- HDMI端子の出力信号方式の初期設定は、「オート」に設定されています。接続しているAV機器やカメラが対応する最大サイズで表示されます。AV機器、カメラの出力方式に合わせて設定を変更することもできます(p.180)。
- HDMI 端子の出力信号方式を「1080i」または「720p」に設定した場合、接続しているAV機器やカメラでは16:9の縦横比で表示されます。このカメラで表示する縦横比と異なるため見えかたに差がでます。

画像のサイズを変更する

画像のサイズを変更する(リサイズ)

選択した画像の記録サイズと画質を変更して、元の画像よりもファイ ルサイズを小さくすることができます。SDメモリーカードまたは内蔵 メモリーがいっぱいになって撮影できなくなったとき、画像をリサイ ズして上書きすれば、空き容量が増え、続けて撮影ができます。

注意 ・パノラマ撮影された画像や動画はリサイズできません。

🌂 ・ 元の画像よりも大きいサイズ/高い画質は選択できません。

1 再生モードで十字キー(◀▶)を押し、リサイズする画像 を選ぶ

2 再生モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)で 2 (リ サイズ)を選ぶ

3 OK ボタンを押す 記録サイズを選択する画面が表示されます。

「JPEG 記録サイズ」と「JPEG 画質」 を選択する

それぞれ、十字キー(◀▶)で選択します。 「JPEG記録サイズ」と「JPEG画質」の切り 替えは、十字キー(▲▼)で行います。



5 OK ボタンを押す

保存の確認画面が表示されます。 画像がプロテクトされている場合は、このときに新規保存され、確認 画面は表示されません。

6 十字キー(▲▼)で「新規保存」を選び、OKボタンを押す。 リサイズされた画像が保存されます。

画像の編集と印刷

(4)

印刷

Δ

画像をトリミングする

画像周囲の不要な部分をカットして、別の画像として保存します。

記録サイズが 3M / 2M^{III} / 2M^{III} / 2M^{III} / 2M^{III} で撮影された画像、またはパノ ラマ撮影された画像や動画はトリミングできません。

- 1 再生モードで十字キー(◀▶)を押し、トリミングする画像を選ぶ
- 2 再生モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)で□□(ト リミング)を選ぶ

3 OK ボタンを押す

トリミングを行う画面が表示されます。 画面にはトリミングできる最大の範囲が緑の枠で表示されます。この 範囲を越えてトリミングはできません。

4 トリミング範囲を決める

以下の操作で緑の枠を動かして、 画面のどの 部分をトリミングするか決めます。

電子ダイヤル	トリミングサイズの変更
十字キー (▲▼◀▶)	トリミング位置の移動
◉/๎ਙボタン	トリミング範囲の回転 ・ 回転できるサイズのときだけ ボタンが表示されます。



5 OK ボタンを押す

トリミングされた画像が新しいファイル名で保存されます。 トリミング後の記録サイズは、トリミングサイズに応じて自動的に設 定されます。

画像の一部を左右に伸ばす(のび~るフィルター)

4:3の画像の一部を横に伸ばして16:9の画像として保存します。

1 再生モードで十字キー (◀▶)を押し、編集する画像を選ぶ

2 再生モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)で圖(の び~るフィルター)を選ぶ

3 OKボタンを押す

「引き伸ばす位置と幅を指定してください」のメッセージが表示され た後、引き伸ばす位置と幅を調整する画面が表示されます。

合幅





左 (W)	引き伸ばす幅が狭くなる
右 (T)	引き伸ばす幅が広くなる

ĥ OK ボタンを押す

保存の確認画面が表示されます。

7 +字キー(▲▼)で「新規保存」を選び、OK ボタンを押す。

加工された画像が保存されます。 新しい画像の記録サイズは、元の画像が12M のときは<u>9m</u>^{GBB}に、7mのときは<u>5m^{GBB}に、5m</u> のときは3m
に、それ以下のときは2m
と なります。



OK +

ок +

4 画像の編集と印刷



顔が小さく見えるように加工する(小顔フィル ター)

撮影時に顔検出機能(p.104)で検出された人物の顔を小さく見えるように加工します。

1 再生モードで十字キー (◀▶)を押し、編集する画像を選ぶ

2 再生モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)で>(小 顔フィルター)を選ぶ

3 OK ボタンを押す

補正できる顔に顔検出枠が表示されます。 検出枠が1つのみの場合は、手順6に進みます。

4 十字キー(▲▼ ◀ ▶)で加工する顔を 選択する

緑色の枠が加工の対象となる顔です。



5 OK ボタンを押す

- 6 +字キー(◀▶)で縮小率を切り替える
 - **■____**約5%
 - _____ 約7%
 - ·····
 約10%

7 OK ボタンを押す

保存の確認画面が表示されます。 画像がプロテクトされている場合は、このときに新規保存され、確認 画面は表示されません。

十字キー(▲▼)で「新規保存」を選び、OKボタンを押す。 トードに戻り、加工した画像が表示されます。

4



以下の場合は、加工できないことがあります。

- ・画像に対して顔の占める割合が大きすぎる、または小さすぎる
- 顔の位置が、画像の中心から外れている


画像を加工・補正する

デジタルフィルターで加工する

撮影した画像を、デジタルフィルターで加工します。 以下のフィルターが選択できます。

フィルター名	効果
白黒	白黒写真のような画像に加工します。
セピア	セピア写真のような画像に加工します。
トイカメラ	トイカメラで撮影したような画像に加工します。効果の程度 を、弱/標準/強から選択できます。
レトロ	古い写真のような画像に加工します。元画像/アンバー/ブ ルーの色が選択できます。
カラー	選択したカラーフィルターをかけた画像にします。赤/桃/ 紫/青/緑/黄の6種類のフィルターがあります。
色抽出	特定の色だけを抽出し、他の部分を白黒に加工します。赤/ 緑/青の3種類のフィルターがあります。
色強調	青/緑/桃/赤の色彩を強調します。
ハイコントラスト	撮った写真のコントラストを調整します。
トゥインクル	夜景や水面の光の輝きなど、ハイライト部に光条を表現し、キ ラキラした雰囲気を強調します。 クロス/ハート/星/音符/雪の形状から選択できます。
ソフト	全体をぼかしたようなやわらかい画像に加工します。
フィッシュアイ	魚眼レンズで撮影したような画像にします。効果の程度を、弱 /中/強から選択できます。
明るさ	明るさを調整します。
ミニチュア	画像のボケ具合を操作してミニチュア風の写真に加工します。 ぼかす範囲を上部/中央/下部から選択できます。
スリム	被写体の縦横比を変更します。
ネガポジ反転	画像を反転します。

注意

パノラマ撮影された画像や動画、他のカメラで撮影した画像は、デジタ ルフィルターで加工できません。

143

4

画像の編集と印刷

フィルターをかける

1 再生モードでフィルターをかける画像を選択し、十字キー (▼)を押す

再生モードパレットが表示されます。

2 十字キー(▲▼◀▶)で①(デジタルフィルター)を選び、 OKボタンを押す

選択した画像にはじめてフィルターをかける場合 手順4のフィルターを選択する画面が表示されます。手順3をとばし て手順4に進みます。

すでにフィルターがかかっている画像にさらにフィルターをかける場合 手順3に進みます。



+字キー(▲▼**∢**▶)でフィルター を選択する

+字キー (▲▼) で「フィルターを

かける」を選び、OKボタンを押す フィルターを選択する画面が表示されま

フィルターを選択すると、効果が画面で確認できます。

パラメーターが選択/調整できるフィル ターは、フィルターの下部にパラメーター が表示されます。



パラメーターを変更する必要がないときは、手順6に進みます。

5 電子ダイヤルで値を調整する



カラーフィルター



スリムフィルター

(4)

3

Δ

す。

保存の確認画面が表示されます。

7 十字キー(▲▼)で「フィルターを 重ねる」/「新規保存」を選択し、 OKボタンを押す

> 続けて他のフィルターを重ねて指定する 場合は「フィルターを重ねる」を選択しま す。手順4の画面に戻ります。 「新規保存」を選んだ場合は、フィルター 処理された画像が新規保存されます。



XE

フィルターは、通算20回まで重ねることができます。

フィルターを再現する

フィルターをかけた画像の設定を呼び出し、他の画像に同じフィル ターを適用します。

1 再生モードでデジタルフィルターを設定した画像を選択する

- 2 再生モードパレットで ① (デジタルフィルター)を選び、 OK ボタンを押す
- 3 十字キー(▲▼)で「フィルターを 再現する」を選び、OKボタンを押す 選択した画像に設定されているフィルター の履歴が表示されます。

4 詳細を確認する場合は INFO ボタン を押し、十字キー(▲▼◀▶)で確 認したいフィルターを選択する

> フィルターのパラメーターが確認できま す。

> 確認後、**INFO** ボタンを押して元の画面に 戻ります。



IJ٦	F@Z	えルダ	白 10 一処理	0-0001 [춘
State State	49	現しま	F	
1.01 2.30= 3 4	5 6 7 8	9, 10 11 12 詳細	13 14 15 16	17 18 19 20

145

4

画像の編集と印刷

5

画像を選択する画面が表示されます。

6 十字キー(◀▶)でフィルターをかける画像を選択し、OKボタンを押す
 フィルター処理されていない画像のみ選



保存の確認画面が表示されます。

7 OK ボタンを押す

択できます。

フィルターが適用された画像が保存されます。

元画像を探す

フィルターをかける前の元の画像を探して表示します。

p.145の手順3の画面で「元画像を探す」を選び、OKボタンを押す

フィルターをかける前のオリジナル画像が呼び出されます。

メモ オリジナル画像がSDメモリーカード内に残っていない場合は、「フィル ター処理前の画像が見つかりません」と表示されます。

HDRフィルターで加工する

画像の中の明るすぎたり暗すぎたりする部分を調整して、ハイダイナ ミックレンジ画像のような加工をします。

- 1 再生モードで十字キー(◀▶)を押し、編集する画像を選ぶ
- 2 再生モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)でHDR (HDRフィルター)を選ぶ

3 OK ボタンを押す 加工結果がプレビュー表示されます。

保存の確認画面が表示されます。 画像がプロテクトされている場合は、このときに新規保存され、確認 画面は表示されません。

5 十字キー(▲▼)で「新規保存」を選び、OK ボタンを押す 加工された画像が保存されます。

コラージュ画像を作成する

複数の撮影済み画像をレイアウトパターンに配置して、1つのコラー ジュ画像を作ります。

1 再生モードパレットから、十字キー(▲▼ ◀▶)で■●(コ ラージュ)を選ぶ

記録サイズ

▶ 3M

画像作成

 OK ボタンを押す 項目選択画面が表示されます。

記録サイズを選ぶ

- 3 十字キー(▲▼)で「記録サイズ」を選ぶ
- 4 OKボタンまたは十字キー(▶)を押す ポップアップが表示されます。
- 5 十字キー(▲▼)で記録サイズを選ぶ 3 M と 2 M ¹² から選びます。



6 MENUボタンを押す

設定が保存され項目選択画面に戻ります。

レイアウトパターンを選ぶ

7 十字キー(▲▼)で「配置」を選ぶ

ØKボタンまたは十字キー(▶)を押 す ポップアップが表示されます。



10 MENUボタンを押す 設定が保存され項目選択画面に戻ります。

背景を選ぶ

- 11 +字キー (▲▼) で「背景」を選ぶ
- **12** OK ボタンまたは十字キー(▶)を押す ポップアップが表示されます。
- **13** 十字キー (▲▼) で背景を選ぶ 白い背景か黒い背景を選びます。



14 MENUボタンを押す

設定が保存され項目選択画面に戻ります。

画像を配置する

- ・選択できる画像は、4:3のアスペクト比では3M以上、16:9では2M以上で記録された画像です。それ以下の記録サイズの画像は選択できません。または動画、他のカメラで撮影された画像はレイアウト編集できないため、選択候補として表示されません。
 - アスペクト比16:9の画像を選択した場合、選択した各画像の上下に 黒い帯が表示されます。
- *15* 十字キー(▲▼)で「画像選択」を選ぶ
- **16** OK ボタンまたは十字キー(▶)を押す 選択可能な画像が表示されます。

17 十字キー(◀▶)でレイアウトする画像を選び、OKボタンを押す 画像モニター左上に表示されるガイドでハイライト表示されている位置に、選択した画像が配置されます。



18 手順17を繰り返してレイアウトで指定されている枚数分 配置する

19 MENUボタンを押す

項目選択画面に戻ります。



20 十字キー (▲▼) で「画像作成」を選ぶ



21 OK ボタンを押す

保存するか確認する画面が表示されます。

22 +字キー(▲)で「保存」を選ぶ

23 OK ボタンを押す

レイアウト編集した画像が保存されます。

保存された画像の画質はFineになります。

赤目を補正する

ストロボ撮影で人物の目が赤く写った画像を補正します。

赤目補正できるのは、このカメラで撮影した静止画のみです。パノラマ 撮影された画像や動画、他のカメラで撮影した画像、およびカメラ側で 赤目が特定できなかった画像は赤目補正できません。

1 再生モードで十字キー(◀▶)を押し、赤目補正する画像 を選ぶ

2 再生モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)で^⑨(赤 目補正)を選ぶ

3 OK ボタンを押す

保存の確認画面が表示されます。 画像がプロテクトされている場合は、このときに新規保存され、確認 画面は表示されません。

4 十字キー(▲▼)で「新規保存」を選び、OK ボタンを押す 赤目補正された画像が保存されます。

オリジナルフレームを合成する

撮影した静止画に、オリジナルフレーム(飾り枠)を合成します。オ リジナルフレームは、フレームの種類と色、位置を設定することがで きます。また、文字スタンプを追加することもできます。

XE

フレーム

オリジナル フレームの種類	ぼかし/縁取り
枠種類	 ● (4方向) / ● (上下) / ■ (左右) / ● (上) / ● (下) / ● (左) / ■ (右)
カラー	白/グレー/黒/ピンク/パンプキン/濃赤/濃緑

文字スタンプ

入力可能な文字	A~Z、a~z、0~9、記号、スペース
表示位置	 ● (左上) / ● (中央上) / ● (右上) / ● (左下) / ● (中央下) / ■ (右下)
カラー	白/グレー/黒/ピンク/パンプキン/濃赤/濃緑



▶■■ (パノラマ)モードで撮影された画像や記録サイズが 5ml、3m ² より小さいサイズで撮影された画像、または動画は、オリジナルフレームが合成できません。手順3でエラーメッセージが表示されます。

- 1 再生モードで十字キー(◀▶)を押し、フレーム合成する 画像を選ぶ
- 2 再生モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)で……(オ リジナルフレーム)を選ぶ
- **3** OK ボタンを押す
 オリジナルフレームの種類を選択する画面が表示されます。
- 4 十字キー(▲▼)でオリジナルフレー ムの種類を選び、OKボタンを押す フレームを設定する画面が表示されます。



5 +字キー(▲▼)で「枠種類」を選び、+字キー(▶)を押す



画像の編集と印刷

6 +字キー (▲▼) で枠の種類を選び、+字キー (◀) を押す

7 手順5~6と同様の操作で「カラー」を設定する

8 フレームと画像の位置を調整する

設定のしかたは「フレームと画像の位置を調整する」(p.152)をご覧 ください。

9 + 字キー(▲▼)で「文字スタンプ」を選び、+字キー (▶)を押す

文字スタンプ設定画面が表示されます。 文字を入力しない場合は、手順11に進みます。

10 文字スタンプを設定する

設定のしかたは「文字スタンプを設定する」 (p.153) をご覧ください。

AE-I A/a)1文字消去 函文字入力

11 OK ボタンを押す

保存の確認画面が表示されます。 画像がプロテクトされている場合は、このときに新規保存され、確認 画面は表示されません。

12 **十字キー(▲▼)で「新規保存」を選び、OK ボタンを押す** オリジナルフレームが合成された画像が保存されます。

フレームと画像の位置を調整する

◉/ ៉ ボタンを押す

フレーム位置調整画面が表示されます。

十字キー (▲▼ ◀ ▶)	フレームの枠の位置を 調整する
ズームレバー右 (T)	枠を拡大
ズームレバー左 (W)	枠を縮小



4 画像の編集と印刷

2 ④/面ボタンを押す

画像位置調整画面が表示されます。

+字キー (▲▼ ◀ ▶)	画像の位置を調整する
ズームレバー右 (T)	画像を拡大
ズームレバー左 (W)	画像を縮小



3 OK ボタンを押す

元の画面に戻ります。

文字スタンプを設定する

1 十字キー(▲▼◀▶)で文字を選び、 OK ボタンを押す

選んだ文字が入力されます。 最大で52文字まで入力できます。

AV/AE-L ボタ	大文字と小文字が切り
ン	替わる
ズームレバー右 (T)	カーソルを右に移動す る
ズームレバー左 (W)	カーソルを左に移動す る
◉/面ボタン	文字を消去する



- 2 十字キー(▲▼◀▶)で「確定」を選び、OKボタンを押す
- 3 +字キー(▲▼)で「表示位置」を選 □ この条件で入力します び、十字キー(▶)を押す



- 4 +字キー(▲▼)で表示位置を選び、OK ボタンを押す
- 5 +字キー(▲▼)で「カラー」を選び、+字キー(▶)を押す

f **/ // //**

プレビュー画面を見る 1●/面ボタンを押す プレビューが表示されます。





元の画面に戻ります。

3 OK ボタンを押す

p.152の手順11に進みます。

RAW 展開する

撮影したRAW画像からJPEG形式に変換して新規保存します。



RAW展開できるのは、このカメラで撮影したRAW画像のみです。他の カメラで撮影したRAW画像やJPEG画像はRAW展開できません。

1画像ずつRAW展開する

- 1 再生モードでRAW画像を選択し、十字キー(▼)を押す 再生モードパレットが表示されます。
- 2 十字キー(▲▼ ◀ ►) で[№] (RAW展開)を選び、OK ボタンを押す

展開方法を選択する画面が表示されます。



十子キー(▲▼)で変更したいハラ メーターを選択する電子ダイヤルを回して画像を切り替えるこ

電子ダイヤルを回して画像を切り替えるこ ともできます。



以下のパラメーターが変更できます。

パラメーター	值	参照
アスペクト比	4:3 / 16:9 / 3:2 / 1:1	p.96
JPEG記録サイズ	アスペクト比に対応したJPEG記録サイ ズ	p.97
JPEG画質	Fine / Normal	p.98
カスタムイメージ	鮮やか/ナチュラル/雅/リバーサル フィルム/モノトーン	p.106
ホワイトバランス	AWB/滲/✿╮/❹╱祟D/祟N/祟W / 祟L/☆/\$₩8/品	p.98
増減感	-1.0~+1.0	_
シャドー補正	オン/オフ	p.101
ディストーション 補正	オン/オフ	p.103

5 +字キー(◀▶)で値を変更する

ホワイトバランス/カスタムイメージは、十字キー(▶)を押すと設 定画面が表示されます。

6 OK ボタンを押す

保存の確認画面が表示されます。

4

画像の編集と印刷

7 十字キー(▲▼)で「新規保存」を選び、OKボタンを押す 画像がRAW展開されて新規保存されます。

8 十字キー(▲▼)で「継続」/「終了」を選び、OK ボタンを押す

他の画像も展開する場合は、「継続」を選びます。手順4のパラメー ターを指定する画面に戻ります。

まとめてRAW展開する

複数の画像を同じ設定でまとめてRAW展開します。

1 p.155の手順3の画面で「一括展開」を選び、OK ボタンを 押す

マルチ画面表示になります。

マルチ画面表示の操作については、p.122を参照してください。

2 十字キー(▲▼◀▶)でRAW展開する画像を選択し、OK ボタンを押す

AV/AE-Lボタンを押す

展開の確認画面が表示されます。

4 十字キー(▲▼)で「撮影時の設定 で展開」/「設定を変更して展開」を 選択し、OKボタンを押す

パラメーターを変更する場合は、「設定を変 更して展開」を選びます。



5 +字キー(▲▼◀▶)で「アスペク ト比」/「JPEG記録サイズ」/ 「JPEG画質」を設定する

手順4で「設定を変更して展開」を選択した 場合は、p.155を参照してその他のパラメー ターを変更してください。

RAW 学 PEG アスペクト比 く田田 JPEG記録サイズ 122 JPEG画質 Namu RUmm 田田 田田 WENU職消 OK 決定

6 OK ボタンを押す

保存の確認画面が表示されます。

7 十字キー(▲▼)で「新規保存」を選び、OKボタンを押す 選択した画像がRAW展開されて新規保存されます。

動画を編集する

撮影した動画中のひとコマを切り出して静止画として保存したり、動 画を分割したり、動画に静止画のタイトル画像を入れたりすることが できます。

1 再生モードで十字キー (◀▶)を押し、編集する動画を選ぶ

- 2 再生モードパレットから、十字キー(▲▼◀▶)で※(動 画編集)を選ぶ
- **OK ボタンを押す** 編集方法を選択する画面が表示されます。
 編集方法によって、以下に進んでください。



動画の1コマを静止画として保存する

- 4 編集方法を選択する画面で「静止画保存」を選ぶ
- **5** OK ボタンを押す

静止画として保存するコマを選択する画面が表示されます。

- 6 十字キー(▲▼ ◀▶)で保存するコマ を選ぶ
 - ▲ 再生/一時停止
 - ▼ 停止して最初のコマに戻る
 - ◀ コマ戻し^{*1}
 - ▶ コマ送り





4

画像

の編

集と印

刷

7

4

画像の編集と印刷

選択したコマが静止画として保存されます。

動画を分割する 4 編集方法を選択する画面で「動画分割」を選ぶ 5 OK ボタンを押す 分割位置を選択する画面が表示されます。 ĥ 十字キー(▲▼◀▶)で分割位置を決 100=0042 00=04 除用 める 割位置の画像を 運駅してください 再生/一時停止 停止して最初のコマに戻る コマ戻し ◀ OK コマ送り ► 7 OK ボタンを押す 分割位置を確認する画面が表示されます。 8 +字キー (▲▼) で「分割」を選ぶ 昆铝 の位置で分割しますか? OK

9 OK ボタンを押す

指定位置で分割された動画がそれぞれ新しいファイル名で保存され、 元の動画は削除されます。



プロテクトされている動画は分割できません。



- ・分割できるのは、2秒(31コマ)以上の動画です。
 - ・分割位置は、30コマ単位(31、61、91・・・コマ目)での選択になります。

動画にタイトル画像を入れる

- 4 編集方法を選択する画面で「タイトル画像追加」を選ぶ
- **5** OK ボタンを押す

タイトル画像を選択する画面が表示されます。

- 6 十字キー(◀▶)でタイトル画像を選ぶ タイトル画像に設定できる画像だけが表示されます。
- 7 OKボタンを押す タイトル画像の位置を確認する画面が表示されます。

8 +字キー(▲▼)で「位置」を選ぶ
 □□□ 動画の前にタイトル画像を入れる
 □□□ 動画の後ろにタイトル画像を入れる



9 OK ボタンを押す

選択した静止画がタイトル画像として保存されます。

- 注意 ・プロテクトされている動画には、タイトル画像は入れられません。
 - タイトル画像追加後の動画ファイルが26分以上となる場合には、タイトル画像を追加できません。
- ・動画の前にタイトル画像を入れた場合:動画再生時には、静止画が3秒間再生され、そのあとで動画が再生されます。サムネイルは登録した静止画が使用されます。
 動画の後ろにタイトル画像を入れた場合:動画再生時には、動画が再生され、そのあとで静止画が3秒間再生されます。サムネイルは元の動画のサムネイルが使用されます。
 - 静止画は、動画サイズに合わせて自動的にリサイズされます。
 - 動画と同じアスペクト比の静止画のみタイトル画像に設定できます。

画像をコピーする

内蔵メモリーとSDメモリーカード間で画像をコピーします。カメラに SDメモリーカードが入っていないと、この機能は選択できません。



SDメモリーカードをセットするときや取り出すときは、必ず電源を切ってください。

1 再生モードパレットから、十字キー(▲▼ ◀ ▶) で 品(画 像コピー)を選ぶ

2 OK ボタンを押す

- コピー方法を選択する画面が表示されます。
- コピー方法によって、以下に進んでください。

内蔵メモリーからSDメモリーカードにコピーする場合

内蔵メモリー内のすべての画像をSDメモリーカードにコピーします。 画像をコピーする前に、SDメモリーカードに充分な空き容量があるこ とを確認してください。



4 OK ボタンを押す

すべての画像がSDメモリーカードにコピーされます。

SDメモリーカードから内蔵メモリーにコピーする場合

SDメモリーカード内の画像を1つずつ選んで、内蔵メモリーにコピーします。

3 +字キー (▲▼) で「5D ➡ • 」を選ぶ

4 OK ボタンを押す





選択した画像が内蔵メモリーにコピーされます。 他の画像をコピーする場合は、手順3~6を繰り返します。終了する 場合は「キャンセル」を選びます。



DPOFを設定する

DPOF(Digital Print Order Format)とは、デジタルカメラで撮影した 静止画に、プリントのための情報を記録するためのフォーマットです。 撮影した静止画にDPOFを設定すると、DPOF対応プリンターやプリン トサービス店でDPOFの設定に従ったプリントができます。

印刷について

このカメラで撮影した画像を印刷するには、次の方法があります。

- 1 プリントサービス店を利用する
- 2 SDメモリーカードスロットのあるプリンターを利用して、SDメ モリーカードから直接印刷する
- 3 お手持ちのパソコンのソフトウェアを利用して印刷する
- ・ DPOFが設定できるのは、静止画のみです。動画には設定できません。
 - •「日付写し込み」(p.108) で日付/時刻を写し込んだ画像には、DPOF 設定で「日付」を 𝔐 (オン) にしないでください。 𝔐 にすると、日 付が重なって印刷されます。

1画像ずつ設定する

各画像ごとに、以下の項目を設定します。

枚数	プリントする枚数を設定します。99枚まで設定できます。
日付	画像に日付をプリントするかしないかを設定します。

- 1 再生モードパレットから、十字キー(▲▼ ◀►)で (DPOF) を選ぶ
- **2** OK ボタンを押す

設定方法を選択する画面が表示されます。

3 +字キー(▲▼)で「1画像」を選ぶ



4 画像の編集と印刷

「この画像にDPOF設定を行います」とメッセージが表示されます。

5 +字キー(**∢**▶)で画像を選択する

すでにDPOFが設定されている画像は、設定された枚数と日付のマ(オン)/□(オフ)が表示されます。

6 十字キー(▲▼)でプリント枚数を設定する



この可像に

100-0017

OK

D

7 ●/ 値ボタンで日付の ☑ / □を切り替える

☑ 日付をプリントする

□ 日付をプリントしない

他の画像にもDPOFを設定する場合は、手順 5~7を繰り返します。

8 OK ボタンを押す

設定が保存され、手順3の画面に戻ります。

プリンターやプリントサービス店のプリント機器によっては、DPOF設 定で「日付」を (オン)にしても日付がプリントされないことがあ ります。



DPOF設定を解除する場合は、手順6で枚数を「00」に設定して、**OK** ボタンを押します。

全画像を設定する

カメラに保存されているすべての画像に同じ枚数/日付の設定を適用 します。

┦ p.162の手順3の画面で「全画像」を選ぶ

2

「すべての画像にDPOF設定を行います」とメッセージが表示されます。

3 プリント枚数と日付の ☑ / □ を設定 する

設定のしかたは「1画像ずつ設定する」の手順6~7(p.163)をご覧ください。



4 OK ボタンを押す

設定した値で全画像の設定が保存され、設定方法を選択する画面に戻 ります。

「全画像」では、すべての画像に同じプリント枚数が設定されます。

プリントをする前に、必ず枚数の設定が正しいか確認してください。 ・「全画像」で設定を行うと、1画像ずつの設定は解除されます。

画像の編集と印刷

注意

カメラを設定する

カメラの全般的な設定は「、設定」メニューで指定します。

XE

メニューの操作方法については、「メニューで設定する」(p.31)を参照 してください。

設定メニューの設定項目

「<ひた1~4」メニューでは、以下の設定を行います。 撮影または再生モードでMENUボタンを押し、十字キー(<>)また は電子ダイヤルで「<2設定1~4」メニューを表示します。

メニュー	項目	機能	参照
	USERモード登録	現在のカメラの設定をモードダイ ヤルのUSERに登録します。	p.73
	サウンド	電子音の音量や音の種類とオン/ オフを切り替えます。	p.168
	日時設定	年月日の表示形式と日時を設定し ます。	p.169
~ 1	ワールドタイム	現在地とは別に、指定した都市の 日時を画像モニターに表示できる ようにします。	p.170
	文字サイズ	メニューの文字サイズを設定しま す。	p.172
	Language/言語	メニューやメッセージを表示する 言語を切り替えます。	p.173

メニュー	項目		機能	参照
	フォルダー名		画像が保存されるフォルダー名の 付け方を設定します。	p.174
₹2	ファイル名		画像のファイル名の付け方を設定 します。	p.176
	著作権情報		画像の著作権情報を設定します。	p.177
	USB接続		パソコンと接続するときの転送 モードを設定します。	p.189
	ビデオ出力		ビデオ端子を備えたAV機器と接続 するときの出力方式を設定しま す。	p.179
	HDMI出力		HDMI端子を備えたAV機器と接続 するときに設定します。	p.180
	Eye-Fi		無線LAN機能内蔵SDメモリーカー ド (Eye-Fiカード)を使用して、画 像の転送を開始するときに設定し ます。	p.180
	LCD設定		画像モニターの明るさと色味を調 整します。	p.181
4 3	エコモード		10秒間操作しなかったときに、画 像モニターの明るさを暗くして バッテリーの消耗を抑えます。	p.182
	オートパワーオフ		自動的に電源が切れるまでの時間 を設定します。	p.182
	リセット		設定内容を初期化します。	p.187
	全画像消去		保存されているすべての画像を消 去します。	p.130
	ピクセルマッピング		撮像素子の画素に欠けがあった場 合に、その部分を補完します。	p.185
_	ダイレクト起動	再生起動	再生起動を行うかどうか設定しま す。	p.186
* 4		スタイル ウォッチ	電 源 が オ フ の 状 態 で ス タ イ ル ウォッチを表示させるかどうか設 定します。	p.187
	フォーマット		SDメモリーカードをフォーマット します。	p.167

「ヽ設定1」メニュー	「ヽ設定2」メニュー
USERモード登録 サウンド 日時設定 2013/01/01 ワールドタイム 文字サイズ Language/言語	 マルダー名 日付 ファルダー名 日付 ファイル名 副PG 著作権情報 US8接続 MSC ビデオ出カ NTSC HDMI出カ オート
MENU終了	MENU 終了
「ヽ設定3」メニュー	「ヽ設定4」メニュー
G H & 1 2 3 4 G	िसि ५ 1 2 3 4 🕞
Eye-Fi □ LCD設定 エコモード 5秒 オートパワーオフ 3分 リセセット 全画像消去	ビクセルマッピング ダイレクト起動 フォーマット

フォーマットする

SDメモリーカード/内蔵メモリーに保存されているすべてのデータを 消去します。

未使用または他のカメラやデジタル機器で使用したSDメモリーカードは、必ずこのカメラでフォーマットしてからご使用ください。

- SDメモリーカードのフォーマット中は、バッテリー/カードカバー を開けないでください。カードが破損して使用できなくなることがあ ります。
 - フォーマットを行うと、プロテクトされた画像や、このカメラ以外で 記録したデータも消去されます。ご注意ください。
 - パソコンなどこのカメラ以外の機器でフォーマットされたSDメモリー カードはそのままでは使用できません。必ずカメラでフォーマットして ください。
 - SDメモリーカードが挿入されていると、SDメモリーカードがフォーマットされます。内蔵メモリーをフォーマットする場合は、必ずSDメモリーカードを抜いてから操作してください。
- 1 「、設定4」メニューから、十字キー(▲▼)で「フォーマット」を選び、十字キー(▶)を押す

「フォーマット」画面が表示されます。

5



曼作音量

F音 <u>フタ</u>イマー音

<
 <tr>
 < (0)</td>

 ↓

 ↓

 ↓

 ↓

 ↓

 ↓

3 OK ボタンを押す

フォーマットが開始されます。 フォーマットが終わると、撮影モードに戻ります。

サウンドの設定を変更する

操作音の音量と音の種類を変更できます。

「、設定1」メニューから、十字キー (▲▼)で「サウンド」を選び、十字 キー(▶)を押す

> 「サウンド」画面が表示されます。 設定する項目によって、以下に進んでください。

操作音量/再生音量を変更する

2 十字キー(▲▼)で「操作音量」を選ぶ

3 十字キー(▲▶)で音量を調節する 音量をNにすると起動音・シャッター音・操作音・セルフタイマー音は鳴りません。

4 手順2~3と同様の操作で「再生音量」を設定する

5 MENUボタンを2回押す

メニュー選択前の画面に戻ります。

音の種類を変更する

- 2 十字キー(▲▼)で「起動音」を選び、十字キー(▶)を押す ポップアップが表示されます。
- 3 十字キー(▲▼)で音の種類を選ぶ 「1」/「2」/「3」/「オフ」から選択します。
- **4** OK ボタンを押す
- 5 手順2~4と同様の操作で「シャッター音」/「操作音」/ 「セルフタイマー音」を設定する
- **6** MENUボタンを2回押す メニュー選択前の画面に戻ります。

日時を変更する

初期設定(p.49)で設定した日付と時刻を変更します。また、カメラに 表示する日付の表示形式を設定します。

1 「、設定1」メニューから、十字キー(▲▼)で「日時設定」 を選び、十字キー(▶)を押す

「日時設定」画面が表示されます。

2 十字キー(▶)を押す 選択枠が「年/月/日」に移動します。 初期設定や、前回の設定によっては、月/日/ 年/日/月/年で表示されていることもあります。



- 3 十字キー(▲▼)で日付の表示スタイルを選ぶ 「年/月/日」/「月/日/年」/「日/月/年」から選択します。
- 4 十字キー(▶)を押す

選択枠が「24h」に移動します。

5

5 十字キー(▲▼)で「24h」(24 時間表示) /「12h」(12 時間表示)を選び、十字キー(▶)を押す

選択枠が「表示スタイル」に戻ります。

6 +字キー (▼)を押す

選択枠が「日付」に移動します。

7 +字キー(▶)を押す

手順3で設定した表示スタイルに従って、選択枠が下記の項目に移動 します。

「年/月/日」の場合 西暦年

「月/日/年」の場合 月

「日/月/年」の場合 日

以下の操作手順は、「年/月/日」に設定した場合です。他の表示スタ イルに設定した場合でも、操作方法は同様です。

8 十字キー(▲▼)で西暦年を設定し、十字キー(▶)を押す 選択枠が「月」に移動します。十字キー(▲▼)で月を設定します。 月を設定後は、同様の操作で日を設定します。

9 手順6~8と同様の操作で時刻を設定する 手順5で「12h」を選択した場合は、時刻調整に連動してAM/PMが 切り替わります。

10 十字キー (▼) で「設定完了」を選ぶ

11 OK ボタンを押す

日時の設定が保存されます。



5

設定

手順11で**OK**ボタンを押すと、0秒にセットされます。時報に合わせて **OK**ボタンを押すと、秒単位まで正確に日時が設定できます。

ワールドタイムを設定する

「日時を設定する」(p.49)や「日時を変更する」(p.169)で設定した日時は、現在地の日時として設定されます。「ワールドタイム」を設定しておくと、海外で使用するとき、画像モニターに目的地として設定した国や地域の日時を表示できます。

目的地を設定する

「、設定1」メニューから、十字キー(▲▼)で「ワールド タイム」を選び、十字キー(▶)を押す

「ワールドタイム」画面が表示されます。

2 +字キー(▲▼)で「ナ目的地」を選ぶ



3 +字キー(▶)を押す

「→目的地」画面が表示されます。現在設定されている都市が地図上で 点滅表示されます。

4 十字キー(◀▶)で目的地の都市名を 選ぶ

選択した都市の現在時刻・位置・時差が表示 されます。



- 5 +字キー(▲▼)で「夏時間」を選ぶ
- 6 十字キー(◀▶)で☑(オン)/□(オフ)を切り替える 目的地が夏時間を採用している場合は、☑にします。
- **7 OK ボタンを押す** 目的地の設定が保存され、「ワールドタイム」画面に戻ります。
- **8** MENUボタンを2回押す

メニュー選択前の画面に戻ります。



手順2で「公現在地」を選ぶと現在地の都市と夏時間を設定できます。

5

目的地の日時をカメラに表示させる(時刻切替)

1 「、設定1」メニューから、十字キー(▲▼)で「ワールド タイム」を選び、十字キー(▶)を押す

「ワールドタイム」画面が表示されます。

2 十字キー (▲▼) で「時刻切替」を選び、十字キー (▶)を押す ポップアップが表示されます。

ワールドタイム	
時刻切替	▶ 奋
→目的地	DST
ニューヨーク	01:25
▲現在地	DST
東京	14:25
MENU 5	



₲ 現在地の都市の時刻を表示

4 OK ボタンを押す

設定が保存されます。

5 MENUボタンを2回押す

メニュー選択前の画面に戻ります。 ワールドタイムに切り替えた場合は、ガイド表示に目的地の日時が表 示されていることを示す**ナ**アイコンが表示されます。

メニューの文字サイズを設定する

カーソルで選んでいるメニュー項目の文字サイズを、「標準」(通常表示) / 「大きい」(拡大表示)から設定できます。

1 「、設定1」メニューから、十字キー(▲▼)で「文字サイズ」を選び、十字キー(▶)を押す ポップアップが表示されます。

2 十字キー(▲▼)でメニューの文字サイズを選ぶ 「標準」/「大きい」から選択します。

3 OK ボタンを押す

設定が保存されます。

(5)

表示言語を変更する

メニューやエラーメッセージなどに表示される言語を変更します。

1 「、設定1」メニューから、十字キー(▲▼)で「Language/ 言語」を選び、十字キー(▶)を押す

「Language/言語」画面が表示されます。

2 +字キー (▲▼ ◀ ▶) で言語を選ぶ

3 OK ボタンを押す

選択した言語でメニューやメッセージが表示されるようになります。

フォルダー名の付け方を変更する

画像が保存されるフォルダー名の付け方を変更できます。「日付」に設定すると 写真は撮影日ごとに違うフォルダーに保存されます。

選択項目	作成されるフォルダー名称
日付 (初期値)	xxx_mmdd (3桁のフォルダー番号_月日) ※日付の表示スタイルが「日/月/年」に設定されている場合は、 xxx_ddmm (3桁のフォルダー番号_日月)になります。 撮影日ごとにフォルダーが作成され、その日付の撮影データが保存され ます。
PENTX	xxxPENTX(xxxは3桁のフォルダー番号) フォルダーがいっぱい(9999枚)になるまで同じフォルダーに保存さ れます。
_USER	xxxAAAAA(xxxは自動で付与される3桁のフォルダー番号、AAAAAは 入力した5文字の英数字) フォルダーがいっぱい(9999枚)になるまで同じフォルダーに保存さ れます。

「日付」で4/1に撮影 「日付」で4/8に撮影 4/10 [C [PENTX] [C 「PENTX」で4/15に 変更 撮影 100 0401 101 0408 102PENTX 新しいフォルダは フォルダーを作成 フォルダーを作成 フォルダーを作成 作成されない 100 0401 101 0408 102PENTX 102PENTX フォルダーに保存 フォルダーに保存 フォルダーに保存 フォルダーに保存 DCIM DCIM DCIM DCIM



・フォルダーは最大900個まで作成されます。

• 1個のフォルダーには最大9999個まで画像が保存されます。

XE

フォルダー名の付け方を選択する

- 1 「、設定2」メニューから、十字キー(▲▼)で「フォルダー 名」を選び、十字キー(▶)を押す ポップアップが表示されます。
- 2 十字キー(▲▼)でフォルダー名の付け方を選ぶ 「日付」/「PENTX」/「_USER」から選択します。

3 OK ボタンを押す

設定が保存されます。

フォルダー名を自分で作る

画像を保存するフォルダー名を作ることができます。 入力できるのはアンダーバーを含む半角英数字5文字です。 作成されるフォルダー名は、3桁のフォルダー番号の後に、入力した5 文字の英数字が表示される形になります。

1 「フォルダー名の付け方を選択する」」 の手順2で、「_USER」を選び、十字 キー(▶)を押す

> フォルダー名入力画面が表示されます。 「_USER」と初期表示されています。

2 +字キー(▲▼◀▶)で入力する文字を選び、OK ボタン を押す

1文字目が確定し、2文字目にカーソルが移動します。

- 3 手順2を繰り返して、5文字すべてを入力する
- 4 「A」を選択している状態で、十字キー (◀)を押すか、「_」を選択している 状態で、十字キー(▼▶)を押す 選択枠が「設定完了」に移動します。



D E F G H I Q R S T U V

USER

同文字スナ

MENUITY消

5

5 OK ボタンを2回押す

フォルダー名が設定され、「、設定2」メニューに戻ります。



・電子ダイヤルを使って、入力する文字列のカーソル位置を変更できます。

・設定したフォルダー名が「、設定2」メニューに表示されます。

ファイル名の付け方を変更する

保存される画像のファイル名の付け方を変更できます。

選択項目	作成されるファイル名
IMGP (初期値)	IMGPxxxx (xxxxは自動で付与される4桁の通し番号) カメラ固有の設定番号の後ろに通し番号が続きます。
USER	AAAAxxxx (xxxxは自動で付与される4桁の通し番号) 入力した4文字の英数字の後ろに通し番号が続きます。

5 設定

ファイル名の付け方を選択する

1 「、設定2」メニューから、十字キー(▲▼) で「ファイル 名」を選び、十字キー(▶)を押す

ポップアップが表示されます。

- 2 十字キー(▲▼)でファイル名の付け方を選ぶ 「IMGP」/「USER」から選択します。
- **3** OK ボタンを押す

設定が保存されます。

ファイル名を自分で設定する

撮影する画像ファイルの命名方法を自分で設定することができます。 入力できるのはアンダーバーを含む半角英数字4文字です。撮影された 画像ファイル名は、入力した4桁の英数字の後ろに4桁の通し番号が表 示されます。



2 十字キー(▲▼◀▶)で入力する文字を選び、OK ボタン を押す

1文字目が確定し、2文字目にカーソルが移動します。

- 3 手順2を繰り返して、4文字すべてを入力する
- 4 「A」を選択している状態で、十字キー (◀)を押すか「_」を選択している状態で、十字キー (▼)を押すの「」を選択している状態で、十字キー (▼▶)を押す 選択枠が「設定完了」に移動します。



5 OK ボタンを2回押す

ファイル名が設定され、「、設定2」メニューに戻ります。

- ・電子ダイヤルを使って、入力する文字列のカーソル位置を変更できま す。
 - ・設定したファイル名はリセットをしても初期化されません。

著作権情報を設定する

撮影者名や著作権名を設定して、撮影する画像に著作権情報を記録す ることができます。



著作権情報を記録できるのは、撮影する画像の記録形式がJPEGまたは RAWの場合のみです。動画には著作権情報を記録できません。

撮影者名/著作権者名を設定する

最大32文字までの撮影者名や著作権名を設定できます。

5

1	「< 、 、 十字キー (▲▼) で「著作権情報」を選び、十 字キー(▶)を押す 「著作権情報」画面が表示されます。	 著作権情報 著作権情報の添付< 撮影者名 著作権者名
2		▲提影老名 AE Aa



3 **十字キー(▲▼∢▶)で入力する文字を選び、OK ボタン** を押す

1 文字目が確定して文字列入力欄に表示され、2文字目にカーソルが 移動します。

- 電子ダイヤルを使って、入力する文字列のカーソル位置を変更でき ます。
- AV/AE-L ボタンを押すと、アルファベットの大文字と小文字を切 り替えることができます。
- ●/面 ボタンを押すと、文字列入力欄で選択されている文字を消去 できます。

4 手順3を繰り返して、必要な文字すべてを入力する

5 十字キー(▲▼◀▶)を押して「確定」を選ぶ

ĥ OK ボタンを押す

を押す

名前の入力画面が表示されます。

入力した「撮影者名」または「著作権者名」 が確定し、「著作権情報」画面に戻ります。 入力した名前が画面に表示されます。名前が 28文字を超える場合は、頭から28文字が表 示されます。



7 MENUボタンを2回押す

メニュー選択前の画面に戻ります。
撮影画像に著作権情報を記録する

撮影画像に著作権情報を記録するかどうかを設定します。

1 「、設定2」メニューから、十字キー(▲▼)で「著作権情報」を選び、十字キー(▶)を押す

「著作権情報」画面が表示されます。

- 2 +字キー(▲▼)で「著作権情報の添付」を選ぶ
- 3 十字キー (◀▶) で☑ /□を切り替える
 - ☑ 撮影時に著作権情報を記録する
 - □ 著作権情報を記録しない(初期設定)
- **4** MENUボタンを2回押す メニュー選択前の画面に戻ります。

ビデオ出力方式を選択する

カメラとAV機器を接続して撮影や再生をするときのビデオ出力方式 を、NTSCとPALから選択します。

1 「**、**設定2」メニューから、十字キー(▲▼)で「ビデオ出 カ」を選び、十字キー(▶)を押す

ポップアップが表示されます。

2 十字キー(▲▼)で出力方式を選ぶ

接続するAV機器のビデオ出力方式に合わせて「NTSC」/「PAL」を 選択します。

3 OK ボタンを押す

設定が保存されます。

▲ 国や地域によってはビデオ出力方式が初期設定(「NTSC」)になっていると画像や音声を再生できない場合があります。その場合は、出力方式を「PAL」に切り替えてください。

AV機器と接続する ☞p.134 都市別のビデオ出力方式 ☞p.216 5

HDMI出力形式を選択する

カメラとAV機器をHDMIケーブルで接続して再生するときの出力解像 度を設定します。初期設定はオートです。

1 「、設定2」メニューから、十字キー(▲▼)で「HDMI出 カ」を選び、十字キー(►)を押す

ポップアップが表示されます。

2 +字キー(▲▼)で出力方式を選ぶ

接続するAV機器のHDMI仕様に合わせて選択します。

3 OK ボタンを押す

設定が保存されます。

選択されているビデオ出力方式でポップアップの表示内容が一部変わりま す。

変更が必要な場合、先にビデオ出力方式を変更してからHDMI出力を設定し てください。

以下にビデオ出力方式と選択できるHDMI出力の組み合わせを示します。

	ビデオ出力方式							
	NTSC	PAL						
	オート(AV機器とカメラ双方で対応する 最大のサイズを自動選択)							
設定できる解像度	1080i (1920×1080i)							
	720p (1280×720p)							
	480p (640×480p)	576p (720×576p)						

Eye-Fiを設定する

市販のEye-Fiカードを使って、画像を無線LAN経由で自動的にパソコンなどに転送することができます。転送のしかたについては、「Eye-Fiカードを使って画像を転送する」(p.195)をご覧ください。初期設定は□(オフ)です。

1 「<設定3」メニューから、十字キー(▲▼)で「Eye-Fi」を選ぶ

5

XE

2 十字キー(◀▶)で☑ /□を切り替える

- ☑ Eye-Fiカードを使った通信を開始する
- □ Eye-Fiカードを使った通信をしない

3 OK ボタンを押す

設定が保存されます。



画像モニターの明るさと色味を設定する

画像モニターの明るさと色味を調整します。

1 「、設定3」メニューから、十字キー(▲▼)で「LCD設定」 を選び、十字キー(▶)を押す

「LCD設定」画面が表示されます。

2 十字キー (▲▼) で「明るさ」/「色調整(ブルー/アンバー)」/「色調整(グリーン/マゼンタ)」を選択する



明るさ	明るさを調整します (-3~+3)
色調整(ブルー/アンバー)	ブルー-アンバー間の色味を調整します。 (B7~A7)
色調整(グリーン/マゼンタ)	グリーン-マゼンタ間の色味を調整します。 (G7~M7)

3 十字キー(**∢**▶)で調整する

●/ 面ボタンを押すと調整値がリセットされます。

4 OK ボタンを押す

5 MENUボタンを押す

メニュー選択前の画面に戻ります。

5

節電機能を使う(エコモード)

ー定時間操作しないときに、画像モニターの明るさが自動的に暗くな るように設定することで、バッテリーの消耗を軽減します。節電機能 が働き、画像モニターが暗くなった場合は、いずれかのボタン操作を すると、元の明るさに戻ります。

1 「、設定3」メニューから、十字キー(▲▼)で「エコモード」を選び、十字キー(▶)を押す

ポップアップが表示されます。

2 十字キー(▲▼)でエコモードに切り替わるまでの時間を 選ぶ

「2分」/「1分」/「30秒」/「15秒」/「5秒」(初期設定)/「オフ」から選択します。

3 OK ボタンを押す

設定が保存されます。

- ・以下の場合は、エコモードになりません。
 ・ 回(連続撮影) / 回(連写L) / 団(連写H) で撮影中
 - - ACアダプター接続時
 - ・再生モード中
 - 動画撮影中
 - ・パソコン接続中
 - ・メニュー表示中
 - 「5秒」に設定されている場合、電源を入れた後に何も操作しないと、
 15秒後にエコモードになります。

オートパワーオフを設定する

ー定時間操作しないときに、自動的に電源が切れるように設定できま す。

1 「、設定3」メニューから、十字キー(▲▼)で「オートパワーオフ」を選び、十字キー(▶)を押す

ポップアップが表示されます。

5

2 +字キー(▲▼)でオートパワーオフになるまでの時間を 選ぶ

「5分」/「3分」(初期設定)/「オフ」から選択します。

3 OK ボタンを押す

設定が保存されます。



- ・ 型(連続撮影)/ 型(連写L)/ 型(連写H)で撮影中
- 動画撮影中
- スライドショウ/動画再生中
- ・パソコン接続中
- Eye-Fiカードで画像転送中

撮影モードの表示を設定する(画面設定)

撮影モードの画像モニターの表示を設定します。

1 「□撮影3」メニューの「画面設定」を選び、十字キー(▶) を押す

「画面設定」画面が表示されます。

2 +字キー(▶)を押し、+字キー (▲▼)で「グリッド表示」の種類を 選択してOKボタンを押す

(オフ) / Ⅲ (9分割) / Ⅲ (方眼グリッ
 ド) / № (十字グリッド) が選択できます。



3 十字キー(▲▼)で「ヒストグラム」/「白とび警告」/ 「電子水準器」を選び、十字キー(◀▶)で ✓/□を切り替える

ヒストグラム	画像の明るさの分布をグラフで表示します。 (p.25)
白とび警告	白とび部分を赤で点滅表示します。 (p.27)
電子水準器	電子水準器を表示します。 (p.29)

5

4 MENUボタンを2回押す

メニュー選択前の画面に戻ります。



グリッド表示とヒストグラムは、コントロールパネルから変更すること もできます。

最初に表示するメニューを設定する

MENUボタンを押してメニューを表示したときに最初に表示するページについて設定します。

1「Cカスタム1」メニューの「6. メニュー選択の記憶」を選び、十字キー(▶)を押す

「6. メニュー選択の記憶」画面が表示されます。

2 十字キー(▲▼)で「記憶しない」/「記憶する」を選び、 OKボタンを押す

1	記憶しない	常に「□撮影1」(増モードのときは「増動画1」、再生 モードのときは「ヽ設定1」)から表示する(初期設定)
2	記憶する	最後に選択したメニューのページを最初に表示する

3 MENUボタンを押す

メニュー選択前の画面に戻ります。

起動画面を変更する

カメラの電源を入れたときに表示する起動画面を設定します。 起動画面には、次の画像が選択できます。

- プリインストール画面
- 撮影モードとボタンのガイドを表示する「ガイド表示起動画面」
- 撮影した画像(設定が可能な画像のみ)

1 再生モードパレットから、十字キー(▲▼ ◀ ▶) で■(起動画面設定)を選ぶ

5

2 OK ボタンを押す

起動画面を選択する画面が表示されます。

インストール画面(1種)が選択できます。

3 十字キー(▲▶)で起動画面を選ぶ 起動画面に設定できる画像だけが表示され ます。その他に、ガイド表示起動画面とプリ



4 OK ボタンを押す

起動画面が設定されます。

- ・設定した起動画面は、元の画像を消去したり、SDメモリーカード/ 内蔵メモリーをフォーマットしても消去されません。
 - 「オフ」に設定すると起動画面は表示されません。
 - 再生起動モードで電源を入れたときは、起動画面は表示されません。
 - ・パノラマ撮影された画像や動画は起動画面には使えません。

センサー画素の欠けを補完する(ピクセルマッピン グ)

ピクセルマッピングは、撮像素子の画素に欠けがあった場合に補完処 理をする機能です。画像のドットがいつも同じ所で欠けるようになっ たら、ピクセルマッピングを実行してください。

- ピクセルマッピングを実行するときは、撮影モードから「、設定4」メニューを表示して操作してください。カメラが再生モードの状態で「、 設定4」メニューを表示しても、ピクセルマッピングは選択できません。
- 1 撮影モードでMENUボタンを押し、「、設定4」設定メニューを表示する
- 2 +字キー(▲▼)で「ピクセルマッピング」を選び、十字 キー(▶)を押す

「ピクセルマッピング」画面が表示されます。

5



4 OK ボタンを押す

補完処理が行われます。

バッテリーの容量が少ない場合、「電池容量がたりないためピクセル マッピングを行えません」と画像モニターに表示されます。ACアダプ ターキットK-AC130J(別売)を使用するか、容量が十分残っている バッテリーに交換してください。

ダイレクト起動を設定する

電源がオフのときに電源ボタン以外のボタンを押して各機能を起動さ せるダイレクト起動を設定します。

再生起動	オンに設定すると、電源オフ時に ▶ ボタンの長押しで再生 モードで起動することができます。
スタイルウォッチ	オンに設定すると、電源オフ時に OK ボタンの長押しで画像モ ニターに時計を表示できます

1 「、設定4」メニューから、十字キー(▲▼)で「ダイレクト起動」を選び、十字キー(▶)を押す

「ダイレクト起動」画面が表示されます。

2 +字キー(▲▼)で設定する項目を選ぶ



3 十字キー(◀▶)で☑ /□を切り替える

☑ :ダイレクト起動を許可する

□ :ダイレクト起動を許可しない



スタイルウォッチを使う

カメラを時計のように使うことができます。電源がオフのときに**OK**ボ タンを長押しすると、画像モニターに時計を表示します。

1 OKボタンを長押しする 電源がオンになり、画面に時計が表示されます。 約10秒経過すると、自動的に電源がオフになります。 また、電源ボタンを押すと、すぐに電源がオフになります。

○Kボタンを押してもスタイルウォッチを表示させないようにするときは「設定4」メニューの「ダイレクト起動」で「スタイルウォッチ」を「□(オフ)」に設定します。(p.186)

設定をリセットする

カメラの設定内容を工場出荷時の状態に戻します。リセットされる項 目については「初期設定一覧」(p.210)をご覧ください。

1 「**ヽ**設定3」メニューから、十字キー(▲▼)で「リセット」 を選び、十字キー(▶)を押す

リセット

設定を初期状態に戻します

リセット <u>キャンセル</u>

OK決定

「リセット」画面が表示されます。

2 +字キー(▲▼)で「リセット」を選ぶ

3 OK ボタンを押す

設定がリセットされます。

01:25

14:25

5

パソコンと接続する

撮影した静止画・動画は、本機とパソコンをUSBケーブルで接続して 転送したり、付属ソフトウェア「SILKYPIX Developer Studio 3.0 LE for PENTAX RICOH IMAGING」でRAW画像の展開ができます。 パソコンとの接続と付属ソフトウェアの使用には、以下のシステム環 境が必要です。

• Windows

OS	Windows 8 (32bit/64bit) / Windows 7 (32bit/64bit) / Windows Vista (32bit/64bit) / Windows XP (SP3以降、Home / Pro 32bit) • インストールには管理者権限が必要 • 64bit OS上では、32bitアプリケーションとして動作可能
CPU	Intel Pentium互換プロセッサ(Pentium 4/Athlon XP以上推奨) ・マルチコア (Intel Core i7, i5/Core 2 Quad, Duo/AMD Phenom II X6, X4/Athlon II X4, X2等)対応
メモリ	1GB以上(2GB以上推奨)
HDD	プログラムのインストール、起動時:100MB以上の空き容量 画像ファイル保存:1ファイルあたり10MB程度
モニター	1024×768ドット、24bitフルカラー以上
その他	キーボード、マウス等の入力デバイス

Macintosh

OS	Mac OS X 10.8 / 10.7 / 10.6 / 10.5 / 10.4
CPU	Intelプロセッサ対応/Power PC
メモリ	1GB以上(2GB以上推奨)
HDD	プログラムのインストール、起動時:100MB以上の空き容量 画像ファイル保存:1ファイルあたり10MB程度
モニター	1024×768ドット、24bitフルカラー以上
その他	キーボード、マウス等の入力デバイス



本機で撮影した動画をパソコンで再生するときは、QuickTimeが必要で す。QuickTimeは下記アドレスからダウンロードできます。 http://www.apple.com/jp/quicktime/download/

カメラのUSB接続モードを設定する

カメラをUSBケーブルで接続するときの接続先を設定します。

必ずパソコンと接続する前に設定してください。USBケーブルでカメ ラとパソコンが接続された状態では設定できません。

1 カメラの電源を入れる

2 「、設定2」メニューから、十字キー(▲▼)で「USB接続」 を選び、十字キー(▶)を押す ポップアップが表示されます。

3 +字キー (▲▼) で「MSC」を選ぶ

4 OK ボタンを押す

設定が保存されます。

MSC & PTP

MSC (Mass Storage Class / マスストレージクラス)

パソコンにUSB接続された機器を、記憶装置として扱うための汎用の ドライバプログラムです。USB機器をそのドライバで制御するための 規格のことを指すこともあります。

USB Mass Storage Class対応の機器は、接続するだけで、専用のドラ イバをインストールせずにパソコンからファイルのコピーや読み書き を行うことができます。

PTP (Picture Transfer Protocol / ピクチャートランスファープロトコル)

USBを通じてデジタル画像の転送やデジタルカメラの制御を行うためのプロトコルで、ISO 15740として国際標準化されています。

PTP対応の機器同士では、デバイスドライバをインストールせずに、画像データの転送を行うことができます。

このカメラでは、特に指定がない限り「MSC」を選択した状態でパソコンと接続してください。

カメラとパソコンを接続する

付属のUSBケーブルで、カメラとパソコンを接続します。

1 パソコンの電源を入れる

2 カメラの電源を切る

3 USBケーブルでカメラとパソコンを接続する

USBケーブル端子の⇒と、カメラのPC/AV端子の ◀マークを合わせて接続してください。



カメラの電源を入れる

カメラがパソコンに認識されます。

- 画像の転送中に電池が消耗すると、画像データが壊れることがあります。カメラをパソコンに接続するときはACアダプターキットK-AC130J
 (別売)のご使用をお勧めします(p.40)。
 - カメラとパソコンの通信中は、電源ランプが点滅します。
 - ・カメラと接続できるパソコンについては、p.188を参照してください。

4

XE

パソコンからカメラを取り外すには

SILKYPIX Developer Studioなどのアプリケーションでカメラを使用中の場合は、アプリケーションを終了してから、USBケーブルをカメラとパソコンから取り外してください。



カメラまたはパソコンからUSBケーブルを取り外すと、カメラは自動 的に再生モードに切り替わります。 付属ソフトウェアを使用する

付属のCD-ROMには、「SILKYPIX Developer Studio 3.0 LE for PENTAX RICOH IMAGING」が収録されています。SILKYPIX Developer Studio でRAWファイルを展開(現像)して色調整などを行い、JPEGまたは TIFF形式で保存します。

ソフトウェアのインストール

付属のCD-ROMからソフトウェアをインストールします。 ご使用のOSで複数アカウントを設定している場合は、administrator(管理者)権限でログオンしてからインストールを始めてください。

1 パソコンの電源を入れる

他に起動しているソフトがあるときは、終了させます。

2 CD-ROMをパソコンのCD/DVDドライブにセットする

「PENTAX Software Installer」の画面が表示されます。

「PENTAX Software Installer」の画面が表示されない場合

• Windows

- 1 スタートメニューから「マイコンピュータ」をクリックする
- 2 CD/DVDドライブのアイコンをダブルクリックする
- 3 「Setup.exe」のアイコンをダブルクリックする
- Macintosh
 - 1 デスクトップのCD/DVDのアイコンをダブルクリックする
 - 2 「PENTAX Installer」のアイコンをダブルクリックする

「SILKYPIX Developer Studio 3.0 LE」をクリックする

Macintoshの場合は、以降の操作は画 面の指示に従ってください。



3

4 「設定言語の選択」画面で「日本語」を選択し、[OK] ボタ ンをクリックする

5 日本語の「InstallShield Wizard」 画面が表示されたら、 [次 へ] ボタンをクリックする

以降の操作は画面の指示に従ってください。

SILKYPIX Developer Studioの画面

SILKYPIX Developer Studio 3.0 LEを起動 すると、右図の画面が表示されます。





ソフトウェアの詳しい使い方は、ヘルプを参照してください。

ユーザー登録のお願い

お客様へのサービス向上のため、お手数ですがユーザー登録にご 協力ください。

p.192 の手順 3 の画面で、「User Registration」をクリックします。



右図のような地図画面が表示され たら、「Japan」をクリックしてくだ さい。パソコンがインターネットに 接続できる環境にあれば、弊社ホー ムページのユーザー登録画面が表示 されます。画面の指示に従って、登 録をしてください。



ユーザー登録画面が表示されない場 合は、下記アドレスから直接アクセ スしてください。

https://service.pentax.jp/pentax/user

Eye-Fiカードを使って画像を転送する

無線LAN内蔵メモリーカード(Eye-Fiカード)をカメラにセットする と、画像を無線LAN経由で自動的にパソコンなどに転送することがで きます。

1 Eye-Fiカードに無線LANアクセスポイントや転送先などを 設定する

設定のしかたについては、Eye-Fiカード付属の取扱説明書をご覧くだ さい。

- 2 カメラの電源を切る
- **3** 設定したEye-Fiカードをカメラにセットする

4 カメラの電源を入れる

5 「

「

、black

「

<b

画像が、自動的に転送されます。カメラの設定のしかたは「Eye-Fiを 設定する」(p.180)をご覧ください。 画像モニターには次のアイコンが表示されます。

Eye-Fi •))	通信中 「Eye-Fi」がw に設定されていて、通信中かアクセスポイントを探 しているとき
Eye-Fi	通信待機中 「Eye-Fi」が♂に設定されていて、通信していないとき
Eye-Fi 🛞	Eye-Fi通信禁止 「Eye-Fi」が□に設定されているとき
Eye-Fi	バージョンエラー Eye-Fiカードのバージョンが古いか、 ライトプロテクトされている とき

・エンドレスモードには非対応です。

XE

・ Eye-Fiカードは、最新のファームウェアに更新してご使用ください。

6

パソコンと接続する

- カードをフォーマットする前にカード内のEye-Fi Managerのインストールファイルをパソコンにコピーしてからフォーマットしてください。
 - ・ 画像は無線LANにより転送されるので、航空機内など無線通信の使用 が制限または禁止されている場所では、Eye-Fiカードを使用しない か、Eye-Fi設定を□(オフ)にしてください。
 - バージョンの古いEye-Fiカードをカメラにセットすると、エラーメッセージが表示されます。
 - ・以下の場合は、画像は転送されません。
 - 使用可能な無線LANアクセスポイントが見つからないとき
 - ・電池の容量が少ないとき(残量表示が赤色)
 - 大量の画像を転送すると、転送に時間がかかる場合がありますので、 別売のACアダプターキット(K-AC130J)のご使用をお勧めします。
 - ・画像の転送中は、オートパワーオフ機能は働きません。
 - 大きな動画ファイルなどを転送すると、カメラ内が高温となり、回路 保護のために、強制的に電源がオフになることがあります。
 - ・無線LANによる画像転送を行うには、アクセスポイントの利用とイン ターネット環境および設定が必要です。詳しくは、ホームページをご 覧ください。(http://www.eyefi.co.jp)
 - Eye-Fiカードの使用方法は、Eye-Fiカードの使用説明書をご覧ください。
 - Eye-Fiカードに関する不具合は、カードの製造元へお問い合わせください。
 - このカメラにはEye-Fiカードの通信機能をON/OFFする機能があり ますが、Eye-Fiカードのすべての機能を保証するものではありません。
 - Eye-Fiカードの使用が認められているのは、カードをご購入された国のみです。使用する国の法律を遵守してください。

注意

メモ

各撮影モードの機能対応

機能	撮影モード	AUTO PICT	2	资		1	i.		
	光学ズーム	0	0	0	0	0	0	0	0
ズーム	デジタルズーム	0	0	0	0	0	0	0	0
	撮影モード 強 本 二 二 二 二 光学ズーム 0 <t< td=""><td>0</td><td>0</td></t<>	0	0						
	な^ (オート)	0	0	0	0	0	0	×	×
ストロボ モード	 (発光禁止) 	0	0	0	0	0	0	0	0
	♀ (強制発光)	0	0	0	0	0	0	×	×
	\$ ◎(オート+赤目)	0	0	0	0	0	0	Х	×
	≰ ⊚(強制+赤目)	0	0	0	0	0	0	×	Х
	💱 (スローシンクロ) /								
	●● (スローシンクロ+赤目)	0	0	0	0	0	0	0	×
	★ (後幕シンクロ)	-	-	-	-	-		-	-
		0	0	0	0	0	0	0	0
	└ (連続撮影)	0	0	0	0	0	0	0	×
	믳믴(連写L∕H)	0	0	0	0	0	0	0	\times
ドライブ		0	0	0	0	0	0	0	×
ドライブ モード	& (2秒セルフタイマー)	-	-	-	-	-	-	-	
	@ (セルフタイマー(3枚))	0	0	0	0	0	0	0	×
	∎ _{ss} (リモコン)	0	0	0	0	0	0	0	×
	■ (0sリモコン)	-	-	-	-	-	-	-	
	(オートフラケット)	0	0	0	0	0	0	0	×
フォーカス モード	AF (AF) / 🕏 (マクロ)	0	0	0	0	0	0	0	0
	🐁 (1cmマクロ)	0	0	0	0	0	0	0	0
	PF (パンフォーカス)	0	0	0	0	0	0	0	0
	▲ (無限遠)	0	0	0	0	0	0	0	0
	MF(マニュアルフォーカス)	0	0	0	0	0	0	0	0
(p.200へ続く)									

2	涾	*	۳I	¢9	9.	Ŷ	Se.	撮影モード	機能
0	0	0	0	0	0	0	0	光学ズーム	
0	0	0	0	0	0	0	0	デジタルズーム	ズーム
0	0	0	0	0	0	0	0	インテリジェントズーム	
0	0	×	0	0	0	0	0	4^ (オート)	
0	0	0	0	0	0	0	0	④ (発光禁止)	
0	0	×	0	0	0	0	0	4 (強制発光)	
0	0	\times	0	0	0	0	0	\$ 圖(オート+赤目)	ストロボ
0	0	×	0	0	0	0	0	4 ◉(強制+赤目)	モード
								💱 (スローシンクロ) /	
0	0	×	0	0	0	0	0	●● (スローシンクロ+赤目)	
								▶ (後幕シンクロ)	
0	0	0	0	0	0	0	0	口(標準)	
0	0	\times	0	0	0	0	0	🖳 (連続撮影)	
0	0	×	0	0	0	0	0	믳믴 (連写L/H)	
0	0	0	0	0	0	0	0	◎(セルフタイマー)/	ドライブ
	0		-	-	-	-	Ŭ	③ (2秒セルフタイマー)	モード
0	0	×	0	0	0	0	0	(1)(セルフタイマー(3枚))	
0	0	0	0	0	0	0	0	∎as (リモコン)	
-	-		-	-	-	-	-	■ (0sリモコン)	
0	0	×	0	0	0	0	0		
0	0	×	0	0	0	0	0	AF (AF) / ♥ (マクロ)	
0	0	×	0	0	0	0	0	高(1cmマクロ)	7+-+7
0	0	\times	0	0	0	0	0	PF (パンフォーカス)	チード
0	0	0	0	0	0	0	0	▲ (無限遠)	I
0	0	×	0	0	0	0	0	MF (マニュアルフォーカス)	

○:設定・変更できます ×:設定・変更できません -:設定・変更が反映されません

機能		撮影モード	AUTO PICT	2	共		•	×	2	
	カスタムイ	(メージ	X*1	X*1	×*1	X*1	X*1	X*1	X*1	X*1
		アスペクト比	0	0	0	0	0	0	0	0
	司纽机中	記録形式	0	0	0	0	0	0	0	×*2
	記球改化	JPEG記録サイズ	0	0	0	0	0	0	0	0
		JPEG画質	0	0	0	0	0	0	0	0
	ホワイト/	バランス	×*3	×*4	×*4	\times *5	×*5	\times *6	0	0
		AFエリア	×*8	0	0	0	0	0	0	0
	AF	AFモード	0	0	0	0	0	0	0	0
		AF補助光	0	0	0	0	0	0	0	0
	測光方式		×*11	×*11	×*11	×*11	×*11	×*11	0	0
	NDフィル	ター	×*12	0	0	0	0	0	0	0
	HDR撮影		1	1	1	1	-	-	-	1
/	D-Range	ハイライト補正	×*13	0	0	0	0	0	0	×*14
	設定	シャドー補正	×*15	0	0	0	0	0	0	0
	ディストー	-ション補正	0	0	0	0	0	0	0	0
	Shake Red	duction	0	0	0	0	0	0	0	×*16
	顏検出		O*18	O*18	0	0	0	0	0	0
	まばたき様	出	0	0	0	0	0	0	0	0
	デジタルフ	ベーム	0	0	0	0	0	0	0	0
	クイックと	í	0	0	0	0	0	0	0	0
	モードメモ	-U	0	0	0	0	0	0	0	0
	画面設定		0	0	0	0	0	0	0	0
	日付写し辺	<u>\</u> み	0	0	0	0	0	0	Ö	0

2	涾	*	۳ſ	\$	B	ý.	×.	撮影モード	機能	
X*1	0	X*1	×*1	X*1	×*1	X*1	×*1	カスタムイメー	ジ	
0	0	0	0	0	0	0	0	アスペクト比		
0	0	0	0	0	0	0	0	記録形式	司伊凯宁	
0	0	0	0	0	0	0	0	JPEG記録サイズ	記跡放足	
0	0	0	0	0	0	0	0	JPEG画質		
×*3	×*3	×*7	\times *3	×*3	×*3	×*3	×*3	ホワイトバラン	ス	
0	0	×*8	0	0	0	0	0	AFエリア		
0	0	×*9	0	0	0	0	0	AFモード	AF	
0	0	×*10	0	0	0	0	0	AF補助光		
×*11	×*11	×*11	×*11	×*11	×*11	×*11	X*11	測光方式		
0	0	0	0	0	0	0	0	NDフィルター		
-	1	-	1	1	1	1	Ι	HDR 撮影		↓↓↓↓↓
0	0	0	0	0	0	0	0	ハイライト補正	D-Range	<u></u>
0	0	0	0	0	0	0	0	シャドー補正	設定	
0	0	0	0	0	0	0	0	ディストーショ	ン補正	
0	0	O*17	0	0	0	0	0	Shake Reductio	n	
O*18	0	0	0	0	0	O*18	0	顏検出		
0	0	0	0	0	0	0	0	まばたき検出		
0	0	0	0	0	0	0	0	デジタルズーム		
0	0	0	0	0	0	0	0	クイックビュー		
0	0	0	0	0	0	0	0	モードメモリ		
0	0	0	0	0	0	0	0	画面設定		
0	0	0	0	0	0	0	0	日付写し込み		

○:設定・変更できます ×:設定・変更できません −:設定・変更が反映されません

- *1 「鮮やか」固定
- *2 JPEG固定
- *3 AWB固定
- 「オートホワイトバランス」固定(表 *4 示はAWB)
- *5 「太陽光」固定(表示はAWB)
- 「日陰」固定(表示はAWB) 5000K付近固定(表示はAWB) *6
- *7 [](オート)固定
- *8
- 「AF.S」固定 *9
- *10「AF補助光」□(オフ)固定

- *11 🖾 (分割測光) 固定
- *12 「NDフィルター オート」固定
- *13「ハイライト補正 オート」固定 *14「ハイライト補正 オート」固定 *15 「シャドー補正」 □(オフ)固定
- *16 「デュアル」固定 *17 「デュアル」は選択不可 *18 「顔検出 オフ」は選択不可

機能	撮影モード	(2)	A	Щ×	WIDE		,	HDR	Ρ
ズーム	光学ズーム	0	0	0	×	0	0	0	0
	デジタルズーム	0	0	0	×	0	0	0	0
	インテリジェントズーム	0	0	0	\times	0	0	0	0
	な^ (オート)	0	0	0	0	0	0	×	0
	④ (発光禁止)	0	0	0	0	0	0	0	0
	4 (強制発光)	0	0	0	0	0	0	\times	0
ストロボ	な ●(オート+赤目)	0	0	0	0	0	0	\times	0
モード	4 ◉(強制+赤目)	0	0	0	0	0	0	\times	0
	^{SLOW} (スローシンクロ) /	0	0	0	0	0	0	~	0
	●▼ (入口 シンシロー小日) New (後幕シンクロ)	0	0	0	0	0	0	^	0
	口(標準)	0	0	0	0	0	0	0	0
	🖳 (連続撮影)	0	0	0	×	×	×	×	0
	믳믴(連写L/H)	0	0	0	×	×	×	\times	0
ドライブ	 (セルフタイマー) / (2秒セルフタイマー) 	0	0	0	0	0	0	0	0
モート	(1)(セルフタイマー(3枚))	0	0	0	×	×	×	×	0
	፤ ss (リモコン) i (0sリモコン)	0	0	0	0	0	0	0	0
	🖾 (オートブラケット)	0	0	0	×	×	×	0	0
	AF (AF) / ♥ (マクロ)	0	0	0	0	0	0	0	0
フォーカス	🏯 (1cmマクロ)	0	0	0	×	0	0	0	0
	PF (パンフォーカス)	0	0	0	0	0	0	0	0
L - P	▲ (無限遠)	0	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	0	0				
	MF (マニュアルフォーカス)	0	0	0	0	0	0	0	0
(p.204へ続く)									

Tv	Av	М	,	μ,	₽ Hs		撮影モード	機能
0	0	0	0	0	0	0	光学ズーム	
0	0	0	0	0	0	0	デジタルズーム	ズーム
0	0	0	\times	Х	Х	×	インテリジェントズーム	
0	0	×	\times	×	×	0	な^ (オート)	
0	0	0	0	0	0	0	④ (発光禁止)	
×	0	0	\times	×	×	×	4 (強制発光)	
0	0	×	\times	×	×	×	な ●(オート+赤目)	ストロボ
×	0	0	\times	×	×	×	↓ ●(強制+赤目)	モード
							***** (スローシンクロ) /	
0	0	0	\times	×	×	×	◎● (スローシンクロ+赤目)	
							▶ 後幕シンクロ)	
0	0	0	0	0	0	0	口(標準)	
0	0	0	×	×	×	×	🖳 (連続撮影)	
0	0	0	\times	×	×	×	믳믶(連写L/H)	
0	0	0	0	0	0	0	◎(セルフタイマー)/	ドライブ
-		-		~	~	0	③ (2秒セルフタイマー)	モード
0	0	0	0	×	×	Х	(セルフタイマー(3枚))	
0	0	0	0	0	0	×	∎ _{as} (リモコン)	
-		-	-	-	-		■ (USリモコン)	
0	0	0	×	×	×	Х	🗐 (オートブラケット)	
0	0	0	0	0	0	0	AF (AF) /♥ (マクロ)	
0	0	0	0	0	0	×	🏝 (1cmマクロ)	7+-+7
0	0	0	0	0	0	0	PF (パンフォーカス)	テード
0	0	0	0	0	0	×	▲ (無限遠)	
0	0	0	0	0	0	×	MF (マニュアルフォーカス)	

○:設定·変更できます ×:設定·変更できません -:設定・変更が反映されません

機能		撮影モード	((2))	A	III X	WIDE		Ģ ∔i	HDR	Ρ
	カスタムイ	(メージ	×*19	×*19	×*19	×*19	×*19	×*19	0	0
		アスペクト比	0	0	0	0	×*20	0	0	0
	司伊凯中	記録形式	0	0	×*21	×*21	0	0	×*22	0
	記跡放足	JPEG記録サイズ	0	0	0	×*23	×*24	0	0	0
		JPEG画質	0	0	0	0	0	0	0	0
	ホワイトバ	バランス	0	×*29	0	0	0	0	0	0
		AFエリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	AF	AFモード	0	0	0	0	0	0	0	0
		AF補助光	0	0	0	0	0	0	0	0
	測光方式		0	×*34	0	0	0	0	0	0
	NDフィルター		0	0	0	0	0	0	0	0
	HDR撮影		I	Ι	I	I	I	I	_	_
/	D-Range	ハイライト補正	0	0	0	0	0	0	×*38	0
	設定	シャドー補正	0	0	0	0	0	0	×*39	0
	ディストーション補正		0	0	0	0	0	0	0	0
	Shake Red	duction	O*41	0	0	O*41	O*41	0	O*41	0
	顏検出		0	0	0	0	0	0	0	0
	まばたき梭	出	0	0	0	0	×	0	\times	0
	デジタルフ	ベーム	0	0	0	0	0	0	0	0
	クイックヒ	クイックビュー		0	0	0	0	0	0	0
	モードメモ	EU	0	0	0	0	0	0	0	Ó
	画面設定		0	0	0	0	0	0	0	0
	日付写し辺	<u>い</u> み	0	0	0	0	0	0	0	0

	$-\infty$		· · · ·		xx ·	66	// · WAL & &		2010
Τv	Av	Μ	Ĭ.	aţ‡	a r∺s		撮影モード	機能	
0	0	0	0	0	0	×*19	カスタムイメー	ジ	
0	0	0	0	0	0	×*20	アスペクト比		
0	0	0	0	I	-	×*21	記録形式	司得机中	
0	0	0	0	×*25	×*26	×*27	JPEG記録サイズ	記跡設た	
0	0	0	I	I	-	×*28	JPEG画質		
0	0	0	0	0	0	×*29	ホワイトバラン	ス	
0	0	0	O*30	O*30	O*30	×*31	AFエリア		
0	0	0	0	0	0	×*32	AFモード	AF	
0	0	0	0	0	0	×*33	AF補助光		
0	0	0	×*34	×*34	×*34	×*34	測光方式		
0	0	O*35	○*35	○*35	○*35	×*36	NDフィルター		
-	-	Ι	I	I		×*37	HDR撮影		
0	0	0	0	0	0	×*38	ハイライト補正	D-Range	~
0	0	0	0	0	0	×*39	シャドー補正	設定	
0	0	0	0	0	0	×*40	ディストーショ	ン補正	
0	0	0	I	I	-	×*42	Shake Reductio	n	
0	0	0	0	0	0	×*43	顏検出		
0	0	0	I	I	-	×*44	まばたき検出		
0	0	0	0	0	0	×*45	デジタルズーム		
0	0	0	I	I	-	×*46	クイックビュー		
0	0	Ó	O*47	○*47	O*47	×*48	モードメモリ		
0	0	0	0	0	0	×*49	画面設定		
0	0	Ó	_	_	-	×*50	日付写し込み		

○:設定・変更できます ×:設定・変更できません。 – ・設定・変更が反映されません。

- *19 「鮮やか」固定
- *20 4:3 固定
- *21 JPEG固定
- *22 RAWは選択不可
- *23 1枚撮影時 3M 固定(合成画像は 5M 固 定)
- *24 1枚撮影時 3M 固定
- *25 640 × 480、15fps固定 *26 640 × 480、120fps固定
- *27 最大サイズ 12M 固定 *28 Fine固定
- *29 AWB固定
- ■(3)(追尾)は選択不可 *30
- *31 5](オート)固定
- *32 「AF.S」固定
- *33「AF補助光」 🗹 (オン) 固定
- *34 🞯 (分割測光) 固定
- *35 「NDフィルター オート」は選択不可
- *36「NDフィルター オート」固定
- *37 「標準」固定

*40 「ディストーション補正」 @ (オン) 固定 *41 「デュアル」は選択不可 *42 「センサーシフト」固定 *43 「顔検出オン」固定 「まばたき検出」で(オン)固定 「デジタルズーム」で(オン)固定 「表示時間」は「1秒」、「拡大表示」は、 *44 *45 *46 🗹 (オン)、「ヒストグラム」と「白とび 警告」は□(オフ)固定 ストロボ/ドライブ/フォーカスモードとMF 位置は動画モード独自の設定をメモリー *47 *48 初期値設定 *49「グリッド表示」は (オフ)、「ヒスト グラム」と「白とび警告」は□(オフ)、 「電子水準器」は ▽(オン) 固定

*38「ハイライト補正 オフ」固定 *39「シャドー補正」 □(オフ)固定

*50「日付写し込み オフ」固定

メッセージー覧

カメラを使用中に、画像モニターに表示されるメッセージには以下の ようなものがあります。

メッセージ	内容
電池容量がなくなりま した	電池の残量がありません。電池を交換してください (p.37)。
カードの空き容量があ りません	SDメモリーカードに容量いっぱいの画像が保存されていて、これ以上画像を保存できません。 新しいSDメモリーカードをセットするか、不要な画像を 消去してください(p.42、p.129)。 撮影済み画像の記録サイズまたは画質を変えると、保存で きる可能性があります(p.138)。
カードが異常です	SDメモリーカードの異常で、撮影/再生ともにできません。パソコン上では画像を表示またはコピーできる場合もあります。
内蔵メモリーがフォー マットされていません	内蔵メモリーの内容が壊れています。内蔵メモリーを フォーマットしてください。
カードがフォーマット されていません	フォーマットされていないSDメモリーカードがセットさ れているか、パソコンなどでフォーマットされたSDメモ リーカードがセットされています(p.167)。
カードがロックされて います	SDメモリーカードがライトプロテクトされています (p.6)。
圧縮に失敗しました	画像の圧縮に失敗しました。画質/サイズを変えて、もう 一度撮影または保存してください。
動画記録を中止します	動画撮影時にカメラ内部の温度上昇が限界を超えた場合 に表示されます。
カメラが高温になりま した 電源をオフします	カメラが高温になったため、電源が切れました。しばらく してから電源を入れてください。
消去中です	画像を消去中に表示されます。
画像がありません	再生できる静止画、動画が1つもない場合に表示されます。
再生できません	このカメラでは再生できない画像を再生しようとしてい ます。他社のカメラやパソコンでは表示できる場合があり ます。
フォルダーが作成でき ません	最大のフォルダー番号(999)で最大のファイル番号(9999) が使用されているため、画像を保存できません。新しいSD メモリーカードをセットするか、SDメモリーカードを フォーマットしてください(p.167)。
プロテクトされていま す	プロテクトされた画像を消去しようとした場合に表示されます。

メッセージ	内容
記録中です	画像がまだ記録中に ▶ モードに切り替えたときや、プロ テクト/DPOF設定記録中に表示されます。画像または設 定の記録が終了したら表示が消えます。
処理中です	画像処理などに時間がかかり5秒以上スルー画像が表示で きないとき、またはSDメモリーカード/内蔵メモリーを フォーマット中に表示されます。
内蔵メモリーの空き容 量がありません	ファイルを保存するときに、内蔵メモリーの空き容量がな い場合に表示されます。
処理できる画像があり ません	画像が1つもない場合に表示されます。
この画像を処理できま せん	実行できないファイルの場合に表示されます。
カードが入っていませ ん	SDメモリーカードが挿入されていない場合に表示されま す。
カードの空き容量が足 りません 画像をコピーできませ ん	SDメモリーカード内にコピーに必要な空き容量が残って いない場合に表示されます。
内蔵メモリーの空き容 量が足りません 画像をコピーできませ ん	内蔵メモリー内にコピーに必要な空き容量が残っていな い場合に表示されます。
正しく処理できません でした	赤目補正処理に失敗した場合に表示されます。
ストロボをポップアッ プしてください	キレバーをスライドさせて、ストロボが使える状態にして ください。
電池容量がたりないた めピクセルマッピング を行えません	ピクセルマッピング時に電池容量が足りない場合に表示 されます。新品の電池に交換するか、ACアダプターキッ トK-AC130J(別売)を使用してください(p.40)。
このカードには対応し ていません Eye-Fiバージョンエラー です	Eye-Fiカードのバージョンが古いため、カメラが対応でき ない場合に表示されます(p.195)。

こんなときは?

現象	原因	対処方法
	バッテリーが入ってい ない	バッテリーが入っているか確認し、入っ ていなければ入れてください。
電源が入らない	バッテリーの残量がな い	充電されたバッテリーに交換するか、AC アダプターキットK-AC130J(別売)を 使用してください。
画像モニターに何	パソコンに接続してい る	パソコンに接続しているときは、画像モ ニターは常にオフになります。
も表示されない	テレビに接続している	テレビに接続しているときは、画像モニ ターは常にオフになります。
	画像モニターの明るさ が暗く設定されている	「▲設定3」メニューの「LCD設定」で明 るさを調整してください(p.181)。
画像モニターの表 示が見にくい	節電機能(エコモード) が働いている	節電機能が働いていると、一定時間操作 しないときに、画像モニターの明るさが 自動的に暗くなります。いずれかのボタ ン操作をすると、元の明るさに戻りま す。 「▲設定3」メニューの「エコモード」で 「オフ」に設定することで、節電機能が 働かないようにすることもできます (p.182)。
	ストロボが充電中	ストロボ充電中は撮影できません。充電 が完了すると撮影できます。
シャッターが切れ ない	SD メモリーカードま たは内蔵メモリーに空 き容量がない	空き容量のあるSDメモリーカードを セットするか、不要な画像を消去してく ださい (p.129)。
	書き込み中	書き込みが終了するまで待ってくださ い。
	夜景などの暗い場所で 撮るものまでの距離が 遠い	被写体までの距離が遠すぎると、撮影し た画像が暗くなります。ストロボの光が 届く範囲で撮影してください。

現象	原因	対処方法
	オートフォーカスの苦 手なものを撮影しよう としている	いったん撮りたいものと同じ距離にあ るピントの合いやすいものにピントを 固定(シャッターボタン半押し)したま ま、撮りたい構図に変えてシャッターを 切ります(p.54)。またはマニュアル フォーカスを使用してください(p.88)。
ピントが合わない	AFエリアに被写体が 入っていない	画像モニター中央のAFエリアに、ピント を合わせたいものを入れてください。撮 りたいものが、AFエリアにない場合 は、いったん撮りたいものをAFエリアに 入れて、ピントを固定(シャッターボタ ン半押し)したまま、撮りたい構図に変 えてシャッターを切ります。または、 (セレクト)モードで、ピントを合わせ たい被写体にAFエリアを設定して撮影 してください(p.89)。
	ストロボがポップアッ プされていない	ストロボをポップアップしてください。
	ストロボの発光方法が ⑤になっている	↓ ^A (オート) または ↓ (強制発光) に設 定してください (p.82)。
ストロボが発光し ない	ドライブモードが 」 / 』 / 』 / 』 / 、 、 、 場、 、 場、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	これらのモードではストロボは発光し ません。
ストロボモードが 設定できない	ストロボがポップアッ プされていない	ストロボをポップアップしてください。



静電気などの影響により、まれにカメラが正しい動作をしなくなること があります。このような場合には、電池を入れ直してみてください。入 れ直してから再度、電源を入れてカメラが正常に動作すれば故障ではあ りませんので、そのままお使いいただけます。

初期設定一覧

工場出荷時の設定を表に示します。

各メニュー項目の中で、初期設定値があるものの表示内容を示します。

ラストメモリ設定

- する :カメラの電源を切っても現在の設定(ラストメモリ)が保 存される
- しない:カメラの電源を切ると初期設定に戻る
- ※ :する/しないは「モードメモリ」(p.118)の設定による… :該当なし

リセット設定

●「□撮影」メニュー項目

名称		初期設定	ラストメ モリ設定	リセット 設定	参照
カスタム・	イメージ	鮮やか	する	する	p.106
シーンモー	-	風 (ポートレート)	する	する	p.67
	アスペクト比	4:3	する	する	p.96
司经现实	記録形式	JPEG	する	する	p.96
記述放任	JPEG記録サイズ	12m (4000×3000)	する	する	p.97
	JPEG画質	Fine	する	する	p.98
ホワイト	バランス	AWB (オート)	*	する	p.98
	AFエリア	[] (オート)	する	する	p.89
AF	AFモード	AF.S (シングル)	する	する	p.90
	AF補助光		する	する	p.90
測光方式		🞯 (分割測光)	*	する	p.95
NDフィル	ター	オート	する	する	p.102
HDR撮影		標準	する	する	p.101
D-Range	ハイライト補正	オート	する	する	n 101
設定	シャドー補正	□(オフ)	する	する	p.101
ディストーション補正			する	する	p.103
Shake Reduction		センサーシフト	する	する	p.103
顏検出		オン	*	する	p.104
まばたき	倹 出	☞ (オン)	する	する	p.105

名称		初期設定	ラストメ モリ設定	リセット 設定	参照
デジタルス	ズーム		*	する	p.60
	表示時間	1秒	する	する	
クイック	拡大表示		する	する	n 106
ビュー	ヒストグラム	□ (オフ)	する	する	p.100
	白とび警告	□(オフ)	する	する	
	ストロボモード		する	する	
	ドライブモード		する	する	
	フォーカスモード	☞ (オン)	する	する	
	ズーム位置	□ (オフ)	する	する	
	MF位置	☞ (オン)	する	する	
モードメ	ホワイトバランス		する	する	n 118
モリ	感度		する	する	p.110
	測光方式		する	する	
	顏検出	☞ (オン)	する	する	
	デジタルズーム	☞ (オン)	する	する	
	DISPLAY		する	する	
	ファイルNo.	☞ (オン)	する	する	
	グリッド表示	(オフ)	する	する	
雨云乳白	ヒストグラム	□(オフ)	する	する	n 183
凹凹放化	白とび警告	□ (オフ)	する	する	p. 100
	電子水準器	☞ (オン)	する	する	
日付写し	Δみ	オフ	する	する	p.108

*1 モードダイヤルで SCN を選択している場合、「カスタムイメージ」の代わり に表示される

●「曾動画」メニュー項目

名称	初期設定	ラストメ モリ設定	リセット 設定	参照
カスタムイメージ	鮮やか	する	する	p.115
記録サイズ	<u>1926</u> (1920×1080 ⋅ 30fps)	する	する	p.115
Movie SR	☞ (オン)	する	する	p.116
風切音低減	□(オフ)	する	する	p.116
撮影中のAF	□ (オフ)	する	する	p.116
撮影中の光学ズーム	□ (オフ)	する	する	p.117

●「◀設定」メニュー項目

	名称	初期設定	ラストメ モリ設定	リセット 設定	参照		
USER E-	ード登録	キャンセル	する	する	p.73		
4 4 7 7 6	操作音量	3	する	する			
	再生音量	3	する	する			
	起動音	オフ	する	する	p.168		
リリント	シャッター音	1	する	する			
	操作音	1	する	する			
	セルフタイマー音	1	する	する			
	表示スタイル(日付)	初期設定による	する	しない			
口吐扒中	表示スタイル(時刻)	24h	する	しない	n 160		
口时改足	日付	2013/1/1	する	しない	p.109		
	時刻	初期設定による	する	しない			
	時刻切替	✿(現在地)	する	する			
	目的地(都市)	初期設定による	する	しない			
リールド	目的地(夏時間)	オフ	する	しない	p.170		
タイム	現在地(都市)	初期設定による	する	しない			
	現在地(夏時間)	オフ	する	しない			
文字サイ.	ズ	標準	する	する	p.172		
Language	/言語	初期設定による	する	しない	p.173		
フォルダ	一名	日付	する	する	p.174		
ファイル	名	IMGP	する	する	p.174		
莱佐接德	著作権情報の添付	□ (オフ)	する	しない			
者『F惟頂 報	撮影者名	空欄	する	しない	p.177		
τix	著作権者名	空欄	する	しない			
USB接続		MSC	する	する	p.189		
ビデオ出	л	初期設定による	する	しない	p.179		
HDMI出ナ]	オート	する	する	p.180		
Eye-Fi		□ (オフ)	する	する	p.180		
	明るさ	±0	する	する			
LCD設定	色調整(ブルー/ アンバー)	±0	する	する	p.181		
	色調整(グリーン/ マゼンタ)	±0	する	する			
エコモー	۲	5秒	する	する	p.182		
オートパ	ワーオフ	3分	する	する	p.182		
リセット		キャンセル		_	p.187		
全画像消	去	キャンセル	_	_	p.130		

名称		初期設定	ラストメ モリ設定	リセット 設定	参照
ピクセルマッピング		キャンセル	—	-	p.185
ダイレク ト起動	再生起動	☞ (オン)	する	する	p.186
	スタイルウォッチ	☞ (オン)	する	する	p.187
フォーマット		キャンセル	—		p.167

●「Cカスタム」ファンクションメニュー項目

名称	初期設定	ラストメ モリ設定	リセット 設定	参照
1. AFロック時のAE-L	1オン	する	しない ^{*1}	p.94
2. ブラケット撮影順	1 0-+	する	しない ^{*1}	p.85
3. ストロボ発光時のWB	1 AWB	する	しない ^{*1}	p.99
4. 白熱灯下のAWB	1 弱	する	しない ^{*1}	p.99
5. リモコン時のAF	1オン	する	しない ^{*1}	p.87
6. メニュー選択の記憶	1記憶しない	する	しない ^{*1}	p.184
7. 電子シャッターの併用	1 禁止	する	しない ^{*1}	-
8. ISO感度ステップ	1 1EV	する	しない ^{*1}	p.92
9. 回転情報の記録	1オン	する	しない ^{*1}	p.127
10. 画像の自動回転	1オン	する	しない ^{*1}	p.127
カスタムのリセット	キャンセル	_	_	-

*1「カスタムのリセット」(p.65) によってリセットするため、「▲設定3」メ ニューの「リセット」ではリセットされない

● 再生モードパレット項目

名称		初期設定	ラストメ モリ設定	リセット 設定	参照
スライド ショウ	表示間隔	3秒	する	する	p.125
	画面効果	ワイプ	する	する	
	効果音	☞ (オン)	する	する	
画像回転		カメラの傾きによる	—		p.127
のび~るフィルター		中心、8%	しない	しない	p.140
小顔フィルク	Ф—	_	しない	しない	p.141
	記録サイズ	зм (2048×1536)	する	する	p.147
7 = 23 -	配置		する	する	p.148
コラーシュ	背景	白	する	する	p.148
	画像選択	—	—	_	p.149
	フィルターをかけ る	白黒	しない	-	p.144
テンダル フィルター	フィルターを再現 する	_	—	_	p.145
	元画像を探す	_	—	—	p.146
HDRフィル		_	_		p.146
オリジナル	フレーム	—	—	_	p.150
	1画像展開	_	—	—	p.154
KAW 展開	一括展開	_	—	—	p.156
動画編集		_	_		p.157
赤目補正		_	—	—	p.150
リサイブ	JPEG記録サイズ	元画像による	—	—	p.138
9912	JPEG画質	元画像による	_		
トリミング		元画像による	—	_	p.139
画像コピー		内蔵メモリー → SDカード	—	_	p.160
プロテクト	1画像	画像による	—		p.131
	全画像	画像による	—	—	
	1画像	枚数:0枚	—	—	p.162
DPUF設定	全画像	日付:□(オフ)	—	—	
起動画面設定		デフォルト起動画面	する	する	p.184
● キーによる操作

名称		機能	初期設定	ラストメ モリ設定	リセット 設定	参照
・ ボタン		動作モード	▶モード —		—	_
動画ボタン	/	動作モード	動画撮影を開始	_	_	p.113
ズームレノ	К —	ズーム位置	広角端	*	しない	p.58
		ドライブモード	口(標準)	*	する	p.84
トウナ	•	ストロボモード	な (オート)	*	する	p.82
174-	•	フォーカスモード	AF (標準)	*	する	p.87
	▼	ISO感度選択	AUTO (オート)	*	する	p.92
MENUボタン		メニュー表示	┗1メニュー	—	_	p.31
OK ボタン		画像モニター表示 切替	標準	*	する	p.20
INFO ボタン		コントロールパネル 表示	_	-	-	p.22
◉/面ボタン		現在の設定項目の リセット/画像消去	_	_	_	_
AV/AE-L ボタン		AEロック	_	_	_	p.94

都市名一覧

都市名:「初期設定」(p.46) やワールドタイム (p.170) で設定できる都市 ビデオ出力方式:「初期設定」で設定した都市のビデオ出力方式

地域	都市名	ビデオ 出力方式	地域	都市名	ビデオ 出力方式
北米	ホノルル	NTSC	アフリカ・	イスタンブール	PAL
	アンカレジ	NTSC	西アジア	カイロ	PAL
	バンクーバー	NTSC		エルサレム	PAL
	サンフランシスコ	NTSC		ナイロビ	PAL
	ロサンゼルス	NTSC		ジッダ	PAL
	カルガリー	NTSC		テヘラン	PAL
	デンバー	NTSC		ドバイ	PAL
	シカゴ	NTSC		カラチ	PAL
	マイアミ	NTSC		カブール	PAL
	トロント	NTSC		マーレ	PAL
	ニューヨーク	NTSC		デリー	PAL
	ハリファックス	NTSC		コロンボ	PAL
中南米	メキシコシティ	NTSC		カトマンズ	PAL
	リマ	NTSC		ダッカ	PAL
	サンティアゴ	NTSC	東アジア	ヤンゴン	NTSC
	カラカス	NTSC		バンコク	PAL
	ブエノスアイレス	PAL		クアラルンプール	PAL
	サンパウロ	PAL		ビエンチャン	PAL
	リオデジャネイロ	NTSC		シンガポール	PAL
ヨーロッパ	リスボン	PAL		プノンペン	PAL
	マドリード	PAL		ホーチミン	PAL
	ロンドン	PAL		ジャカルタ	PAL
	パリ	PAL		香港	PAL
	アムステルダム	PAL		北京	PAL
	ミラノ	PAL		上海	PAL
	ローマ	PAL		マニラ	NTSC
	コペンハーゲン	PAL		台北	NTSC
	ベルリン	PAL		ソウル	NTSC
	プラハ	PAL		東京	NTSC
	ストックホルム	PAL		グアム	NTSC
	ブダペスト	PAL	オセアニア	パース	PAL
	ワルシャワ	PAL		アデレード	PAL
	アテネ	PAL		シドニー	PAL
	ヘルシンキ	PAL		ヌーメア	PAL
	モスクワ	PAL		ウェリントン	PAL
アフリカ・	ダカール	PAL		オークランド	PAL
西アジア	アルジェ	PAL		パゴパゴ	NTSC
	ヨハネスブルグ	PAL	n	•	•

型式	ズームレンズ内蔵全自動コンパクトタイプデジタルスチルカメラ				
有効画素数	約1200万画素				
撮像素子	1/1.7型CMOS				
記録画素数	静止画 JPEG: 12m (4000×3000)、 9m (43) (3968×2232), 100 (49) (3984×2656), 9m (42992×2992), 7m (3072×2048), 5m (4292×2992), 5m (4292×2092), 5m (4204×2304), 5m (4292×1944), 5m (4204×2304), 5m (41) (41) (41) (41) (41) (41) (41) (41)				
	※ デジタルワイドモード時は「5M 固定(合成後) ただし1枚撮影時(合成前)は(3M 固定 ※パノラマモード撮影時は1枚(3M 固定				
	動画 <u>IC m</u> (1920×1080、30tps)、 <u>HD</u> m (1280×720、60tps)、 <u>HD</u> m (1280×720、30fps)				
感度	感度ステップが1EVの場合 オート、マニュアル(ISO 100, 200, 400, 800, 1600, 3200, 6400, 12800) 感度ステップが1/3EVの場合 オート、マニュアル(100, 125, 160, 200, 250, 320, 400, 500, 640, 800, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3200, 4000, 5000, 6400, 8000, 10000, 12800) ※高感度モード時はAUTO(100~12800) に固定				
記録方式	静止画 RAW (DNG)、JPEG (Exif2.3準拠)、DCF2.0準拠、DPOF対応、 PRINT Image Matching III対応				
	動画 MPEG-4 AVC/H.264、約60fps/約30fps (フレーム/秒)、PCM 方式・ステレオ音声付、Movie SR(動画手ぶれ補正)				
画質	静止画 JPEG:Fine、Normal RAW:DNG				
	動画 Fine固定 ※変更不可				
記録媒体	内蔵メモリー(約75.3MB)、SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、 SDXCカード ※UHS-1対応				

撮影枚数と時間

静止画	(2GBのSDメモリ	ーカー	ドを使用し	た場合)
-----	------------	-----	-------	------

マフペクトド	JPEG記録サイズ	JPEC	PA\A/*1	
JANJFL	(画素数)	Fine	Normal	IX-IV
	12m (4000×3000)	326枚	653枚	82枚
4:3	⁷ M (3072×2304)	516枚	1205枚	-
	5m (2592×1944)	778枚	1499枚	-
	<u>зм</u> (2048×1536)	1205枚	2364枚	

217

ファペクトル	JPEG記録サイズ	JPEG画質		PA\N/*1
ノスペシトに	(画素数)	Fine	Normal	1.4.00
	<u>эм</u> (3968×2232)	435枚	865枚	88枚
16:9	<u>5m</u> (3072×1728)	653枚	1499枚	-
10.0	<u>зм</u> (2560×1440)	975枚	1921枚	-
	<u>2m</u> [™] (2048×1152)	1921枚	3235枚	_
	10м ⁶⁸² (3984×2656)	391枚	778枚	86枚
3:2	<u>бм</u>	653枚	1205枚	-
	4m ⁶⁸² (2592×1728)	778枚	1921枚	_
	2m ²² (2016×1344)	1205枚	3235枚	-
	9м ^ш (2992×2992)	435枚	865枚	88枚
1:1	5m ^{EEI} (2304×2304)	653枚	1499枚	_
	зм ^щ (1936×1936)	975枚	1921枚	-
	2m ¹⁶⁰ (1536×1536)	1921枚	3235枚	-

静止画(内蔵メモリーの場合)

フフペクトル	JPEG記録サイズ	JPEG	PA\W*1	
JANJFIL	(画素数)	Fine	Normal	
	<u>12м</u> (4000×3000)	12枚	25枚	3枚
4:3	7m (3072×2304)	20枚	47枚	-
	5м (2592×1944)	30枚	58枚	_
	зм (2048×1536)	47枚	94枚	—
	<u>9m</u> [188] (3968×2232)	17枚	34枚	3枚
16:9	<u>5m</u> (3072×1728)	25枚	58枚	_
	<u>3m</u> (2560×1440)	38枚	76枚	_
	<u>2м</u> (2048×1152)	76枚	126枚	—
	10м ⁶⁹² (3984×2656)	15枚	30枚	3枚
3:2	<u>6 м⁶²²</u> (3072×2048)	25枚	47枚	_
	4 M ⁶⁹² (2592×1728)	30枚	76枚	_
	2m ⁶⁹² (2016×1344)	47枚	126枚	—
	9m ^{EEI} (2992×2992)	17枚	34枚	3枚
1:1	5m ¹⁶¹ (2304×2304)	25枚	58枚	_
	зм ^щ (1936×1936)	38枚	76枚	_
	2m ^{EEI} (1536×1536)	76枚	126枚	_

・撮影枚数は目安です。SDメモリーカードや被写体により実際の撮影枚数は異なることがあります。

*1 RAWの撮影枚数はJPEG画質がFineの場合の数値です。

動画

티역부 / ブ	ませくてい	2GB	
記録リイス	内蔵メモリー	SDメモリーカード	
<u> 新造</u> (1920×1080・30fps)	27秒	16分20秒	
<u>HD</u> _Ⅲ (1280×720 · 60fps)	36秒	16分29秒	
<u>HD</u> _፼ (1280×720 ⋅ 30fps)	44秒	25分58秒	

この数値は、当社で設定した標準撮影条件によるもので、被写体、撮影状況、使用するSDメモリーカードなどにより変わります。

[・]動画で連続記録できるのは1回につき25分までです。

ホワイトバランス	オートホワイトバ 昼白色/白色/電 ランス	ジランス、太陽光、日陰、曇天、蛍光灯(昼光色/ 球色)、白熱灯、ストロボ、マニュアルホワイトバ
レンズ	焦点距離	6.0~24.0mm (焦点距離の35mm換算値:約28~112mm相当)
	F値	F1.8 (W) ~ F2.5 (T)
	レンズ構成	8群11枚(非球面レンズ4枚使用)
	ズーム方式	電動式
光学ズーム	4倍	
インテリジェント ズーム	7函:約5.2倍、3	▲:約7.8倍
デジタルズーム	最大約7.8倍(光学	▶4倍ズームと合わせたズーム倍率)
手ぶれ軽減	静止画	センサーシフト方式(SR : Shake Reduction)、 デュアル(SR × 電子式併用)、高感度によるぶ れ軽減(高感度モード)
	動画	電子式(Movie SR)
画像モニター	3.0型 約92万ドッ 度、下方約45度可	ットLCD、ARコート、上下チルト機構付(上方約90 「動)
再生機能	 1コマ、4画面、9 可)、フォルダー表 ド表示、選択消去、 小顔フィルター、 ター、オリジナル 存、分割、タイト 画像コピー、プロ 	画面、25画面、拡大(最大10倍まで、スクロール 気示、カレンダー表示、ヒストグラム表示、グリッ 、スライドショウ、画像回転、のび~るフィルター、 コラージュ、デジタルフィルター、HDRフィル フレーム、RAW展開、動画再生・編集(静止画保 ル画像追加)、赤目補正、リサイズ、トリミング、 テクト、DPOF、起動画面設定
フォーカスモード	オートフォーカス マニュアルフォー	、マクロ、1cmマクロ、パンフォーカス、無限遠、 カス、AFエリア選択(25点より選択可)
フォーカス	方式	撮像素子によるTTLコントラスト検出方式 (オート、スポット、追尾、セレクト切替可)
	フォーカス範囲 フォーカス ロック	 標準 : 0.4m~∞ (全域) マクロ : 0.05m~0.5m (広角側) 0.2m~0.5m (望遠側) 1cmマクロ: 0.01m~0.2m ※ 遠景、マニュアルフォーカス切替可、AFエリ ア選択 ※ 顔検出中のみ、顔検出AF可 シャッターボタン半押しによる

露出制御	測光方式	撮像素子によるTTL 測光(分割、中央重点、ス ポット)
	露出補正	±2EV(1/3EVステップで設定可能)
顔検出	最大32人まで検出 個)、スマイルキャ ※顔検出中のみ、	可(画像モニターに表示される顔検出枠は最大31 ▽ッチ、まばたき検出 顔検出AE可
ペット検出	登録数:3、検出数	牧:1
撮影モード	モードダイヤル: ログラム、シャッ シーンモードパレ , 、マナー石を景、 マナー撮影、 動画モードパレッ	オートピクチャー、シーン、HDR、ユーザー、プ ター優先、絞り優先、マニュアル、動画、グリーン ット:ボートレート、花、風景、青空、夕焼け、夜 夜景ポートレート、キャンドルライト、花火、料 ー、ペット、キッズ、スポーツ、高感度、テキス デジタルワイド、パノラマ、ミニチュア ト:動画、早送り動画、ハイスピードカメラ
デジタルフィルター	白黒、セピア、ト・ ラー (赤、桃、紫、 緑、桃、赤)、ハイ 音符、雪)、ソフト ネガボジ反転	イカメラ、レトロ(元画像、ブルー、アンバー)、カ 青、緑、黄)、色抽出(赤、緑、青)、色強調(青、 コントラスト、トゥインクル(クロス、ハート、星、 、フィッシュアイ、明るさ、ミニチュア、スリム、
動画	連続録画時間	動画/早送り動画:約1秒~25分(ただし内蔵メ モリー/SDメモリーカードの容量いっぱいま で) ハイスピードカメラ:約1秒~15秒(ただし内蔵 メモリー/SDメモリーカードの容量いっぱいま で)
	動画撮影中の 静止画保存機能	動画撮影開始時のフォーカス固定、記録サイズ [IGM] 固定、1回の動画撮影で静止画3枚まで、動画 記録サイズにより画角が変わる場合があります。 撮影条件により画像がひずむ場合があります。
シャッタースピード	1/2000~1/4秒、量 子シャッターの併	最長30秒(シャッター優先、マニュアルモード、電 用許可で1/8000~30秒)、バルブ
内蔵ストロボ	発光モード 	自動発光、発光禁止、強制発光、自動発光+赤目 軽減、強制発光+赤目軽減、スローシンクロ、ス ローシンクロ+赤目軽減、後幕シンクロ
	調光範囲	広角時 約0.4~12.2m (感度オートの条件において) 望遠時 約0.4~8.8m (感度オートの条件において)
ドライブモード	1コマ撮影、連続批 後、約2秒後、3枚 ト撮影	最影、連写(L/H)、セルフタイマー撮影(約10秒)、リモコン撮影(即、約3秒後)、オートブラケッ ────────────────────────
セルフタイマー	電子制御式、制御	時間:約10秒、約2秒
時計機能	ワールドタイム	世界75都市に対応(28タイムゾーン)
電源	専用リチウムイオ	ンバッテリー D-LI106、ACアダプターキット(別

電池寿命	撮影可能枚数	 約290枚 ※撮影可能枚数はCIPA規格に準じた測定条件に よる目安であり、使用条件により変わります。 (CIPA規格抜粋:画像モニター ON、ストロボ 使用率50%、23℃)
	再生時間	約280分 ※時間は当社の測定条件による目安であり、使用 条件により変わります。
	動画撮影時間	約90分 ※時間は当社の測定条件による目安であり、使用 条件により変わります。
外部インターフェイス	USB 2.0 (ハイス (Micro))	ピード対応)/PC/AV端子/HDMI端子(タイプD
ビデオ出力方式	NTSC/PAL (E.	ノラル音)
外形•寸法	約122.5 (幅)×60)(高)×51.5(厚)mm(操作部材、突起部を除く)
質量(重さ)	本体約363g(電池 約391g(電池、S	a、SDメモリーカード含まず) Dメモリーカード含む)
主な付属品	専用バッテリー、 フトウェア(CD-F 簡単ガイド、保証	バッテリー充電器、ACコード、USBケーブル、ソ ROM)、レンズキャップ、ストラップ、使用説明書、 書

索引

記号

$\Delta \pm - \kappa$	19
	10
	13
	17, 19 ギムン
	小ツノ 17 18
	17, 10
▼ (ストロホホツノナツ))
	10, 83
「□」」「□」」 「□ 」 「□ 」 」 」 「□ 」 」 」 」 □ 」	61, 210
	64, 211
「、設定」メニュー	165, 212
$\begin{bmatrix} \mathbf{C} & \mathbf{J} & \mathbf{J} & \mathbf{J} \\ \mathbf{C} & \mathbf{J} & \mathbf{J} \\ \mathbf{C} & \mathbf{C} \\ \mathbf{C} \\ \mathbf{C} & \mathbf{C} \\ \mathbf{C} & \mathbf{C} \\ \mathbf{C} & \mathbf{C} \\ \mathbf{C} & \mathbf{C} $	/ヨン
メニュー	65, 213
@消去	120, 129
T望遠	58
₩広角	58
Q 拡大表示	128
■マルチ画面表示	122
❑連続撮影	85
믝믴連写	85
じ 心 い セルフタイマー	85
■ 3s ■ リモコン	85
彎オートブラケット	85
麗オートピクチャー	52
風ポートレート	67
	67
▲風景	
	67
	67
	67
- C. A. H.	
図	
****ンドルライト	

₩花火	67
¶¶料理	67
�サーフ&スノー	67
⁰≌ペット	79
ミ キッズ	67
▲スポーツ	67
(▲)高感度	67
◎テキスト	67
■×マナー撮影	67
₩□ デジタルワイド	76
▶■■パノラマ	78
₲ ミニチュア	68
●(グリーン)モード	56

数字

0sリモコン i	85
ICIIIマクロ 硫	
1画像消云	129
2sセルフタイマー .	85

Α

ACアダプター	40
AEロック	94
AF	89
AF エリア	89
AF補助光	90
AF モード	90
AFロック時のAE-L	94
AUTO PICT モード	66
AV/AE-L ボタン	17
AV機器と接続する	134
AVケーブル	135
Av (絞り優先) モード	70
AWB (ホワイトバランス)	98

B Bulb (バルブ)71

D	
DCカプラー引出しロカバー	40
DPOF	. 162
D-Range設定	.101

Ε

Eye-Fi			195
--------	--	--	-----

Η

HDMI出力	180
HDMI端子	
HDR 撮影	101
HDRフィルター	146
HDR モード	72

I

INFO ボタン	17, 22
ISO感度	92
ISO感度ステップ	92

J

JPEG	96
JPEG画質	98
JPEG記録サイズ	97

L

Language/言語	173
LCD設定	

Μ

/17, 19
) 画手ぶれ補正)
116
189

M (マニュアル) モード70
N NDフィルター 102 NTSC 179
O OK ボタン19
P PAL179 PC/AV端子135 PTP189 P (プログラム)モード70
R RAW
S SCN (シーン) モード67 SDメモリーカード42 Shake Reduction103 SILKYPIX Developer Studio 192
T Tv(シャッター優先)モード 70
U USB接続
W Windows 188

7

付録

223

あ行

青空モード 赤目軽減 [®] [®] 赤目補正 明るさフィルター 明るさを補正	67 82 .150 .143 .101
鮮やか(カスタムイメーシ)	107
	107
アスペクト比	96
後幕シンクロ 😽	82
アフターサービス	229
色強調フィルター	.143
色抽出フィルター	.143
色調整	.181
インストール	192
インテリジェントズーム	59
映像入力端子	135
笑顔検出56.	104
エコモード	182
エラーメッヤージ	206
オート 4 ^A	82
オートパワーオフ	182
オートピクチャーモード	102
	66
	20
オートブォーカス	09 85
	00
オート+小日 ♥◎	104
オーノーノク 回回	104
	109
オリンテルノレーム	150
首重を変更121,	168
か行	

カードチェック	45
回転情報の記録	
回転表示	127

ガイド表示	Э, 66
顏検出	. 104
顏検出機能	56
拡大表示	. 106
拡大表示Q	. 128
カスタムイメージ 106,	115
カスタムのリセット	65
カスタムファンクション	
メニュー65,	, 213
風切音低減	. 116
画像回転	. 127
画像コピー	. 160
画像仕上	. 106
画像の自動回転	. 127
画像モニター	20
画素数	97
画面効果	. 126
画面設定	. 183
カラーフィルター	. 143
カレンダー表示	. 123
簡単撮影モード	56
感度	92
キッズモード	67
起動画面	. 184
キャンドルライトモード	67
強制発光 ♀	82
強制+赤目 \$ ◎	82
記録形式	96
記録サイズ 97,	, 115
記録設定	95
クイックビュー55,	, 106
グリーンボタン	18
グリーンモード●	56
グリッド表示	. 183
黒つぶれ	. 101
蛍光灯(ホワイトバランス)	98

言語設定	46, 173
現在地	170
高画質モード HDR	72
高感度モード	67
小顔フィルター	141
コピー	160
コラージュ	147
コントラスト(カスタム	
イメージ)	
コントロールパネルの操	作33

さ行

サーフ&スノーモード	67
サイズ変更(リサイズ)	138
再生	120
再生起動	186
再生起動モード	45
再生時間	39
再生ボタン 🖻	120
再生モードパレット124	, 214
彩度(カスタムイメージ)	107
サウンドの設定	168
撮影中の AF	116
撮影可能枚数	217
撮影情報	20
撮影中の光学ズーム	117
撮影メニュー	210
撮影モード	66
撮影モードパレット	68
三脚ネジ穴	15
シーンモードSCN	67
色相(カスタムイメージ)…	107
時刻写し込み	108
時刻切替	172
システム環境	188
絞り優先モード Av	70

シャープネス(カス	スタム
イメージ)	107
シャッターボタン	16. 18. 54
シャッター優先モ-	ード Tv 70
シャドー補正	101
→ (▲▼▲)	·····································
	17 18 30 61
	. 17, 10, 50, 01
九竜	
仕禄	
消去 🗑	120, 129
情報表示	
初期化	167
初期設定	
白黒フィルター	143
白とび	101
白とび警告	106. 183
ズーム TW	
ズームレバー	
フタイルウォッチ	187
フトラップ	
ストノノノ	
ストロ小兀重佣止	
ストロホ充元時のV	VB
ストロホホッノア	ップレバー
ストロボ(ホワイ)	トバランス)
ストロボモード …	82
ストロボ (内蔵)	83
スポーツモード …	67
スポット測光	
スライドショウ	125
スリムフィルター	143
スローシンクロ ^{SLOW}	ואס פס
	0∠ ⊭⊟ ^{slow} oo
スローンノクロキル 熟止面もレブ但左	小日 ⊚⊋ 82
前正回とし(保存	(劉囲)157
設定メニュー	

設定を保存	118
設定をリセット	187
節電機能	182
セピアフィルター	143
セルフタイマー じぬい	85
セルフタイマーランプ	15
セレクト	91
全押し(シャッターボタン)	54
全画像消去	131
選択消去	130
測光方式	95
ソフトウェア	192
ソフトフィルター	143

た行

タイトル画像追加	159
ダイナミックレンジ	93
太陽光(ホワイトバラン	レス)…98
ダイレクトキーの操作	30
ダイレクト起動	
縦横比	95
中央重点測光	95
調色	
著作権情報	177
追尾	56, 89
ディストーション補正	
テキストモード	67
デジタルズーム	59, 60
デジタルフィルター	143
デジタルワイドモード	76
手ぶれ補正	103, 116
手持ち夜景モード	67
テレビと接続する	134
電源	36
電源ボタン	16, 18, 44
電子音	

電子シャッターの併用	65
電子水準器	29, 183
電子ダイヤル	. 16, 18
転送モード	166
トイカメラフィルター	143
トゥインクルフィルター	143
動画	112
動画 🕿	110
動画タイトル	159
動画編集	157
動画ボタン	16, 113
動画メニュー	211
動画モードパレット	110
動画を再生	121
動画を撮影	112
動画を分割	158
都市名	216
ドライブモード	. 84, 61
トリミング	139
曇天(ホワイトバランス)	98

な行

内蔵メモリー	160
ナチュラル(カスタムイメー	ジ)
	107
夏時間	171
日時設定49,	169
ネガポジ反転フィルター	143
のび~るフィルター	140

は行

ハイコントラストフィルター	
	143
ハイスピードカメラ幅	110
ハイライト補正	101
白熱灯下のAWB	99
白熱灯(ホワイトバランス).	98

発光禁止 🕄	82
バッテリーの残量表示	39
バッテリーを充電	36
バッテリーをセット	37
バッテリー/カードカバー.	37
バッテリー/カードカバー	
ロックレバー	37
花火モード	67
花モード	67
パノラマモード	78
早送り動画🤻	110
バルブ撮影	71
半押し(シャッターボタン)	54
パンフォーカス PF	87
日陰(ホワイトバランス)	98
ピクセルマッピング	185
ピクチャートランスファー	
プロトコル	189
ヒストグラム27, 106	, 183
日付写し込み	108
日付ごとに保存	174
ビデオ出力方式179	, 216
ビデオ端子	135
表示言語46	, 173
標凖AF	87
ヒントの合わせ方	87
ノアイルNo	118
ノアイル名	1/6
ノイツンユアイノイルター . ファルター加工	143
ノイルダー加上 回見エード	143
風京モート	07
	8/
	167
フォーマット	107
フォルダー衣小	174
ノオルツーム	174

複数の画像を表示	122
ブラケット撮影順	85
プリントサービス店	162
フレームレート	115
プログラムモード P	
プロテクト ೦	131
分割測光	
ペットモード	
ポートレートモード	67
保護	131
ホワイトバランス	
ま行	

マクロ♥	87
マスストレージクラス	189
マナー撮影モード	67
マニュアルフォーカス MF	88
マニュアルホワイトバランス	
	99
マニュアルモードM	70
まばたき検出55,	105
マルチ画面表示	122
ミニチュアフィルター	143
ミニチュアモード	68
雅(カスタムイメージ)	107
無限遠▲	87
無線LAN	195
メニュー選択の記憶	184
メニューの操作	31
メニューの文字サイズ	172
メモリーカード	42
モードダイヤル	66
モードメモリ	118
目的地	170
文字サイズ	172

モノ	ト·	ーン	(カスタ	'ムイメージ)	
					17

や行

夜景ポートレートモード	67
夜景モード	67
ユーザー登録	.194
ユーザーモードUSER	73
夕焼けモード	67

ら行

リサイズ	.138
リセット	. 187
リバーサルフィルム(カスタ	Д
イメージ)	. 107
リモコン 🌆 🛔	85
リモコン時の AF	87
リモコン受光部	15
料理モード	67
レトロフィルター	.143
連写믳믭	85
レンズ	15
レンズキャップ	35
連続再生	.125
連続撮影	85
露出	92
露出補正ダイヤル16	5, 93
露出モード	69
露出を補正	93

わ行

ワールドタイム170	
歪曲収差103	

アフターサービスについて

- 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、 お買い上げ店か使用説明書に記載されている当社サービス窓口にお申し出く ださい。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。 修理品ご送付の際は、輸送中の衝撃に耐えられるようしっかり梱包し、発送 や受け取りの記録が残る宅配便などをご利用ください。不良見本のサンプル や故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。
- 2. 保証期間中[ご購入後1年間]は、保証書[販売店印および購入年月日が記入されているもの]をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にてご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。
- 3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
 - 使用上の誤り(使用説明書記載以外の誤操作等)により生じた故障。
 - 当社の指定するサービス機関以外で行われた修理・改造・分解による故障。
 - 火災・天災・地変等による故障。
 - 保管上の不備(高温多湿の場所、防虫剤や有害薬品のある場所での保管等) や手入れの不備(本体内部に砂・ホコリ・液体かぶり等)による故障。
 - 修理ご依頼の際に保証書のご提示、添付がない場合。
 - お買い上げ販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂 正された場合。
- 4. 保証期間以降の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃 諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。
- 5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に保有しております。従って本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。
- 6. 海外でご使用になる場合は、国際保証書をお持ちください。国際保証書は、お持ちの保証書と交換に発行いたしますので、使用説明書記載のお客様窓口にご持参またはご送付ください。[保証期間中のみ有効]
- 7. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

7

ペンタックスリコーホームページアドレス

http://www.pentax.jp/

年末年始およびビル点検日

本製品に関するお問い合わせ

http://www.pentax.jp/japan/support/

<お客様相談センター> 営業時間 9:00~18:00(平日) ナビダイヤル 0570-001313 10:00~17:00(+・日・祝日)

ナビダイヤル 0570-001313 [市内通話料金でご利用いただけます] 休業日 ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、

TEL 03-4330-0008(代)にお掛け下さい。

修理受付

<修理受付センター/ピックアップリペアサービス申し込み> ナビダイヤル 0570-001301 営業時間 9:00~17:00 [市内通話料金でご利用いただけます] (土・日・祝日および弊社休業日を除く) ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、 TEL 03-4330-0014 (代) におかけください。

※ ビックアップリペアサービスは、全国(離島など一部地域を除く)どこでも修理品梱包資材のお届け・ 修理品の引き取りから、修理完成品のお届けまでを一括して提供するサービスです(全国均一料金)。 インターネットからもお申し込みいただけます。 http://www.pentax.jp/japan/support/repair.html なお、弊社修理受付後のお問い合わせは、ペンタックス東京サービスセンターにて承ります。

<ペンタックス東京サービスセンター>【宅配】【郵送】 〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-12-11 営業時間 9:00~17:30 ヘリオスIIビル3F (土・日・祝日および弊社休業日を除く) TEL 03-3960-5140 FAX 03-3960-5147

<大阪サービスセンター>【窓口】【宅配】【郵送】 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9 営業時間 9:00~17:00 パールビル2F (土・日・祝日および弊社休業日を除く) TEL 06-6271-7996 FAX 06-6271-3612

ショールーム・ギャラリー

<ペンタックスフォーラム> 点検・修理の窓口持ち込みも承ります。

- 〒163-0690 東京都新宿区西新宿1-25-1 営業時間 10:30~18:30 新宿センタービルMB(中地 休業日 毎週火曜日、年末年始およびビル 下1階) 点検日 TFL 03-3348-2941
- <リコーフォトギャラリー RING CUBE>
- 〒104-0061 東京都中央区銀座5-7-2 営業時間 11:00~20:00 三愛ドリームセンター 9F 休業日 毎週火曜日、年末年始およびビル 点検日

ペンタックスリコーイメージング株式会社

〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-35-7

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。 54851